

角田市公共施設等白書
(資料編)

平成28年3月

角 田 市

目次

公共施設の分析	1
I 公共施設類型分類別の分析	2
(1) 市民文化系施設の状況	2
(2) 社会教育系施設の状況	8
(3) スポーツ・レクリエーション系施設の状況	12
(4) 産業系施設の状況	17
(5) 学校教育系施設の状況	22
(6) 子育て支援施設の状況	29
(7) 保健・福祉施設の状況	36
(8) 行政系施設の状況	41
(9) 公園の状況	48
(10) その他施設の状況	53
II 公共施設等の管理に関する基本的な考え方（検討案）	57
(1) 点検・診断等の実施方針	57
(2) 維持管理・修繕・更新の実施方針	57
(3) 安全確保の実施方針	57
(4) 耐震化の実施方針	58
(5) 長寿命化の実施方針	58
(6) 統合・廃止の推進方針	58
(7) 総合的かつ計画的な管理を実現するための体制の構築方針	58

公共施設の分析

I 公共施設類型分類別の分析

(1) 市民文化系施設の状況

表 1 市民文化系施設の一覧

中分類	地域	No	施設名称	運営主体	複合施設	延床面積(m ²)	主要建物建築年度	主要建物構造
集会施設	角田	1	角田自治センター	直営		826	1973	鉄筋コンクリート
	角田	2	横倉自治センター	直営		401	1975	鉄筋コンクリート
	角田	3	小田自治センター	直営		958	1976	鉄筋コンクリート
	枝野	4	枝野自治センター	直営		404	1973	鉄筋コンクリート
	藤尾	5	藤尾自治センター	直営		401	1974	鉄筋コンクリート
	東根	6	東根自治センター	直営		499	1981	木造
	桜	7	桜自治センター	直営		330	1971	鉄筋コンクリート
	北郷	8	北郷自治センター	直営		405	1972	鉄筋コンクリート
	西根	9	西根自治センター	直営		794	1972	鉄筋コンクリート
集会施設 (普通財産)	角田	1	中島上集会所	直営		96	1973	木造
	角田	2	老ヶ崎集会所	直営		134	1977	木造
	角田	3	前沖集会所	直営		149	1973	木造
	角田	4	山の内集会所	直営		132	1987	木造
	藤尾	5	旧尾山地域生活センター(藤尾4区集会所)	直営		130	1993	コンクリート・ブロック造
	東根	6	坂津田下集会所(立花公民館)	直営		83	1975	木造
	西根	7	西根4区集会所	直営		71	1977	木造
	西根	8	西根5区集会所	直営		99	1978	木造
	西根	9	西根6区集会所	直営		71	1976	木造
	西根	10	西根8区集会所	直営		139	1973	木造
	西根	11	西根13区集会所	直営		149	1978	木造
文化施設	角田	1	市民センター	直営	●	3,183	1971	鉄筋コンクリート

市民文化系施設は市内に 21 箇所あり、うち自治センターが属する集会施設は 9 箇所（延床面積合計：5,018 m²）、集会所が属する集会施設（普通財産）は 11 箇所（延床面積合計：1,253 m²）、市民センターが属する文化施設は 1 箇所（延床面積合計：3,183 m²）あります。

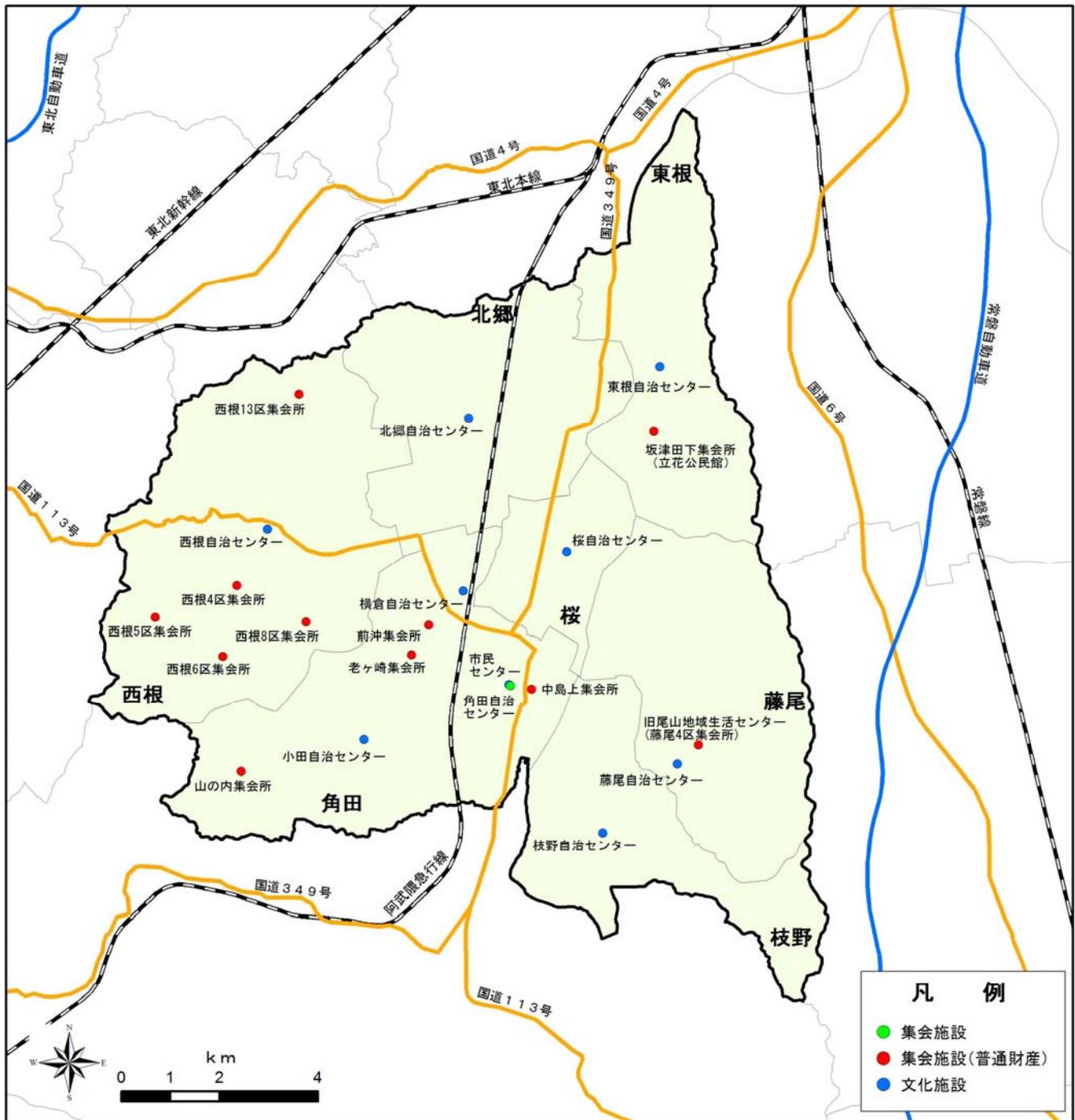


図 1 市民文化系施設の配置状況

表 2 市民文化系施設の利用度とコストの一覧

施設名称	維持 管理費 (千円)	事業 運営費 (千円)	コスト (千円)	利用者数 (人)	利用者 1人当たり のコスト (円/人)	収入 (千円)	コスト-収入 差額 (千円)	指定 管理料 (千円)
集会施設								
角田自治センター	4,530	10,804	15,334	17,362	883	0	15,334	0
横倉自治センター	799	6,720	7,519	10,203	737	0	7,519	0
小田自治センター	1,718	5,312	7,031	5,467	1,286	0	7,031	0
枝野自治センター	1,363	6,689	8,052	4,091	1,968	0	8,052	0
藤尾自治センター	1,087	8,039	9,126	4,790	1,905	0	9,126	0
東根自治センター	930	8,494	9,424	5,225	1,803	0	9,424	0
桜自治センター	1,208	7,212	8,421	5,167	1,629	0	8,421	0
北郷自治センター	1,259	8,910	10,169	4,602	2,209	0	10,169	0
西根自治センター	1,202	8,747	9,949	8,208	1,212	0	9,949	0
小計	14,100	70,930	85,031	65,115	1,306	0	85,031	0
集会施設(普通財産)								
中島上集会所	2	0	2	—	—	0	2	0
老ヶ崎集会所	5	0	5	—	—	0	5	0
前沖集会所	3	0	3	—	—	0	3	0
山の内集会所	4	0	4	—	—	0	4	0
旧尾山地域生活センター(藤尾4区集会所)	3	0	3	—	—	0	3	0
坂津田下集会所(立花公民館)	3	0	3	—	—	0	3	0
西根4区集会所	2	0	2	—	—	0	2	0
西根5区集会所	3	0	3	—	—	0	3	0
西根6区集会所	2	0	2	—	—	0	2	0
西根8区集会所	3	0	3	—	—	0	3	0
西根13区集会所	5	0	5	—	—	0	5	0
小計	39	0	39	0	0	0	39	0
文化施設								
市民センター	9,233	783	10,016	0	0	0	10,016	0
小計	9,233	783	10,016	0	0	0	10,016	0
合計	23,372	71,713	95,086	65,115	1,306	0	95,086	0

市民文化系施設の延利用者数は 65,115 人です。これらの施設にかかるコストは 95,086 千円です。集会施設(普通財産)は、光熱水費等の維持管理費を利用者が負担しており、本市が負担しているコストは火災共済分のみであるため、コストが非常に低くなっています。

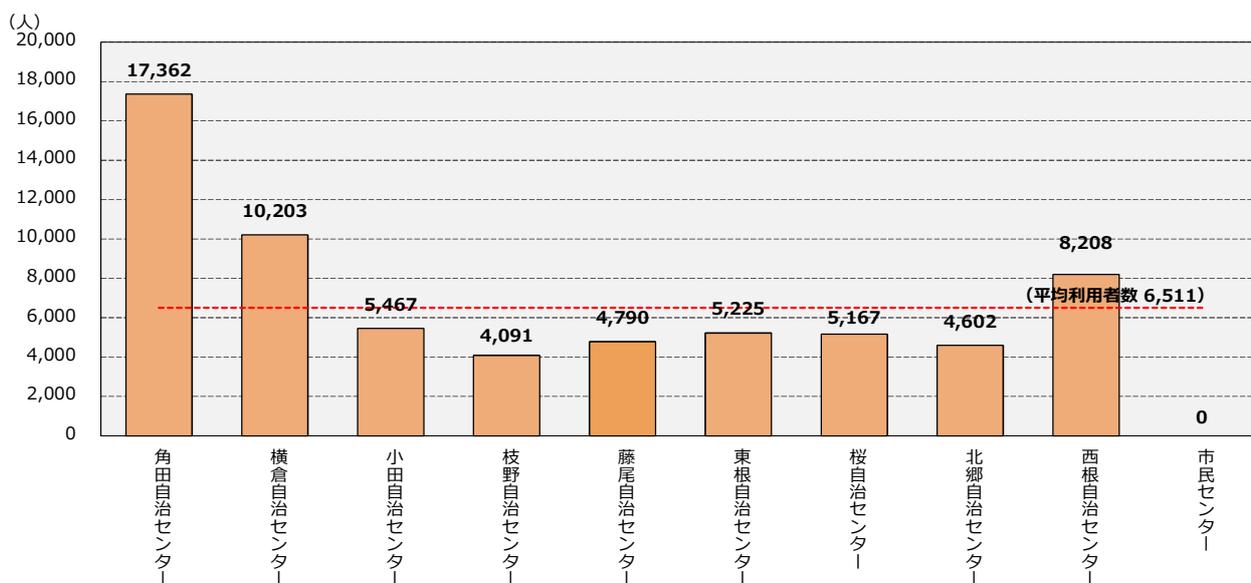


図 2 自治センター・市民センターの利用者数

自治センター・市民センターのうち、年間の利用者が最も多い施設は、角田自治センターの 17,362 人であり、2 番目は横倉自治センター10,203 人です。最も利用者が少ない施設は、枝野自治センターの 4,091 人です。平成 26 年度に大規模改修を実施していたため、市民センターの利用者数は 0 人となっています。なお、一部閉鎖していた平成 25 年度の利用者は 22,964 人でした。

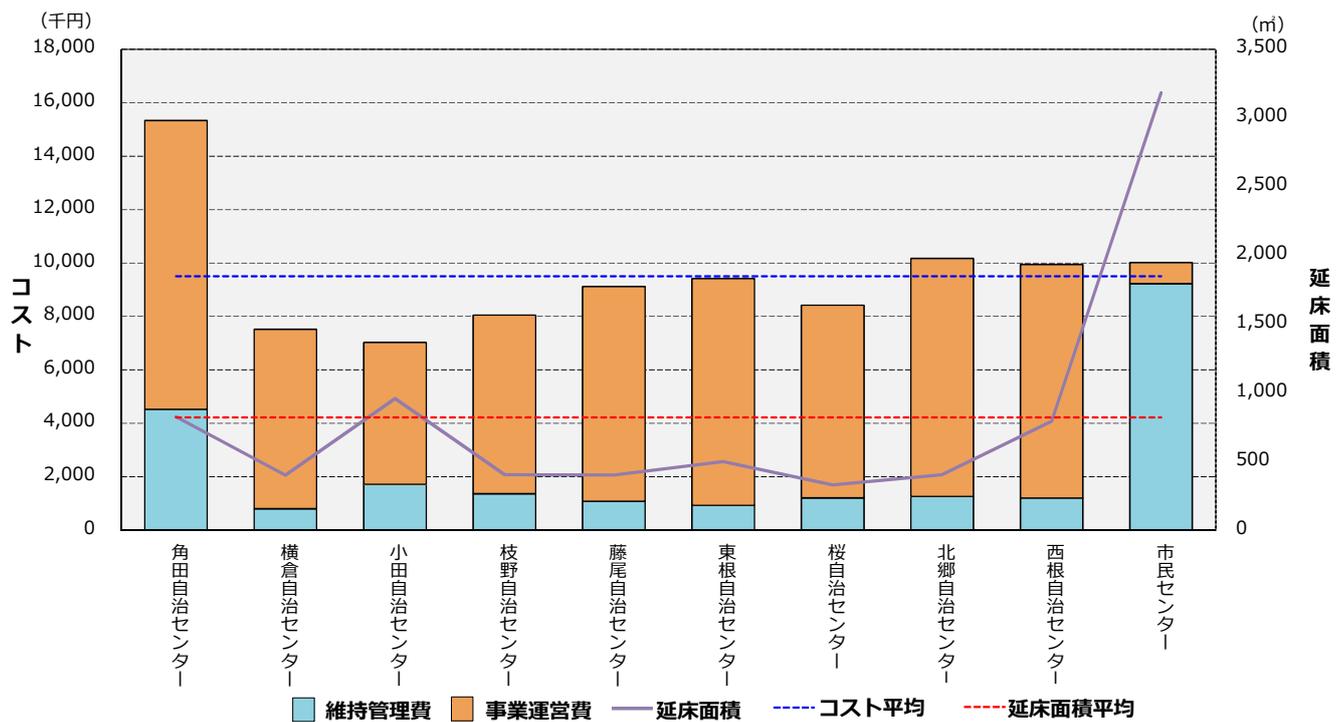


図 3 市民文化系施設（自治センター・市民センター）の延床面積とコスト

自治センター・市民センターのうち、延床面積が最も広いのは市民センターの 3,183 ㎡であり、2 番目は角田自治センターの 826 ㎡です。また、コストが最も高いのは、角田自治センターの 15,334 千円であり、2 番目は北郷自治センターの 10,169 千円です。

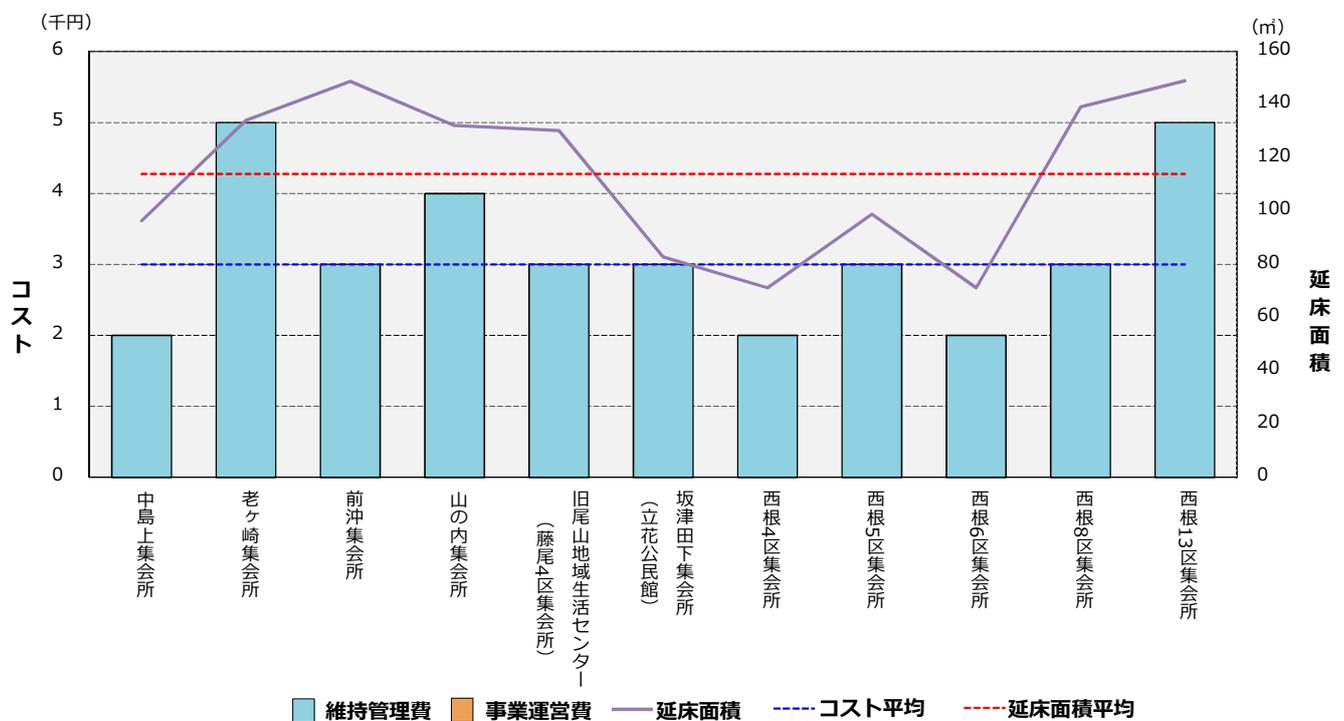


図 4 市民文化系施設（集会所）の延床面積とコスト

集会所のうち、延床面積が最も広いのは西根 13 区集会所で 149.0 ㎡であり、2 番目は前沖集会所の 148.7 ㎡です。また、コストが高いのは、前沖集会所と西根 13 区集会所の 5 千円です。

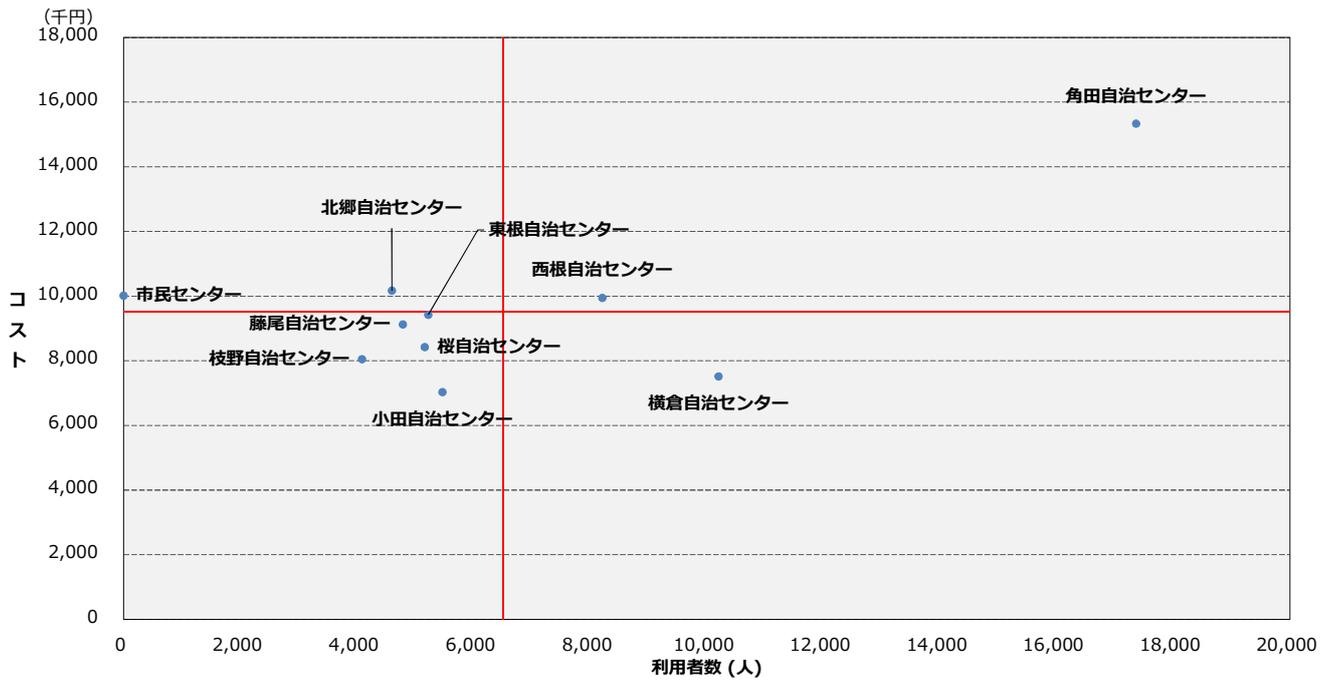


図 5 市民文化系施設の利用者数とコスト

自治センターは各地区に1箇所以上整備されており、一般的な公民館として利用されています。集会所は角田、西根地区に多く立地していますが、他の地区では各行政区に貸付け、個々で運営をしているため除外しています。

利用者数とコストの関係をみると、角田自治センターは利用者が多いためコストがかかっていますが、他の施設は平均並みであることが分かります。

(2) 社会教育系施設の状況

表 3 社会教育系施設の一覧

中分類	地域	No	施設名称	運営主体	複合施設	延床面積 (㎡)	主要建物建築年度	主要建物構造
図書館	角田	1	子ども図書館	直営	●	170	2011	木造
博物館等	角田	1	郷土資料館	直営		954	1985	木造

社会教育系施設は市内に 2 箇所あり、うち図書館は 1 箇所（延床面積合計：170 ㎡）、博物館等は 1 箇所（延床面積合計：954 ㎡）あります。

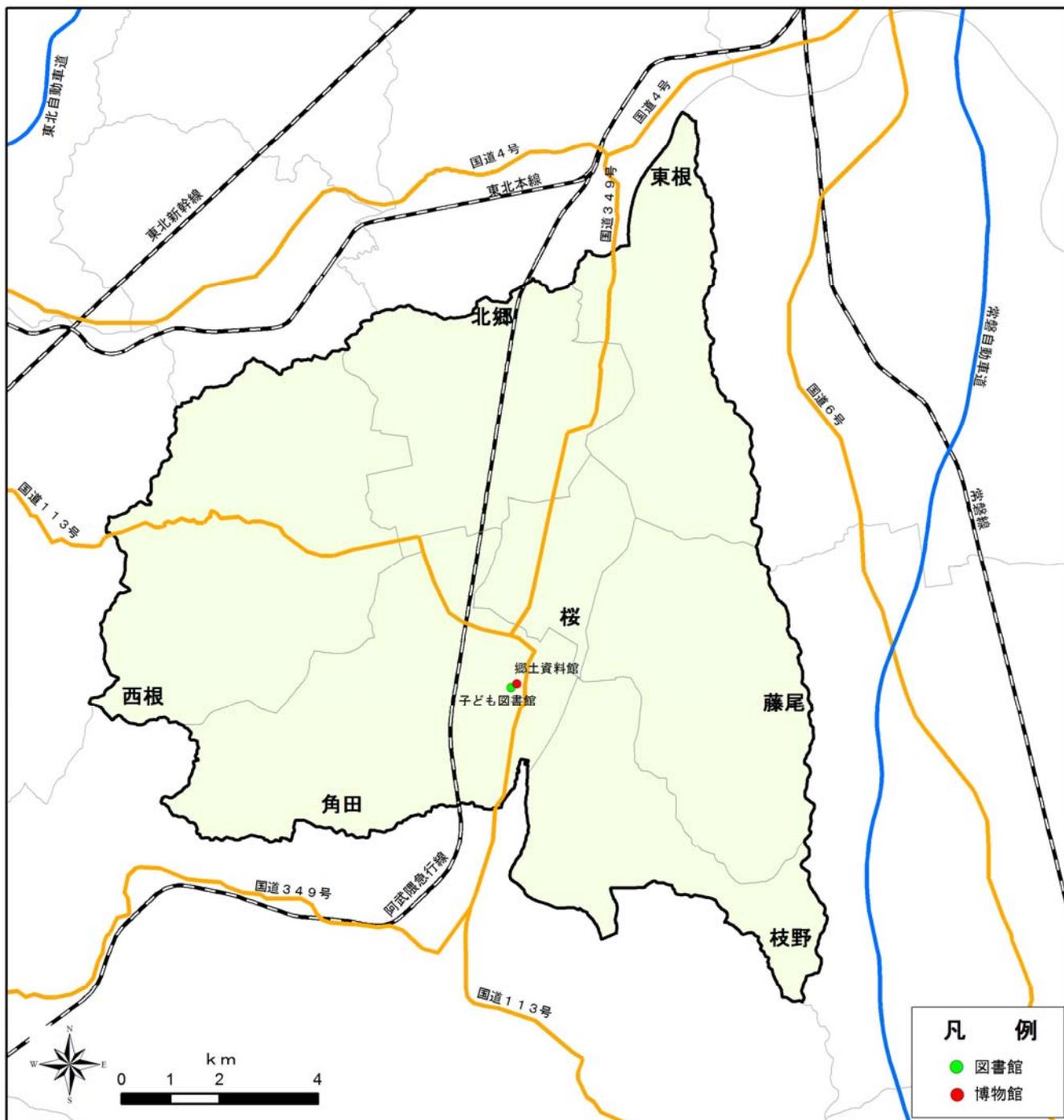


図 6 社会教育系施設の配置状況

表 4 社会教育系施設の利用度とコストの一覧

施設名称	維持 管理費 (千円)	事業 運営費 (千円)	コスト (千円)	利用者数 (人)	利用者 1人あたり のコスト (円/人)	収入 (千円)	コスト-収入 差額 (千円)	指定 管理料 (千円)
図書館								
子ども図書館	1,982	2,051	4,034	20,240	199	0	4,034	0
小計	1,982	2,051	4,034	20,240	199	0	4,034	0
博物館等								
郷土資料館	3,564	3,613	7,177	8,465	847	411	6,765	0
小計	3,564	3,613	7,177	8,465	847	411	6,765	0
合計	5,546	5,664	11,211	28,705	1,046	411	10,799	0

社会教育系施設の延利用者数は 28,705 人です。これら施設にかかるコストは 11,211 千円、収入は 411 千円、コスト-収入の差額は 10,799 千円です。

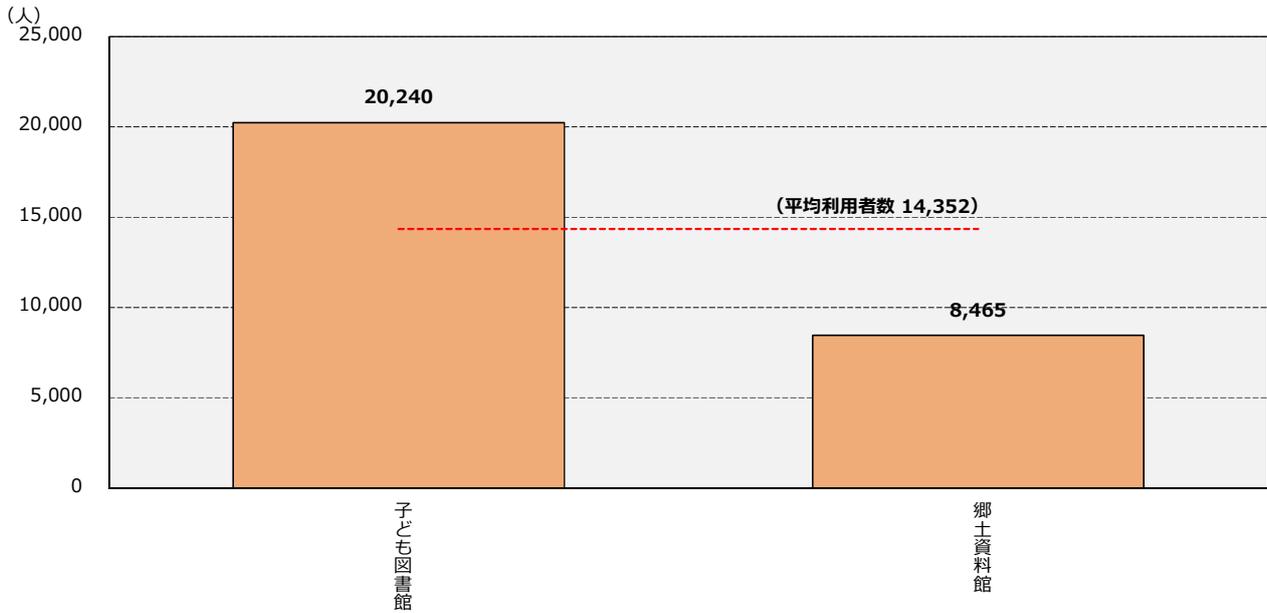


図 7 社会教育系施設の利用者数

社会教育系施設の年間の利用者数は、こども図書館が 20,240 人であり、郷土資料館が 8,465 人です。

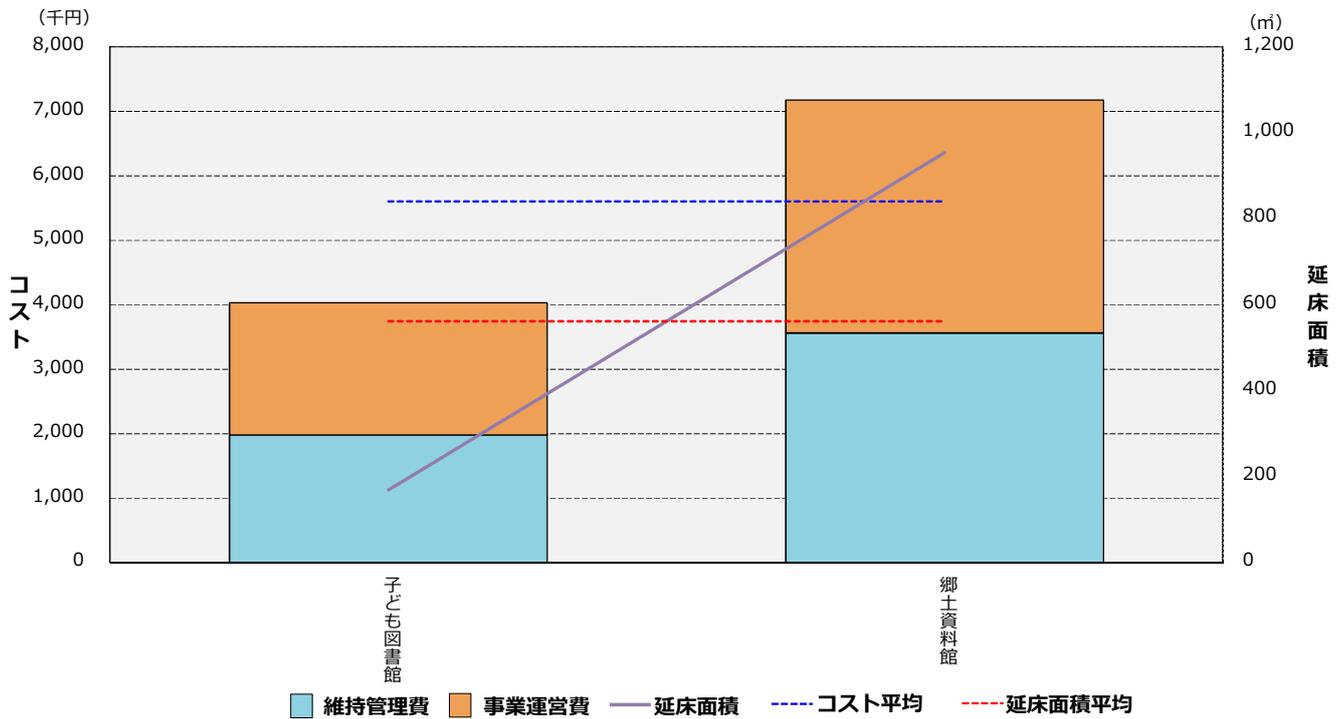


図 8 社会教育系施設の延床面積とコスト

社会教育系施設のうち延床面積は、郷土資料館が 954 ㎡であり、子ども資料館が 170 ㎡です。また、コストは、郷土資料館が 7,177 千円であり、子ども図書館が 4,034 千円です。

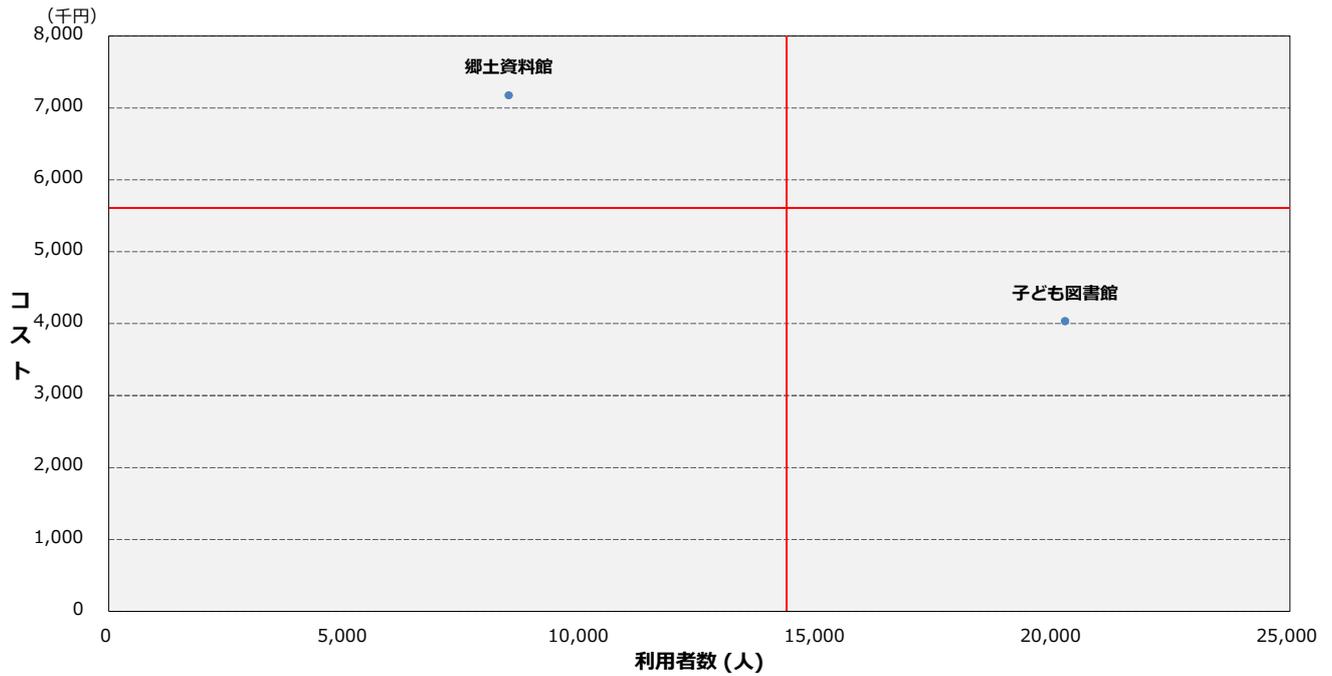


図 9 社会教育系施設の利用者数とコスト

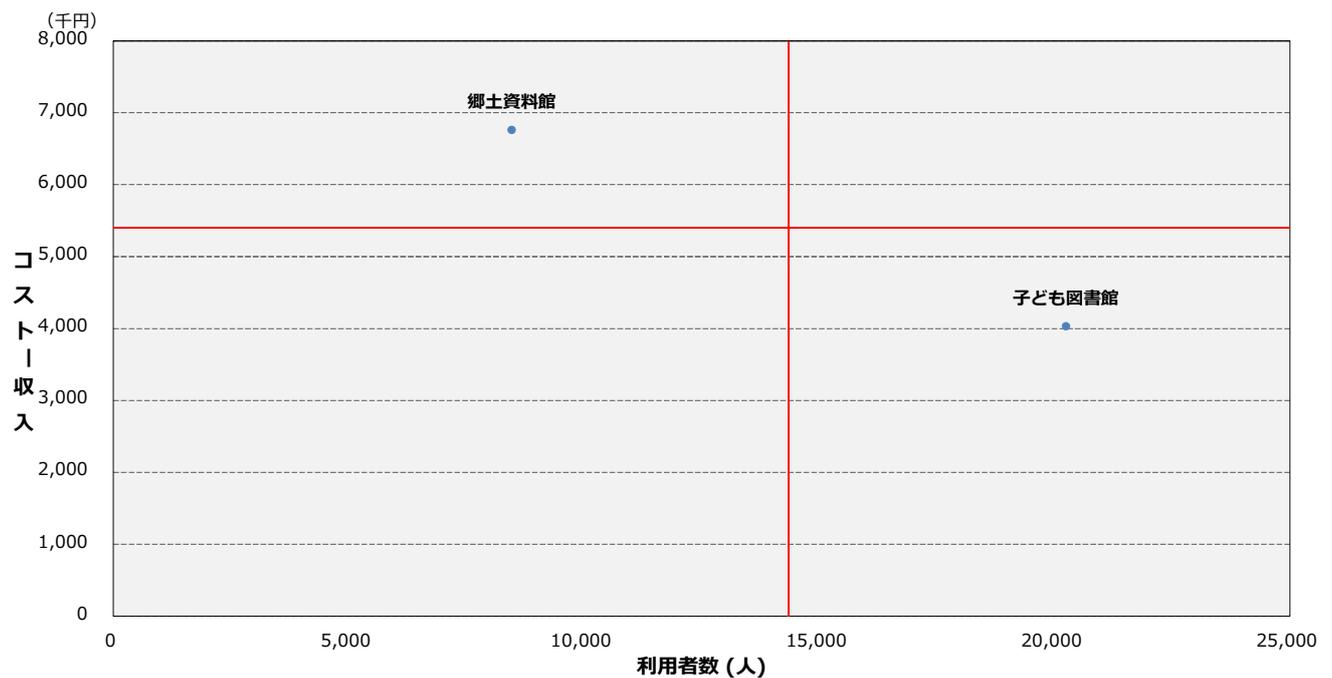


図 10 社会教育系施設の利用者とコスト-収入

社会教育系施設は、全ての建物が角田地区に立地しています。郷土資料館は、市指定文化財である「旧氏丈邸」を整備したもので、邸宅や蔵を有していることから、コストがかかっています。子ども図書館は、平成 23 年（2011 年）に開館し、コストに対し利用者も多いことが分かります。

(3) スポーツ・レクリエーション系施設の状況

表 5 スポーツ・レクリエーション系施設の一覧

中分類	地域	No	施設名称	運営主体	複合施設	延床面積(m ²)	主要建物建築年度	主要建物構造
スポーツ施設	枝野	1	総合体育館	指定管理者		6,045	1985	鉄筋コンクリート
	枝野	2	野球場	指定管理者		1,258	1991	鉄筋コンクリート
	枝野	3	陸上競技場	指定管理者		1,577	1991	鉄筋コンクリート
	枝野	4	屋内温水プール	指定管理者		2,768	1998	鉄筋コンクリート
	枝野	5	中央公園テニスコート	指定管理者		166	1993	鉄骨
	藤尾	6	市民ゴルフ場	指定管理者		616	1992	木造
保養施設	枝野	1	スポーツ交流館	指定管理者		1,370	1985	鉄筋コンクリート

スポーツ・レクリエーション系施設は市内に7箇所あり、うちスポーツ施設は6箇所（延床面積合計：12,430 m²）、保養施設は1箇所（延床面積合計：1,370 m²）あります。

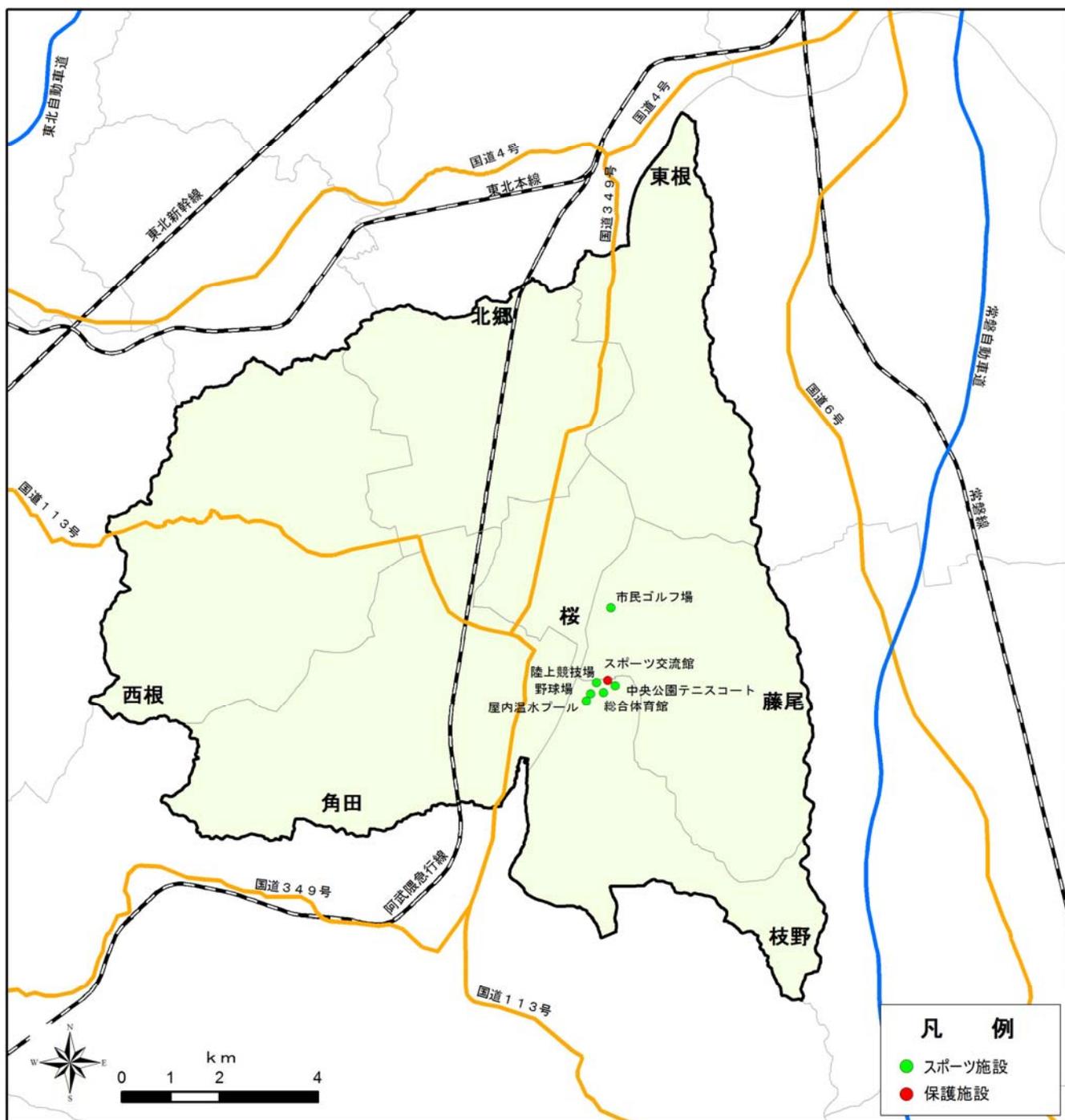


図 11 スポーツ・レクリエーション系施設の配置状況

表 6 スポーツ・レクリエーション系施設の利用度とコストの一覧

施設名称	維持管理費 (千円)	事業運営費 (千円)	コスト (千円)	利用者数 (人)	利用者 1人当たり のコスト (円/人)	収入 (千円)	コスト-収入 差額 (千円)	指定 管理料 (千円)
スポーツ施設								
総合体育館	13,910	12,763	26,673	65,517	407	3,566	23,107	17,713
野球場	3,215	4,010	7,226	10,608	681	539	6,687	6,476
陸上競技場	3,483	4,061	7,544	38,083	198	881	6,663	6,476
屋内温水プール	47,125	24,930	72,055	70,691	1,019	22,251	49,803	43,421
中央公園テニスコート	3,468	4,373	7,841	17,923	437	2,299	5,542	6,476
市民ゴルフ場	15,529	25,419	40,948	20,157	2,031	47,819	-6,870	4,763
小計	86,731	75,559	162,290	222,979	727	77,357	84,933	85,326
保養施設								
スポーツ交流館	6,171	5,216	11,388	14,387	791	1,041	10,346	6,474
小計	6,171	5,216	11,388	14,387	791	1,041	10,346	6,474
合計	92,902	80,775	173,678	237,366	1,518	78,398	95,279	91,800

スポーツ・レクリエーション系施設の延利用者数は 237,366 人です。これら施設にかかるコストは 173,678 千円、収入は 78,398 千円、コスト-収入の差額は 95,279 千円です。

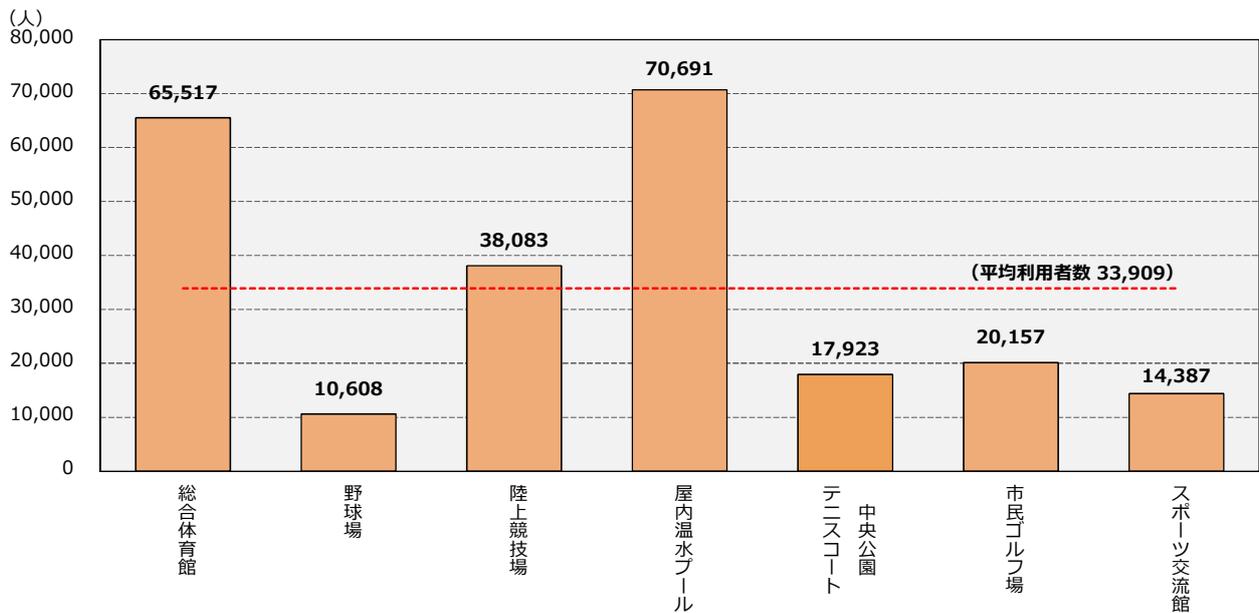


図 12 スポーツ・レクリエーション系施設の利用者数

スポーツ・レクリエーション系施設のうち、年間の利用者が最も多い施設は、屋内温水プールの 70,691 人であり、2 番目は総合体育館の 65,517 人です。最も利用者が少ない施設は、野球場の 10,608 人です。

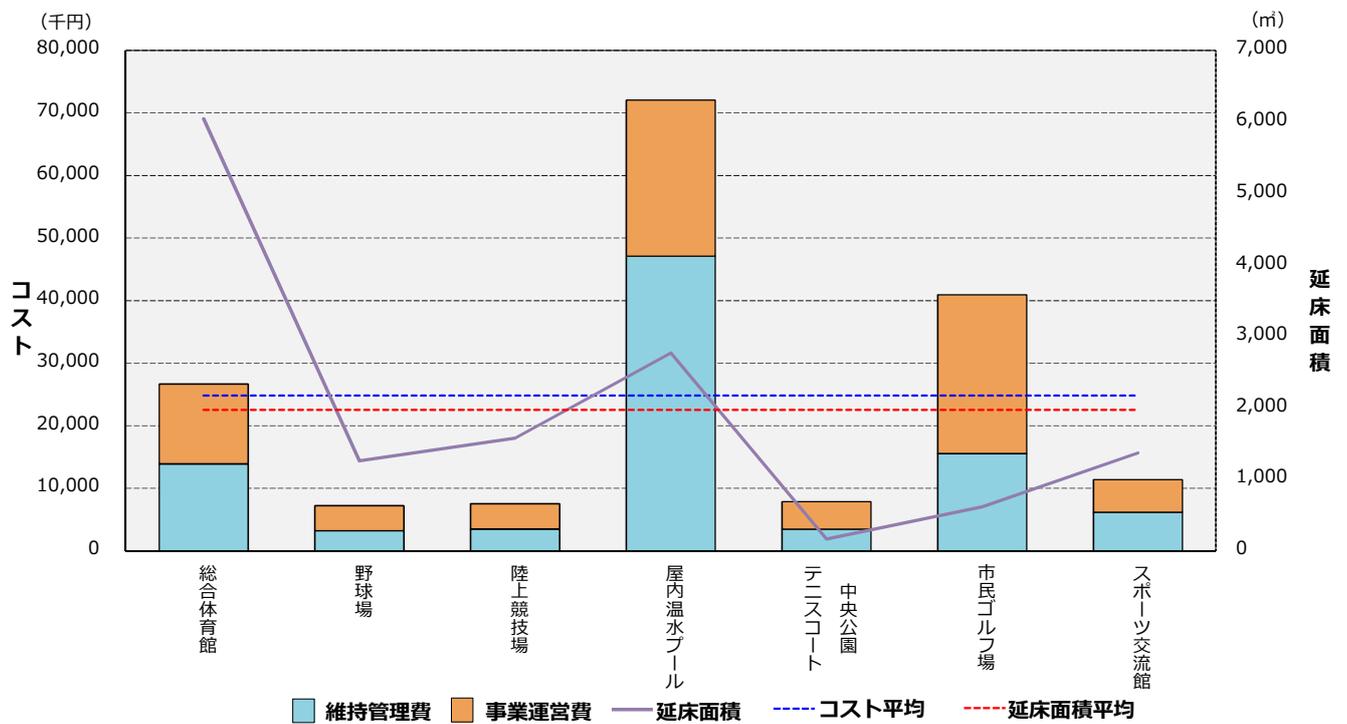


図 13 スポーツ・レクリエーション系施設の延床面積とコスト

スポーツ・レクリエーション系施設のうち、延床面積が最も広いのは総合体育館の 6,045 ㎡であり、2 番目は屋内温水プールの 2,768 ㎡です。また、コストが最も高いのは、72,055 千円であり、2 番目は 40,948 千円です。

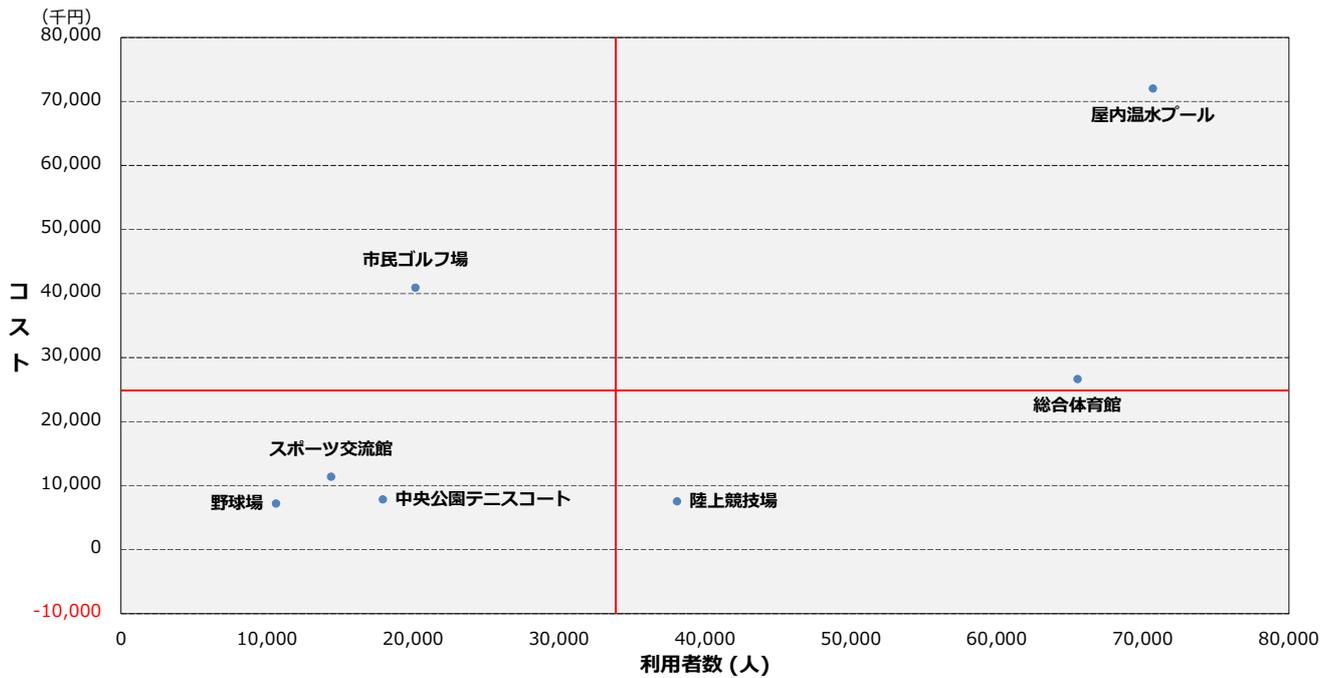


図 14 スポーツ・レクリエーション系施設の利用者数とコスト

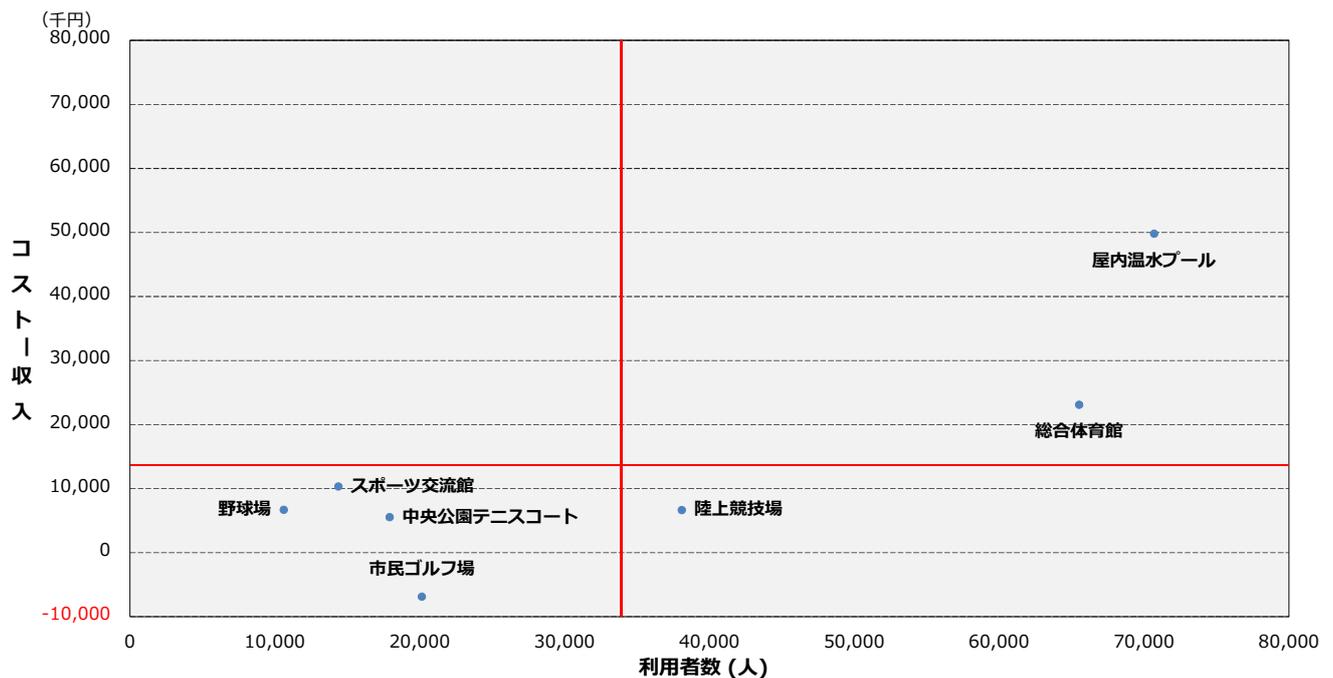


図 15 スポーツ・レクリエーション系施設の利用者とコスト-収入

スポーツ・レクリエーション系施設は阿武隈川の右岸側の枝野、藤尾地区に集中しています。

利用者数とコストの関係をみると、屋内温水プールは利用者が多いためコストがかかっていますが、市民ゴルフ場はコストに対して利用者数は少ないものの、コスト-収入の差額が-6,870 千円であり、角田市で最も利益を出している施設となっています。

(4) 産業系施設の状況

表 7 産業系施設の一覧

中分類	地域	No	施設名称	運営主体	複合施設	延床面積(m ²)	主要建物建築年度	主要建物構造
産業系施設	角田	1	駅コミュニティプラザ	指定管理者		964	1997	鉄骨
	角田	2	スペースタワー・コスモハウス	指定管理者		547	1991	鉄骨
	角田	3	江尻排水ポンプ展示館	指定管理者		324	1993	鉄骨
	角田	4	農村婦人の家	直営		212	1979	鉄筋コンクリート
	藤尾	5	老人福祉センター(内町荘)	指定管理者	●	717	1974	鉄筋コンクリート
	藤尾	6	婦人研修センター	指定管理者	●	418	1981	鉄筋コンクリート
	藤尾	7	農業の館	指定管理者		4,924	2005	鉄骨

産業系施設は市内に 7 箇所（延床面積合計：8,106 m²）あります。

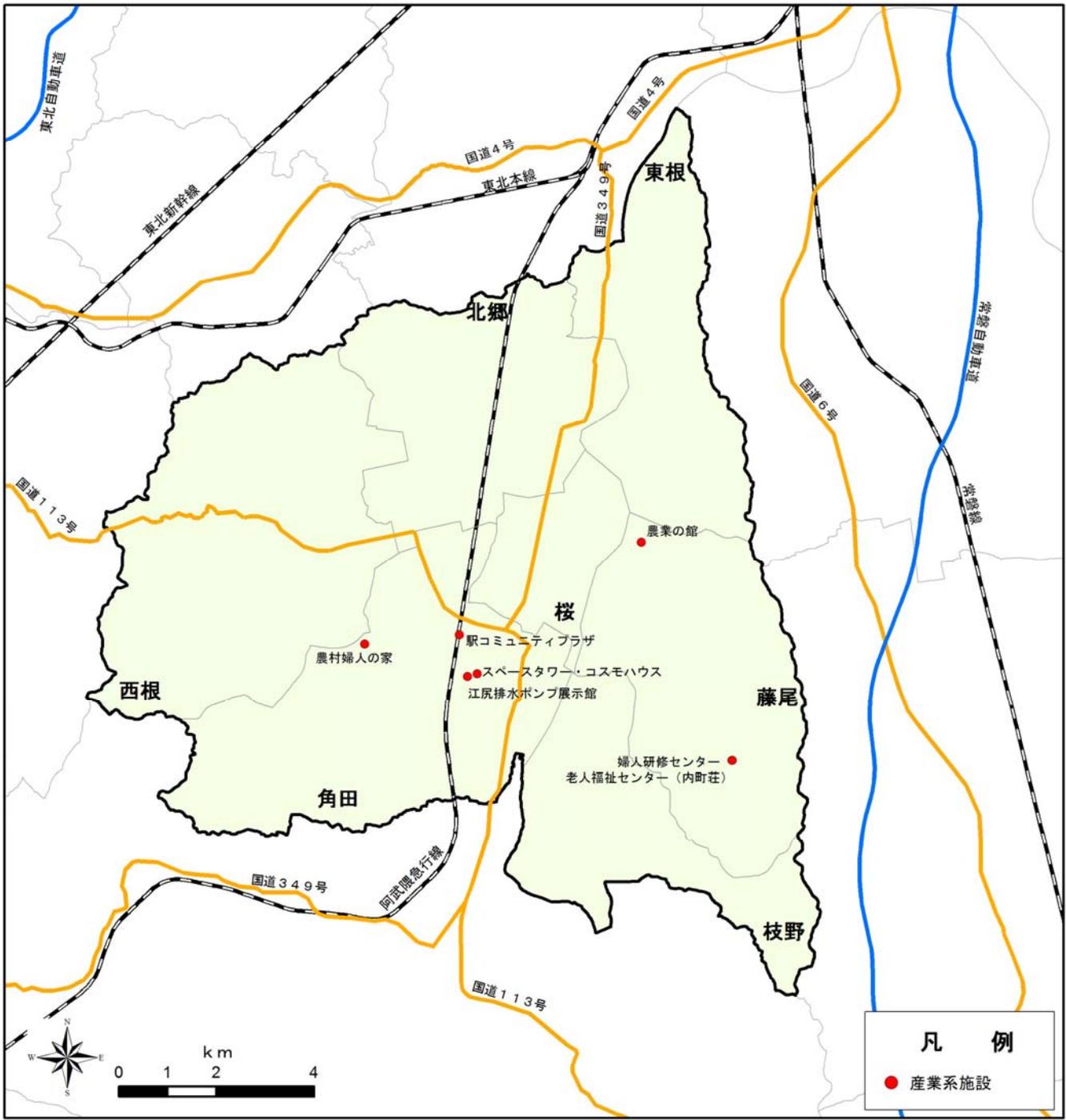


図 16 産業系施設の配置状況

表 8 産業系施設の利用率とコストの一覧

施設名称	維持管理費 (千円)	事業運営費 (千円)	コスト (千円)	利用者数 (人)	利用者 1人当たり のコスト (円/人)	収入 (千円)	コスト-収入 差額 (千円)	指定 管理料 (千円)
産業系施設								
駅コミュニティプラザ	7,917	21,040	28,957	19,829	1,460	8,711	20,245	8,744
スペースタワー・コスモハウス	7,239	6,967	14,207	25,527	556	8,557	5,650	8,557
江尻排水ポンプ展示館	843	682	1,526	103	14,816	0	1,526	2,558
農村婦人の家	416	72	488	434	1,125	0	488	0
老人福祉センター(内町荘)	3,268	9,210	12,478	5,173	2,412	304	12,173	4,554
婦人研修センター	1,401	3,912	5,313	715	7,432	134	5,179	1,951
農業の館	9,692	19,490	29,183	—	—	8,325	20,857	21,000
小計	30,779	61,376	92,155	51,781	1,779	26,033	66,122	47,365
合計	30,647	61,214	91,862	51,781	1,774	26,033	65,829	44,807

産業系施設の延利用者数は 51,781 人です。これら施設にかかるコストは 91,862 千円、収入は 26,033 千円、コスト-収入の差額は 65,829 千円です。

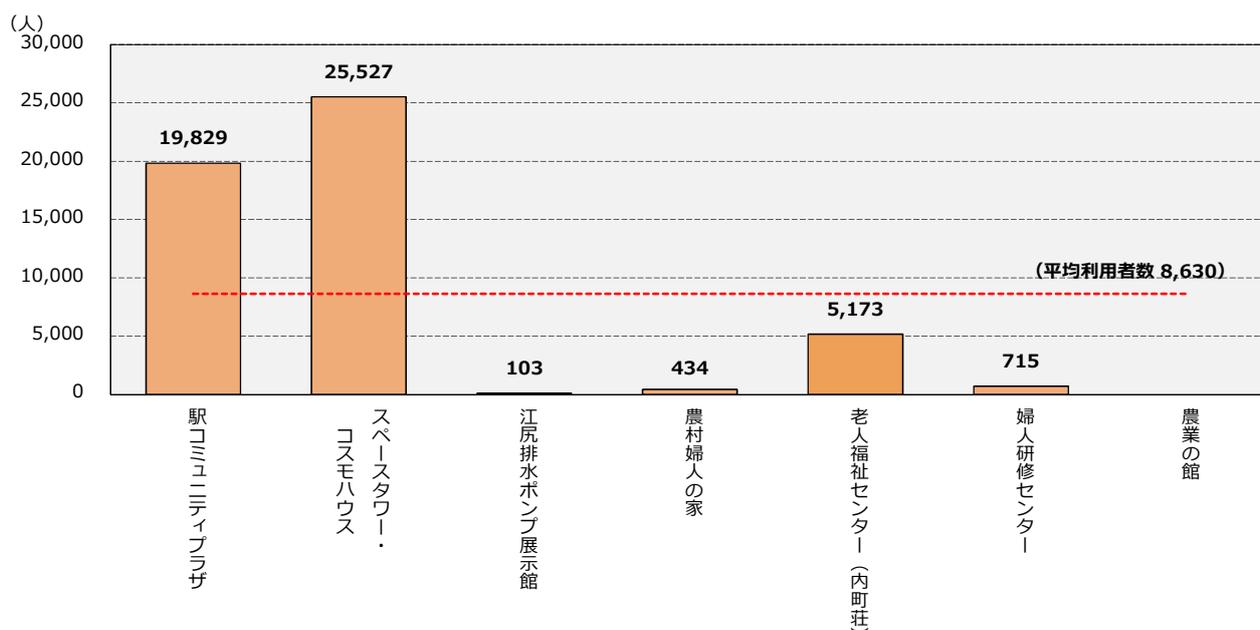


図 17 産業系施設の利用者数

産業系施設のうち、年間の利用者が最も多い施設は、スペースタワー・コスモハウスの 25,527 人であり、2 番目は駅コミュニティプラザの 19,829 人です。最も利用者が少ない施設は、江尻排水ポンプ展示館の 103 人です。

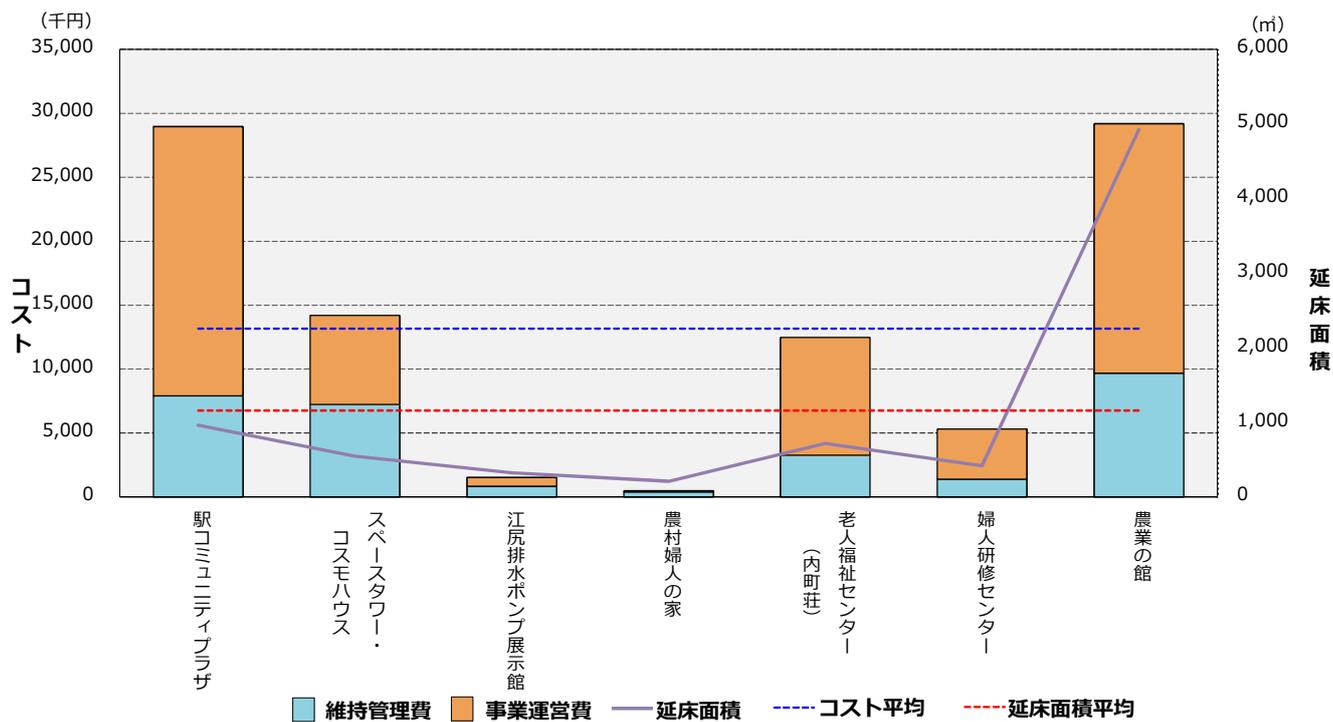


図 18 産業系施設の延床面積とコスト

産業系施設のうち、延床面積が最も広いのは農業の館の 4,924 ㎡であり、2 番目は駅コミュニティプラザの 964 ㎡です。また、コストが最も高いのは、農業の館の 29,813 千円であり、2 番目は駅コミュニティプラザの 28,957 千円です。

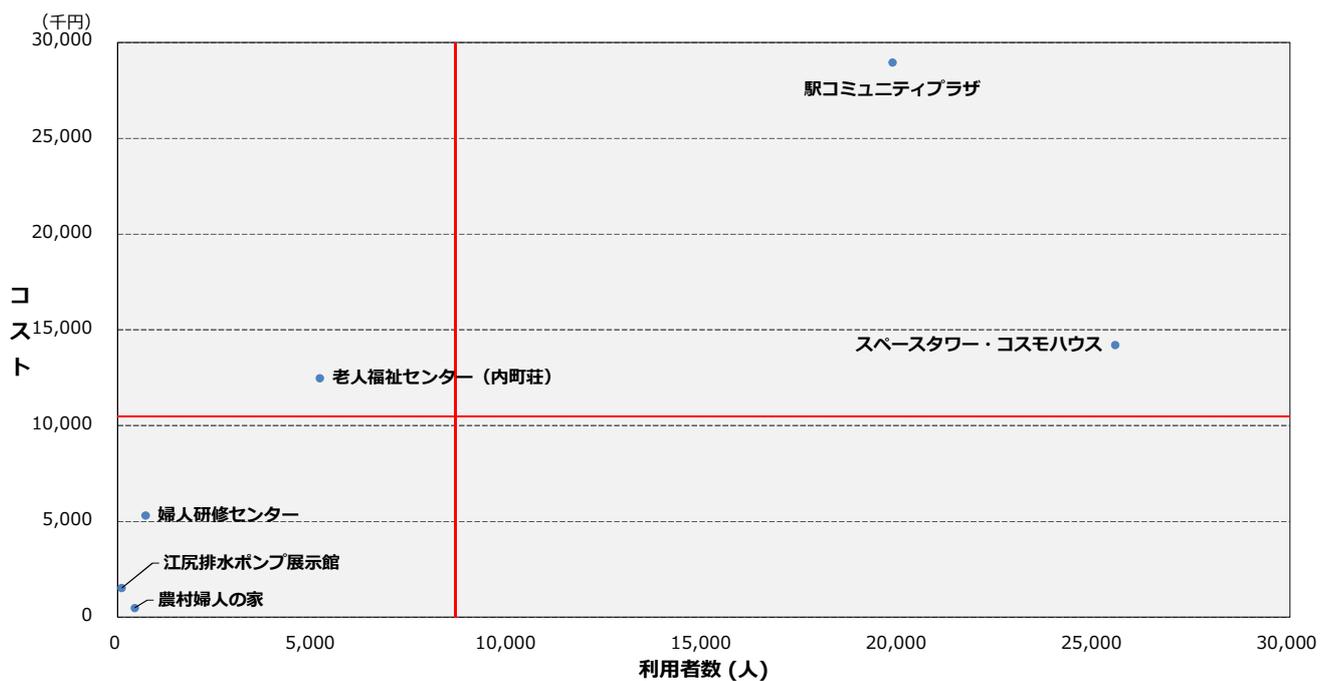


図 19 産業系施設の利用者数とコスト

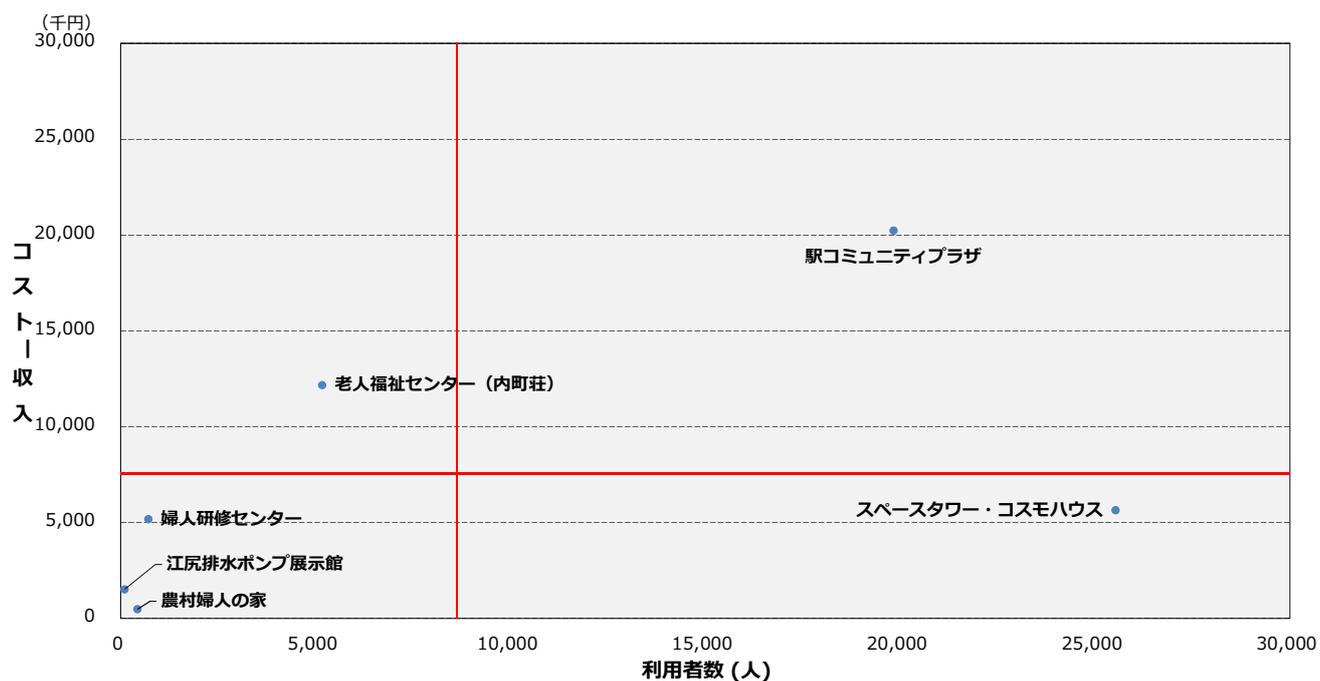


図 20 産業系施設の利用者とコスト-収入

産業系施設は角田、藤尾地区に立地しています。利用者数とコストの関係をみると、江尻排水ポンプ展示館や農村婦人の家は、コストが低いものの利用者数も少ないことから、施設の集客や利用・運営方法の検討が必要であると考えられます。施設によって、利用客が比較的多くコストが高い施設とそうでない施設の差が大きい状況にあります。

(5) 学校教育系施設の状況

表 9 学校教育系施設の一覧

中分類	地域	No	施設名称	運営主体	複合施設	延床面積(m ²)	主要建物建築年度	主要建物構造
学校	角田	1	角田小学校	直営		8,814	1971	鉄筋コンクリート
	角田	2	横倉小学校	直営		4,358	1974	鉄筋コンクリート
	枝野	3	枝野小学校	直営	●	3,121	1985	鉄筋コンクリート
	藤尾	4	藤尾小学校	直営		2,675	1973	鉄筋コンクリート
	東根	5	東根小学校	直営		2,352	2001	鉄筋コンクリート
	桜	6	桜小学校	直営	●	3,955	1979	鉄筋コンクリート
	北郷	7	北郷小学校	直営		4,811	1985	鉄筋コンクリート
	西根	8	西根小学校	直営		3,916	1983	鉄筋コンクリート
	角田	9	角田中学校	直営		6,730	1998	鉄筋コンクリート
	藤尾	10	金津中学校	直営		4,322	1968	鉄筋コンクリート
	北郷	11	北角田中学校	直営		5,390	2008	鉄筋コンクリート
その他教育施設	北郷	1	学校給食センター	直営		1,138	1974	鉄骨

学校教育系施設は市内に 12 箇所あり、うち小学校は 8 箇所（延床面積合計：34,002 m²）、中学校は 3 箇所（延床面積合計：16,442 m²）、その他教育施設は 1 箇所（延床面積合計：1,138 m²）あります。

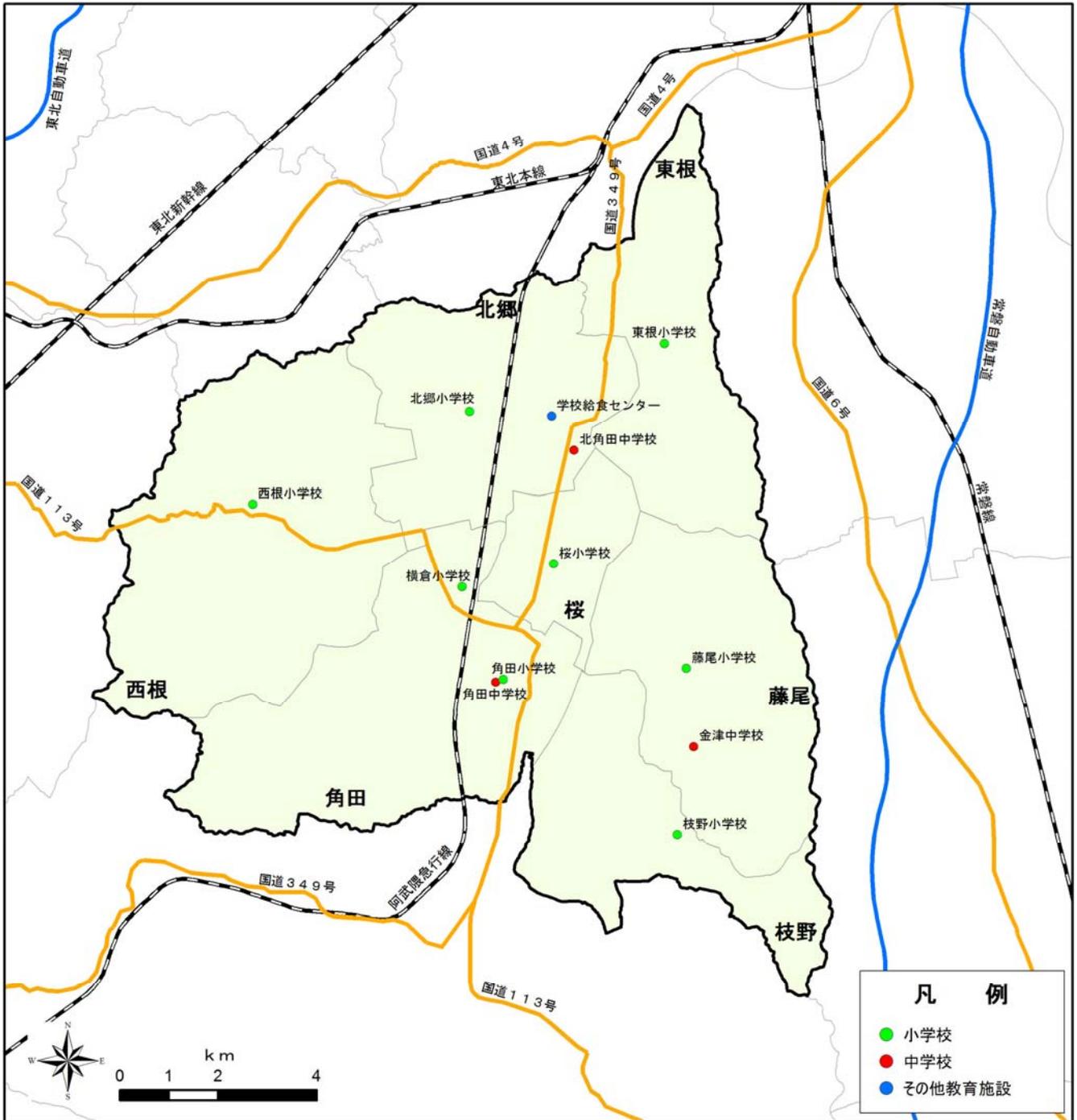


図 21 学校教育系施設の配置状況

表 10 学校の利用度とコストの一覧

施設名称	維持 管理費 (千円)	事業 運営費 (千円)	コスト (千円)	児童数/ 生徒数 (人)	児童/ 生徒 1人あたり のコスト (円/人)	収入 (千円)	コスト-収入 差額 (千円)	指定 管理料 (千円)
小学校								
角田小学校	12,913	10,774	23,687	684	34,630	0	23,687	0
横倉小学校	5,970	3,455	9,425	189	49,869	0	9,425	0
枝野小学校	6,057	2,242	8,300	92	90,222	0	8,300	0
藤尾小学校	5,243	7,006	12,250	125	98,000	0	12,250	0
東根小学校	4,412	2,998	7,411	48	154,401	0	7,411	0
桜小学校	4,241	2,966	7,207	140	51,484	0	7,207	0
北郷小学校	6,536	3,532	10,068	168	59,933	0	10,068	0
西根小学校	6,737	7,230	13,967	94	148,590	0	13,967	0
小計	52,109	40,203	92,315	1,540	687,129	0	92,315	0
中学校								
角田中学校	10,306	7,705	18,011	445	40,476	0	18,011	0
金津中学校	5,225	7,830	13,055	103	126,756	0	13,055	0
北角田中学校	7,367	7,121	14,488	265	54,674	0	14,488	0
小計	22,898	22,656	45,554	813	221,906	0	45,554	0
合計	75,007	62,859	137,869	2,353	58,593	0	137,869	0

小学校の児童数の合計は 1,540 人です。これらの施設にかかるコストは 92,315 千円です。また、中学校の生徒数の合計は 813 人です。これらの施設にかかるコストは 45,554 千円です。

表 11 その他教育施設の利用度とコストの一覧

施設名称	維持 管理費 (千円)	事業 運営費 (千円)	コスト (千円)	利用者数 (人)	利用者 1人あたり のコスト (円/人)	収入 (千円)	コスト-収入 差額 (千円)	指定 管理料 (千円)
その他教育施設								
学校給食センター	19,654	203,759	223,414	—	—	128,550	94,863	0
小計	19,654	203,759	223,414	—	—	128,550	94,863	0
合計	19,654	203,759	223,414	—	—	128,550	94,863	0

その他教育系施設において利用者を集計している施設はありません。この施設にかかるコストは 223,414 千円、収入は 128,550 千円、コスト-収入の差額は 94,863 千円です。

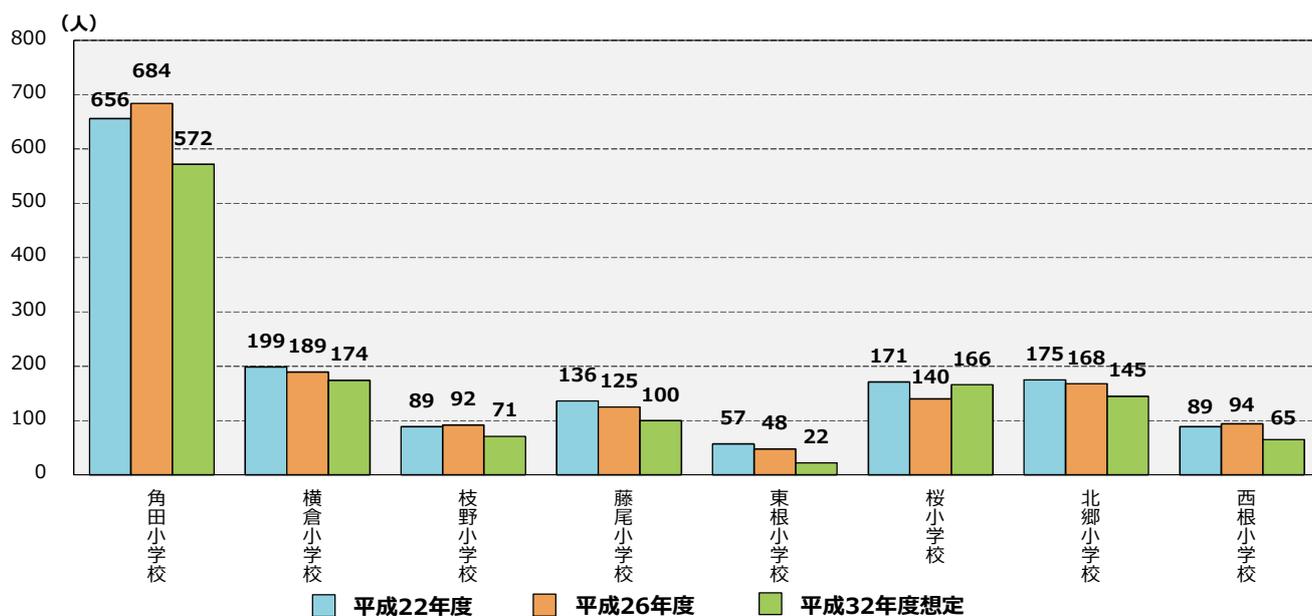


図 22 小学校の児童数の推移

小学校のうち、最も児童数が多い施設は、角田小学校の 684 人であり、2 番目は横倉小学校の 189 人です。最も児童数が少ない施設は、東根小学校の 48 人です。

平成 32 年度の想定では、角田小学校がおよそ 2 割減少の 572 人、東根小学校がおよそ 5 割減少の 22 人と見込まれています。

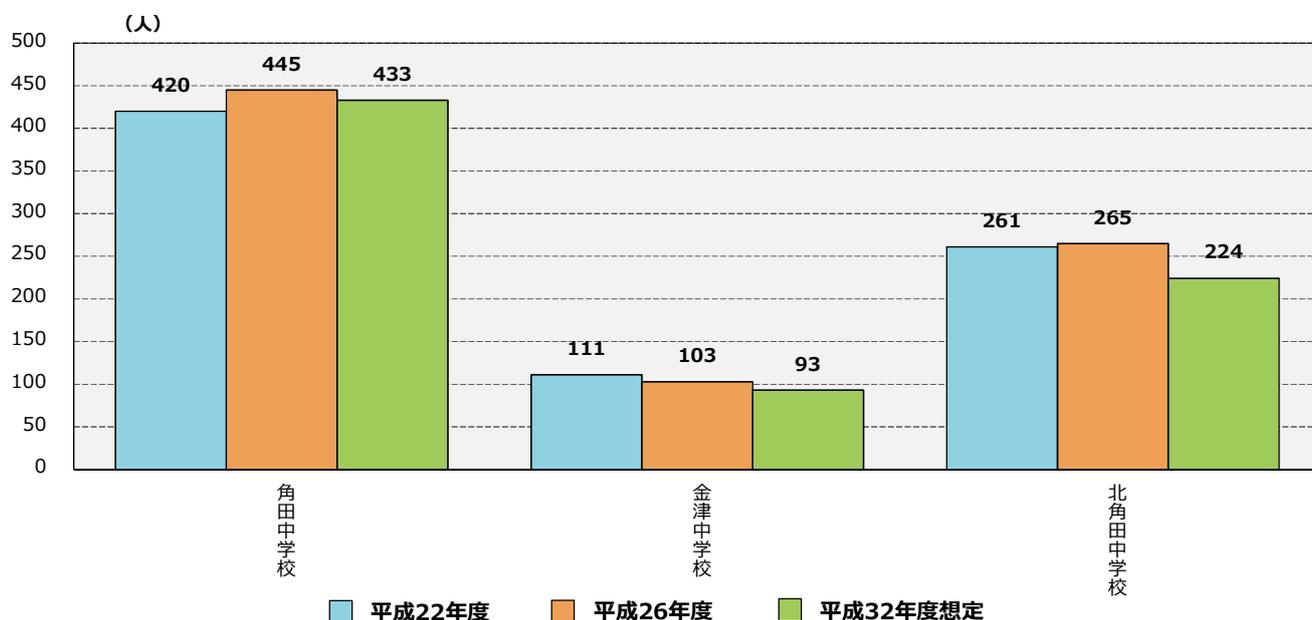


図 23 中学校の生徒数の推移

中学校のうち最も生徒数が多い施設は、角田中学校の 445 人です。最も生徒数が少ない施設は、金津中学校の 103 人です。

平成 32 年度の想定では、角田中学校が 433 人、北角田中学校が 224 人、金津中学校が 93 人と見込まれています。

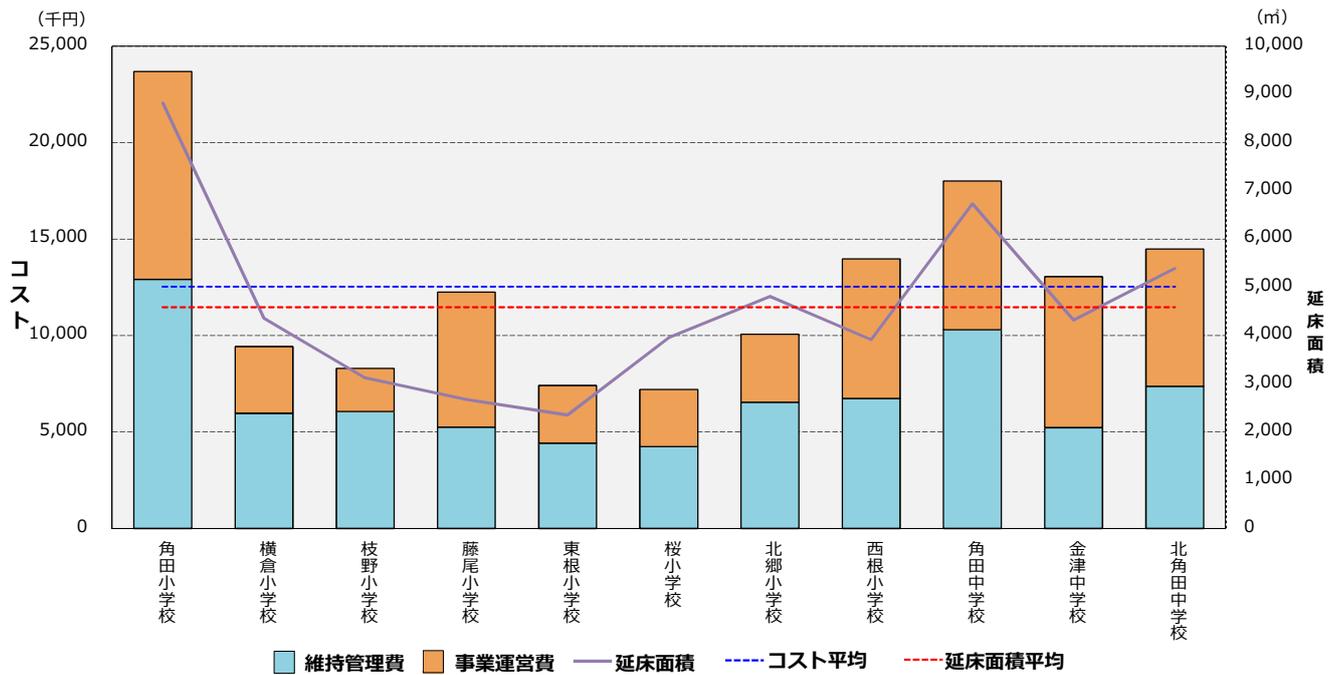


図 24 学校の延床面積とコスト

学校のうち、延床面積が最も広いのは角田小学校の 8,814 ㎡であり、2 番目は角田中学校の 6,730 ㎡です。また、コストが最も高いのは、角田小学校の 23,687 千円であり、2 番目は角田中学校の 12,533 千円です。

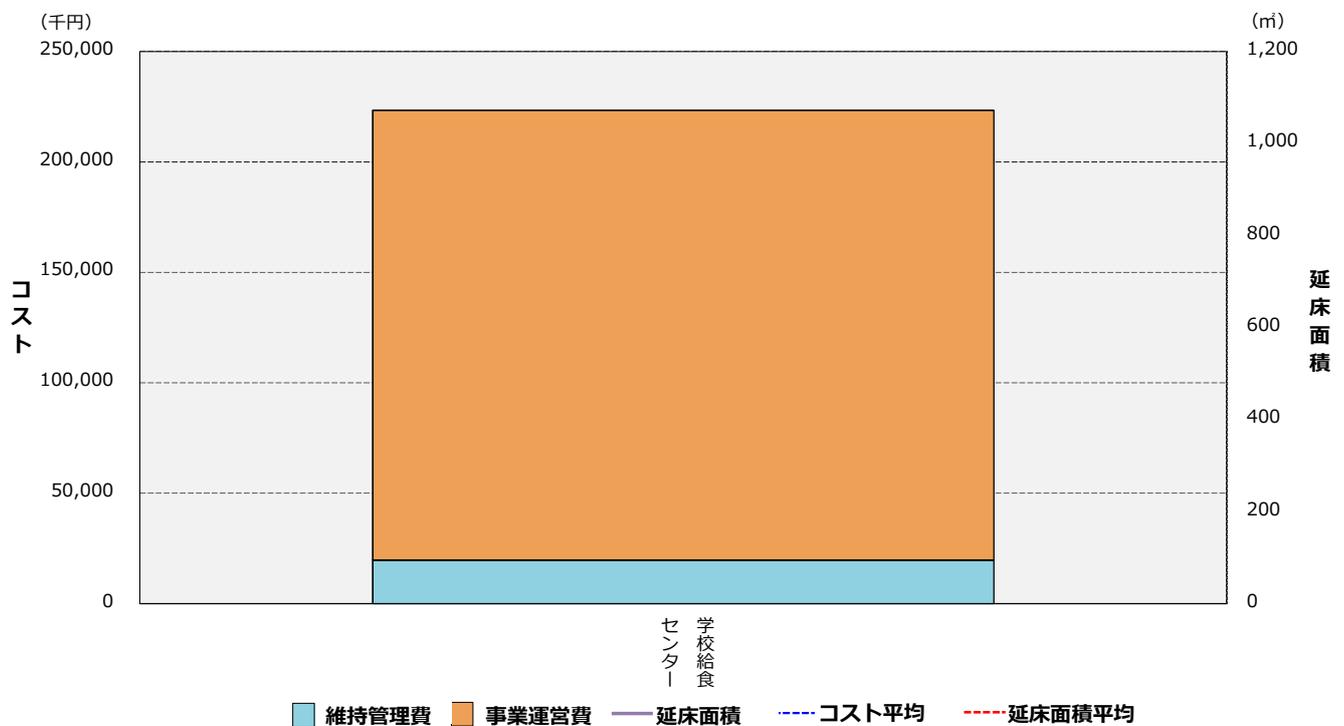


図 25 その他教育施設の延床面積とコスト

その他の教育施設である学校給食センターの延床面積は、1,138 ㎡であり、コストは 223,414 千円です。

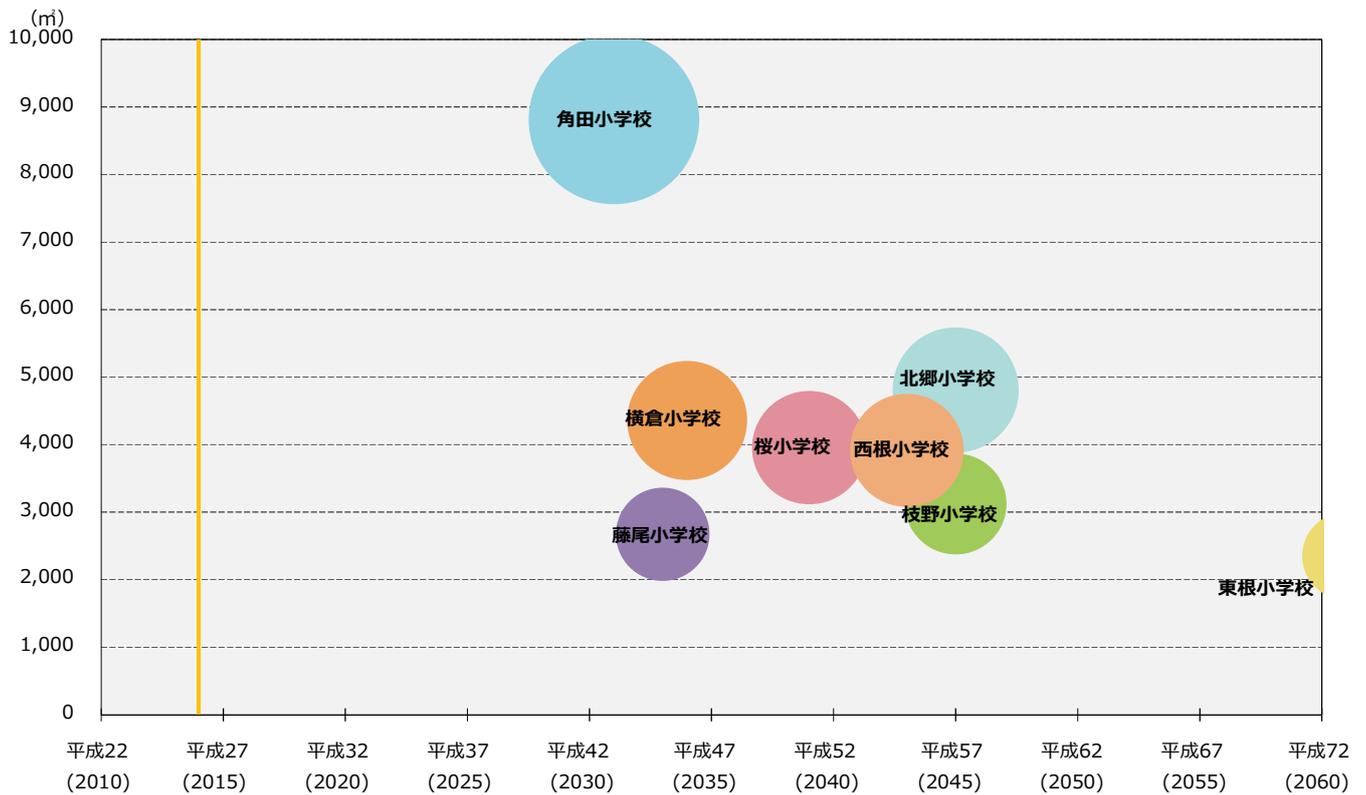
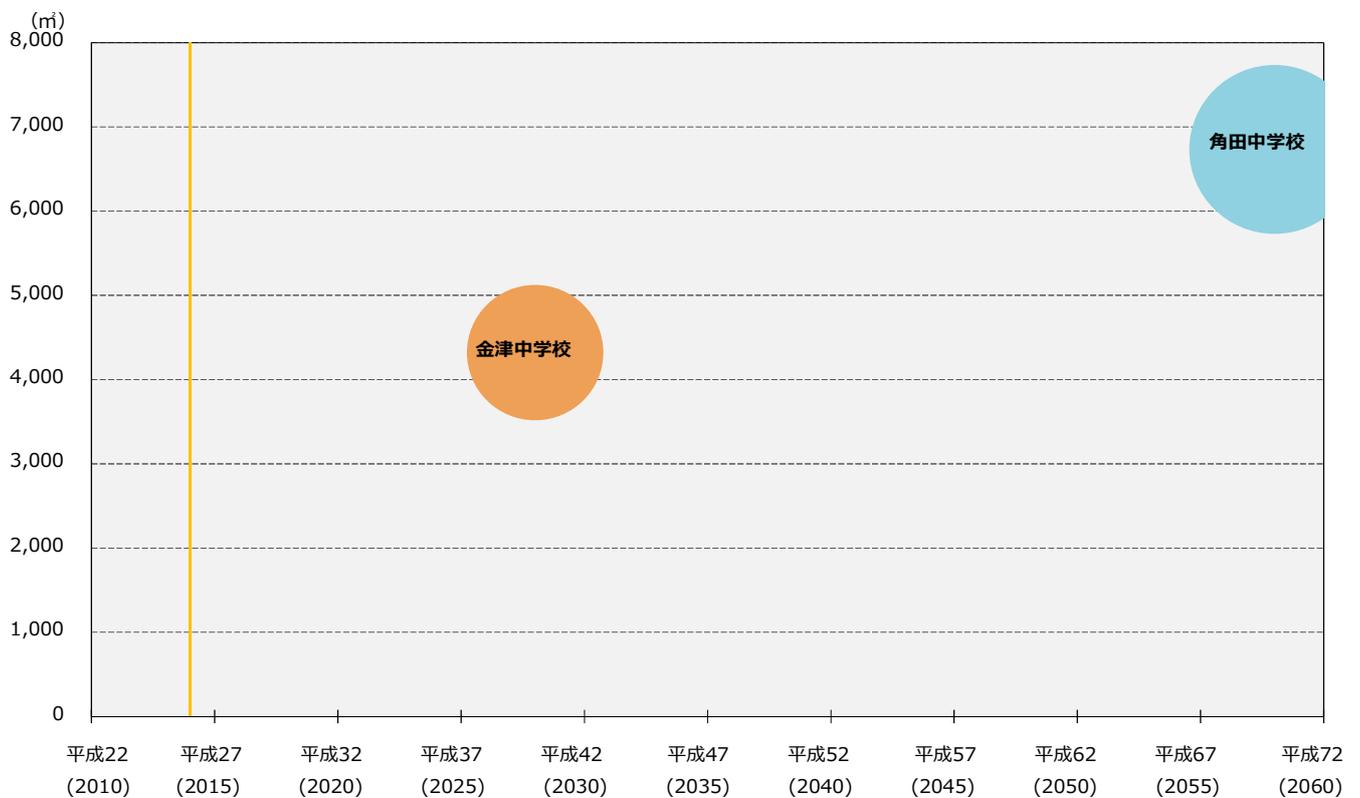


図 26 小学校の延床面積と耐用年数到来年度



※ 北角田中学校は、主要建物が平成 20 年（2008 年）に建築されたため、耐用年数は平成 80 年（2068 年）となり欄外となります。

図 27 中学校の延床面積と耐用年数到来年度

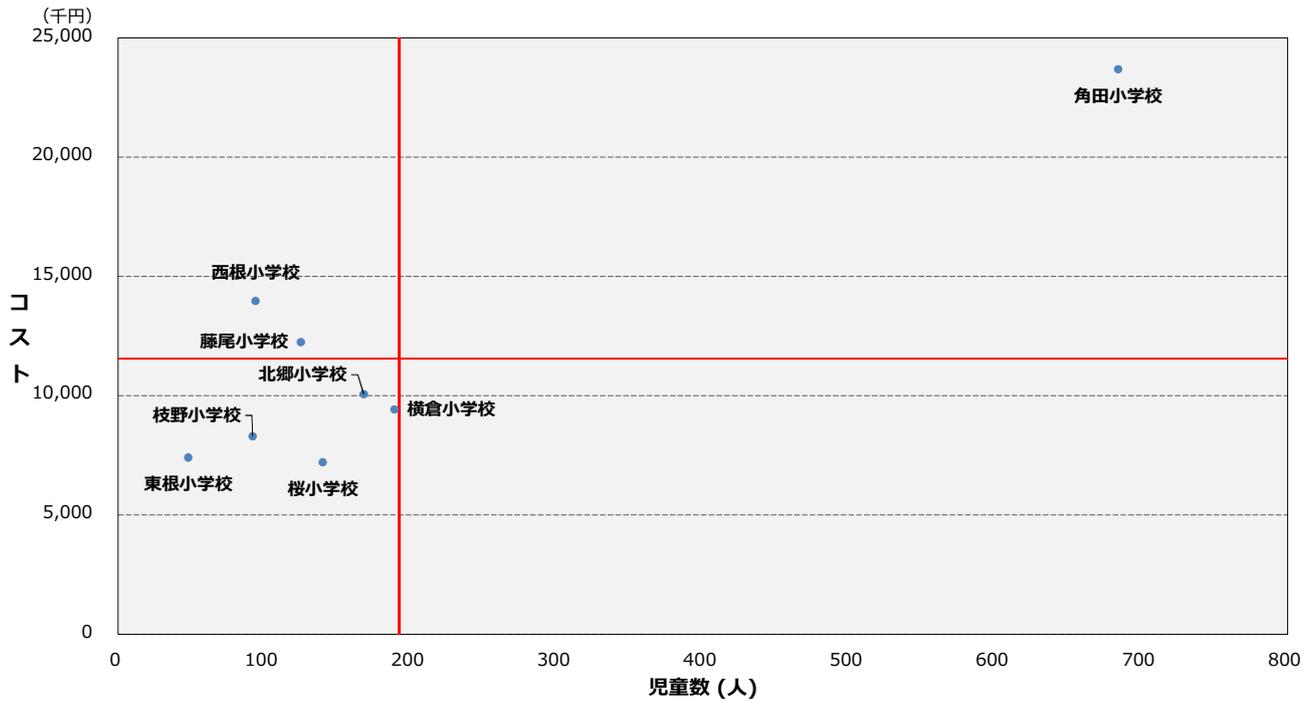


図 28 小学校の児童数とコスト

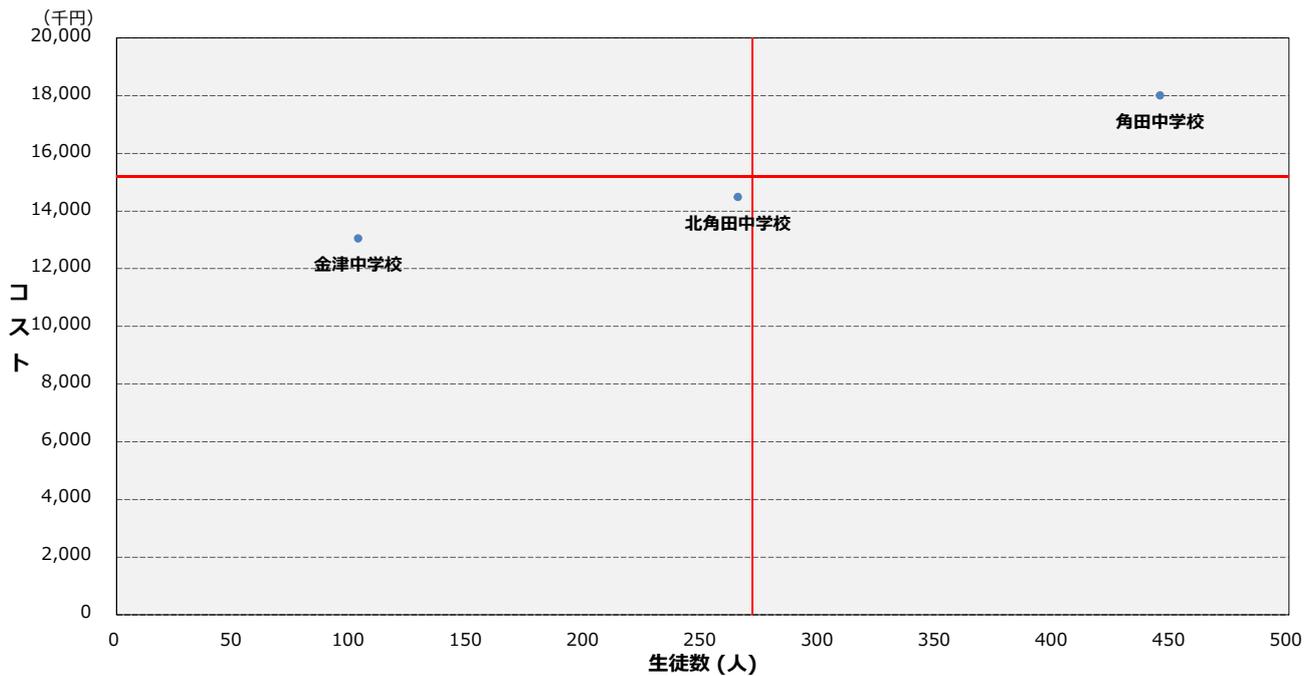


図 29 中学校の生徒数とコスト

学校教育系施設は、全ての地区に1箇所以上整備されており、自治センターと並び地区の主要な施設となっています。人口の多い角田地区に位置する角田小学校と角田中学校が児童・生徒数が多くなっています。

平成21年(2009年)には西根中学校(西根地区)、平成23年(2011年)には小田小学校(角田地区)が統合により再編されましたが、依然として児童・生徒数が100人に満たない学校も存在します。児童・生徒数が少なく、コストが比較的高い西根小学校は、コスト面での運営方法等の見直しが必要になると考えられます。

(6) 子育て支援施設の状況

表 12 子育て支援施設の一覧

中分類	地域	No	施設名称	運営主体	複合施設	延床面積(m ²)	主要建物建築年度	主要建物構造
幼稚園・保育園・こども園	角田	1	角田保育所	直営		720	1976	鉄筋コンクリート
	角田	2	中島保育所	直営		1,295	2008	木造
	枝野	3	枝野幼稚園	直営	●	179	1962	木造
	西根	4	西根幼稚園	直営		291	1979	木造
幼児・児童施設	角田	1	角田児童センター	直営	●	346	1986	鉄骨
	角田	2	横倉児童館	指定管理者	●	360	1977	鉄筋コンクリート
	角田	3	小田児童館	直営		216	1979	木造
	角田	4	裏町児童遊園	直営		3	1978	コンクリート・ブロック造
	角田	5	中島上児童遊園	直営		8	1962	コンクリート・ブロック造
	角田	6	関ノ内児童遊園	直営		2	1981	コンクリート・ブロック造
	角田	7	角田児童クラブ	直営	●	107	1986	鉄骨
	角田	8	横倉児童クラブ	指定管理者	●	91	1977	鉄筋コンクリート
	枝野	9	枝野児童遊園	直営		4	1966	コンクリート・ブロック造
	藤尾	10	金津児童センター	指定管理者		362	1978	鉄筋コンクリート
	藤尾	11	藤尾荒町児童館	直営		196	1993	コンクリート・ブロック造
	藤尾	12	藤田児童公園	直営		3	1973	コンクリート・ブロック造
	東根	13	東根児童センター	指定管理者		310	1983	鉄骨
	桜	14	桜児童センター	指定管理者		329	1988	鉄筋コンクリート
	桜	15	桜児童クラブ	直営	●	68	1980	鉄筋コンクリート
	北郷	16	北郷児童センター	指定管理者	●	382	1994	木造
	北郷	17	北郷児童クラブ	指定管理者	●	40	1994	木造
	西根	18	笠島児童遊園	直営		4	1970	コンクリート・ブロック造

子育て支援施設は市内に 22 箇所あり、うち幼稚園・保育園・こども園は 4 箇所（延床面積合計：2,485 m²）、幼児・児童施設は 18 箇所（延床面積合計：2,831 m²）あります。

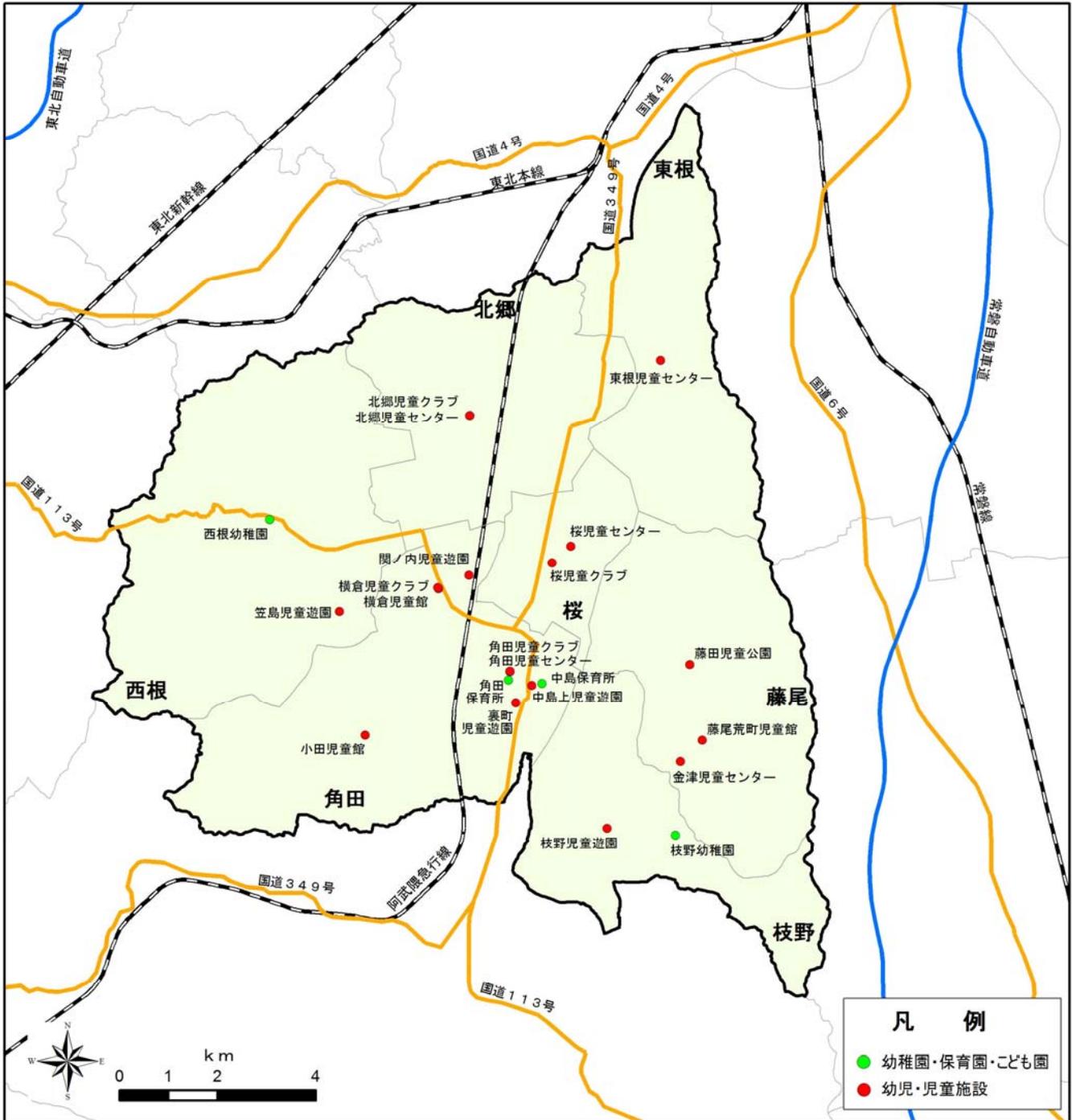


図 30 子育て支援施設の配置状況

表 13 幼稚園・保育園・こども園の利用度とコストの一覧

施設名称	維持 管理費 (千円)	事業 運営費 (千円)	コスト (千円)	園児数 (人)	園児 1人当たり のコスト (円/人)	収入 (千円)	コスト-収入 差額 (千円)	指定 管理料 (千円)
幼稚園・保育園・こども園								
角田保育所	7,805	125,699	133,504	141	948,524	36,322	97,181	0
中島保育所	10,869	159,225	170,094	182	935,871	51,749	118,344	0
枝野幼稚園	239	13,702	13,941	19	733,779	0	13,941	0
西根幼稚園	685	18,023	18,709	14	1,336,366	0	18,709	0
小計	19,598	316,651	336,250	356	945,851	88,072	248,177	0
合計	19,598	316,651	336,250	356	945,851	88,072	248,177	0

幼稚園・保育園・こども園における園児数の合計は 356 人です。これら施設にかかるコストは 336,250 千円、収入は 88,072 千円、コスト-収入の差額は 248,177 千円です。

表 14 子育て支援施設の利用度とコストの一覧

施設名称	維持 管理費 (千円)	事業 運営費 (千円)	コスト (千円)	利用者数 (人)	利用者 1人当たり のコスト (円/人)	収入 (千円)	コスト-収入 差額 (千円)	指定 管理料 (千円)
幼児・児童施設								
角田児童センター	1,226	8,713	9,939	7,962	1,248	0	9,939	0
横倉児童館	1,331	10,695	12,026	263	45,727	2,948	9,078	11,871
小田児童館	555	73	629	—	—	0	629	0
裏町児童遊園	22	4	27	—	—	0	27	0
中島上児童遊園	169	0	169	—	—	0	169	0
関ノ内児童遊園	127	8	136	—	—	0	136	0
角田児童クラブ	88	12,705	12,794	—	—	2,399	10,395	0
横倉児童クラブ	422	3,538	3,961	—	—	1,102	2,859	3,957
枝野児童遊園	22	47	70	—	—	0	70	0
金津児童センター	1,259	12,564	13,824	957	14,445	2,121	11,702	13,709
藤尾荒町児童館	1	0	1	—	—	0	1	0
藤田児童公園	22	16	39	—	—	0	39	0
東根児童センター	1,181	9,955	11,136	147	75,761	598	10,538	11,012
桜児童センター	1,088	11,127	12,215	332	36,794	2,895	9,320	12,097
桜児童クラブ	77	4,514	4,592	—	—	999	3,593	0
北郷児童センター	1,456	10,653	12,109	2,936	4,124	2,469	9,639	11,920
北郷児童クラブ	450	3,527	3,977	—	—	1,201	2,776	3,973
笠島児童遊園	26	14	40	—	—	0	40	0
小計	9,530	88,162	97,692	12,597	7,755	16,735	80,957	68,541
合計	9,530	88,162	97,692	12,597	7,755	16,735	80,957	68,541

幼児・児童施設の延利用者数は 12,597 人です。これら施設にかかるコストは 97,692 千円、収入は 16,735 千円、コスト-収入の差額は 80,957 千円です。

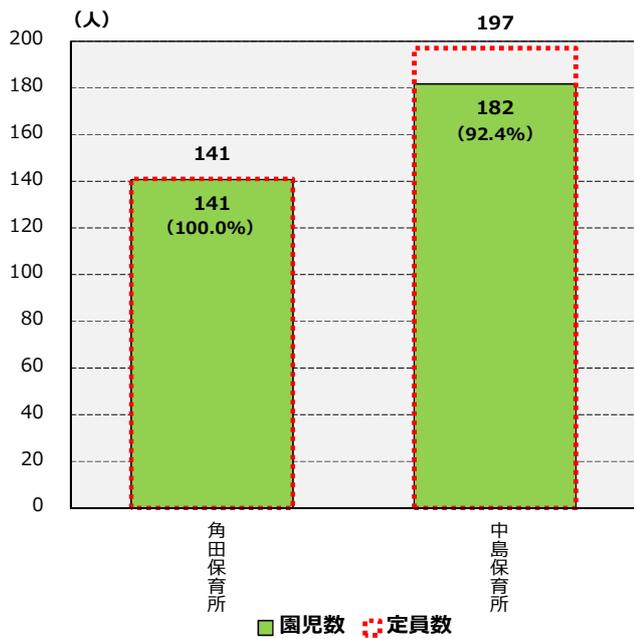


図 31 保育所の園児数と定員数

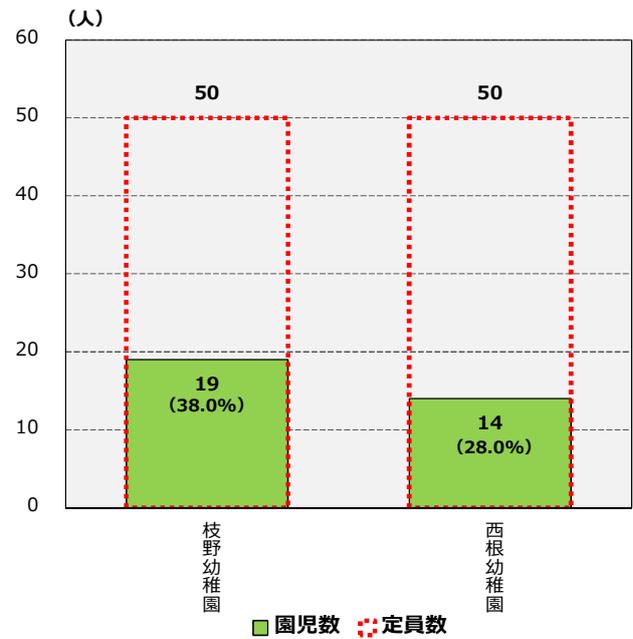


図 32 幼稚園の園児数と定員数

保育所・幼稚園のうち、園児数が最も多い施設は、中島保育所の 182 人です。角田保育所は、中島保育所に次いで 2 番目に園児数が多く 141 人の定員を満たしています。一方幼稚園は、定員 50 人に対し、枝野幼稚園が 19 人 (38.0%)、西根幼稚園が 14 人 (28.0%) となっており、定員数を大幅に下回っています。

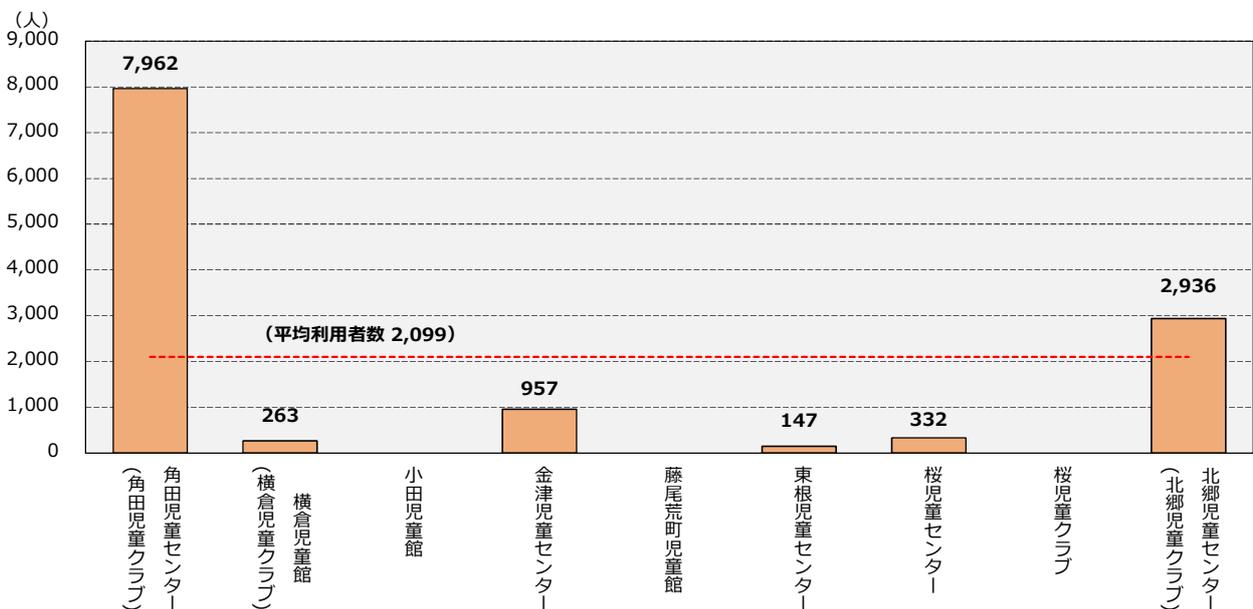


図 33 幼児・児童施設の利用者数

幼児・児童施設のうち、年間の利用者が最も多い施設は、角田児童センターの 7,962 人であり、2 番目は北郷児童センターの 2,936 人です。最も利用者が少ない施設は、東根児童センターの 147 人です。

角田児童センター、横倉児童館、北郷児童センターは児童クラブを含む複合施設となっており、児童クラブの利用者が含まれています。

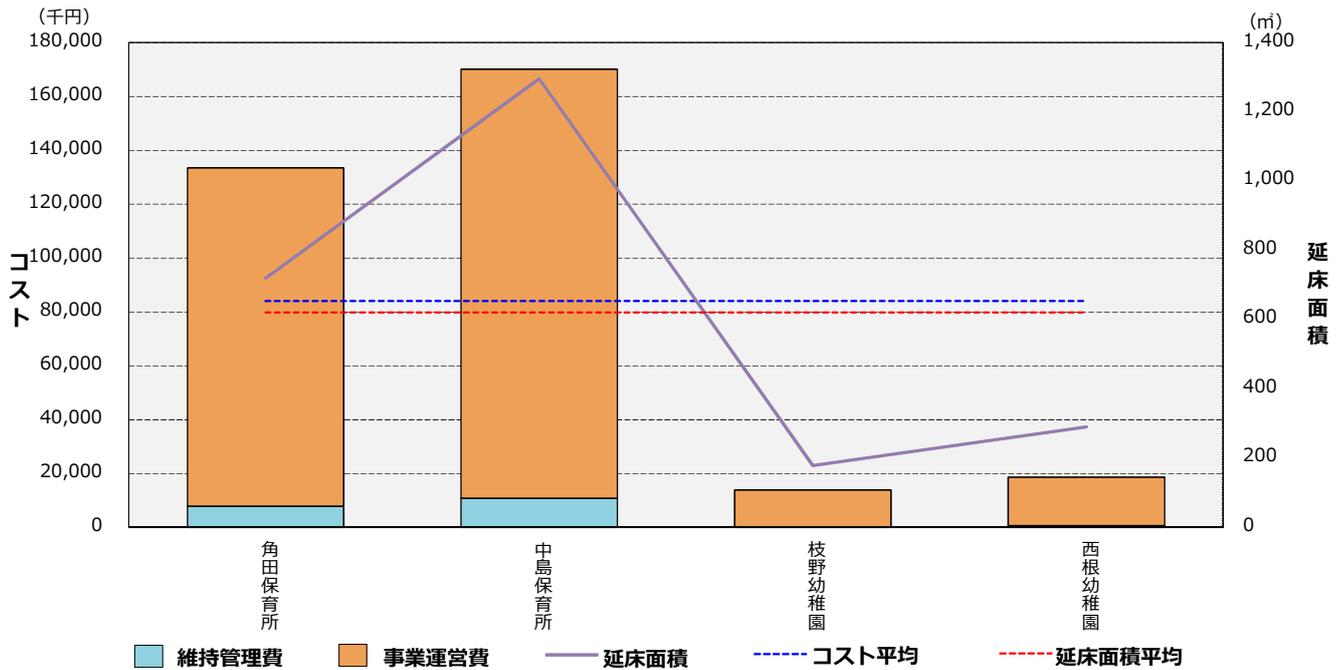


図 34 幼稚園・保育園・こども園の延床面積とコスト

幼稚園・保育園・こども園のうち、延床面積が最も広いのは中島保育所の 1,295 ㎡であり、2 番目は角田保育所の 720 ㎡です。また、コストが最も高いのは、中島保育所の 170,094 千円であり、2 番目は角田保育所の 133,504 千円です。

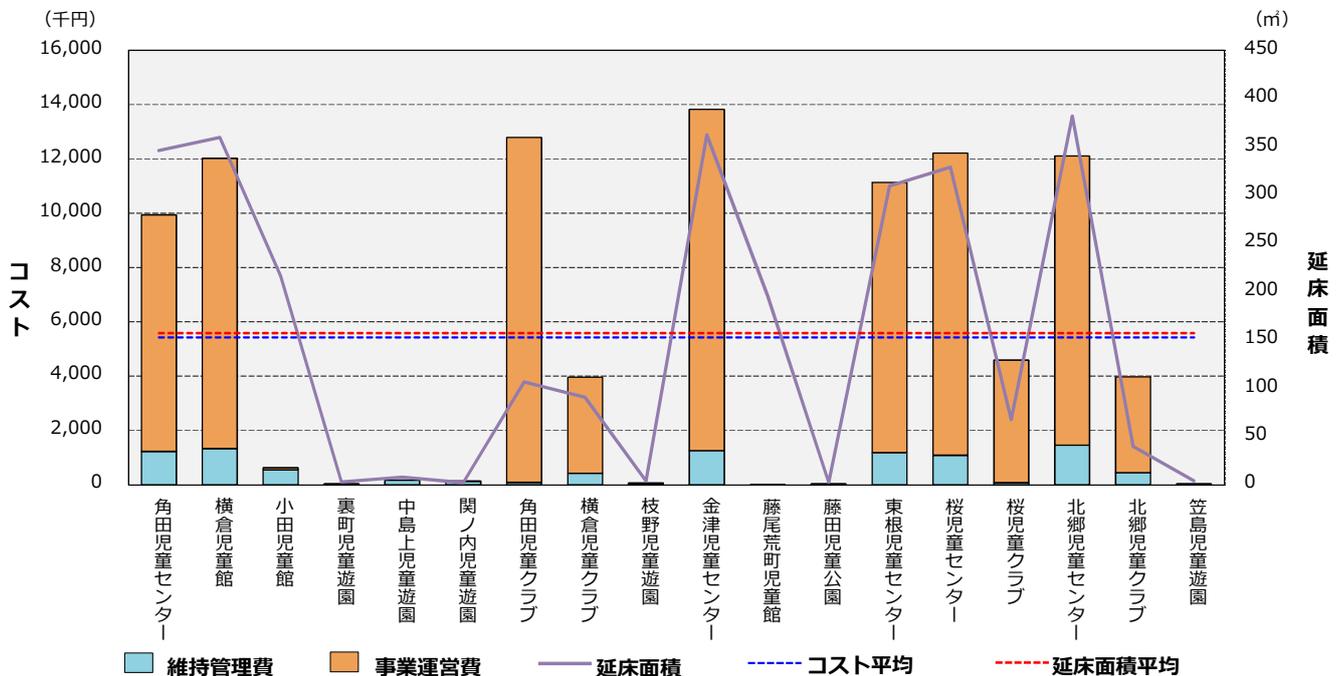


図 35 幼児・児童施設の延床面積とコスト

幼児・児童施設のうち、延床面積が最も広いのは北郷児童センターの 382 ㎡であり、2 番目は金津児童センターの 362 ㎡です。また、コストが最も高いのは、金津児童センターの 13,824 千円であり、2 番目は角田児童クラブの 12,794 千円です。

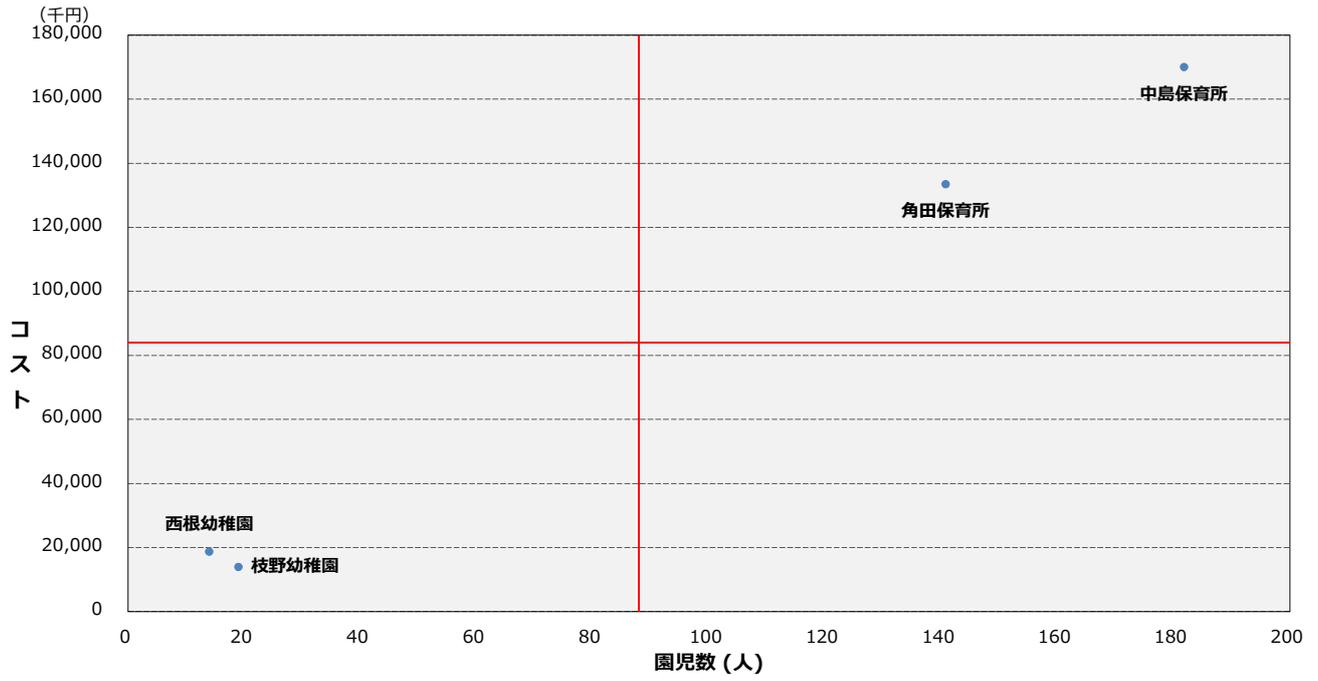


図 36 幼稚園・保育園・こども園の利用者数とコスト

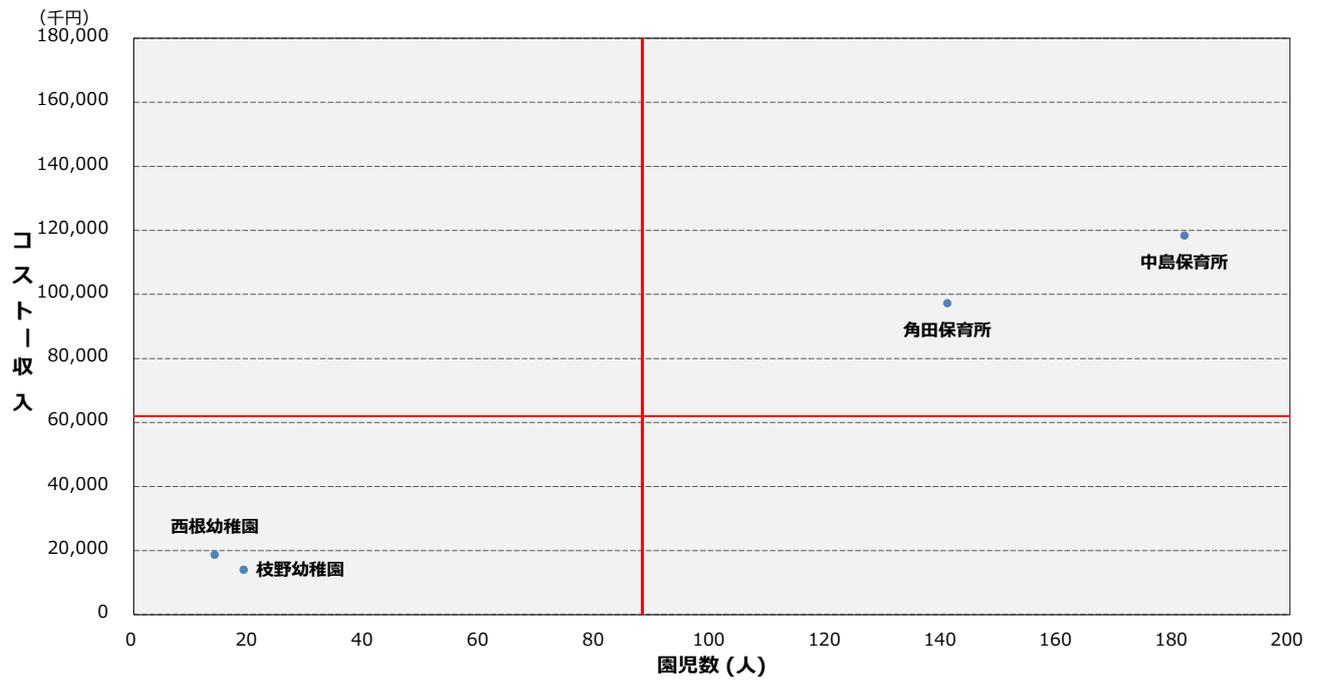


図 37 幼稚園・保育園・こども園の利用者数とコスト-収入

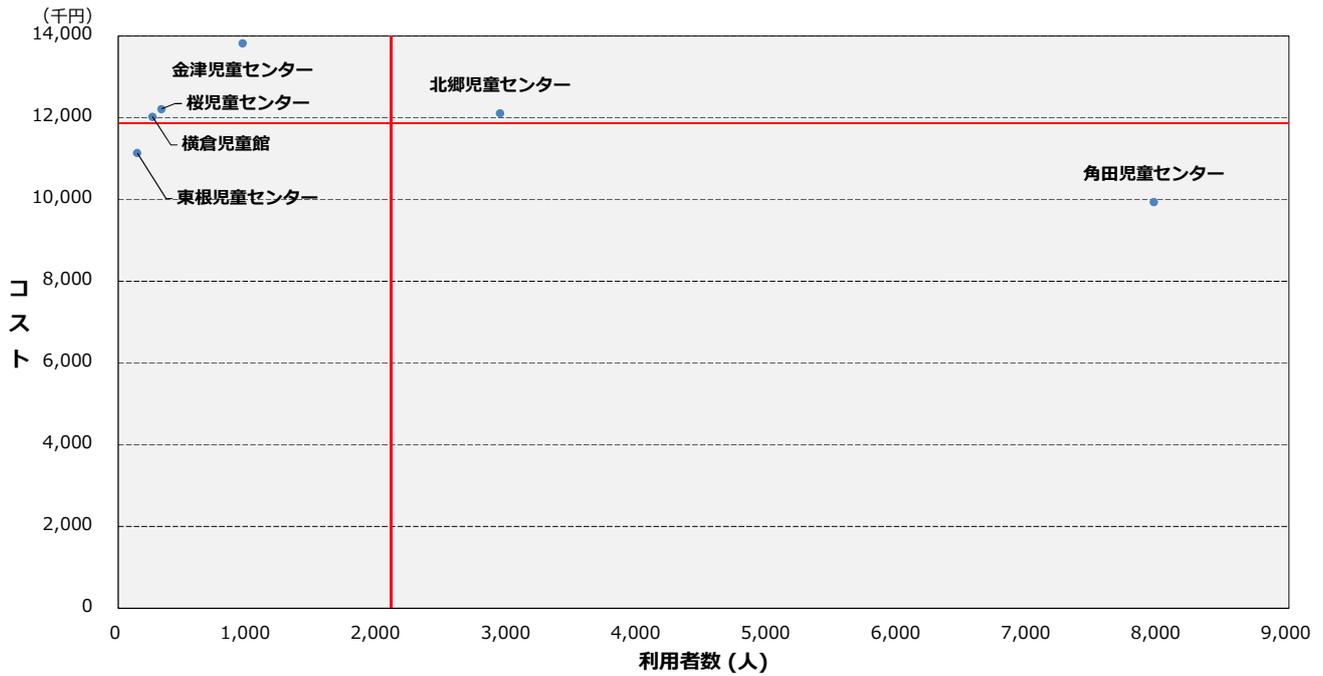


図 38 幼児・児童施設の利用者数とコスト

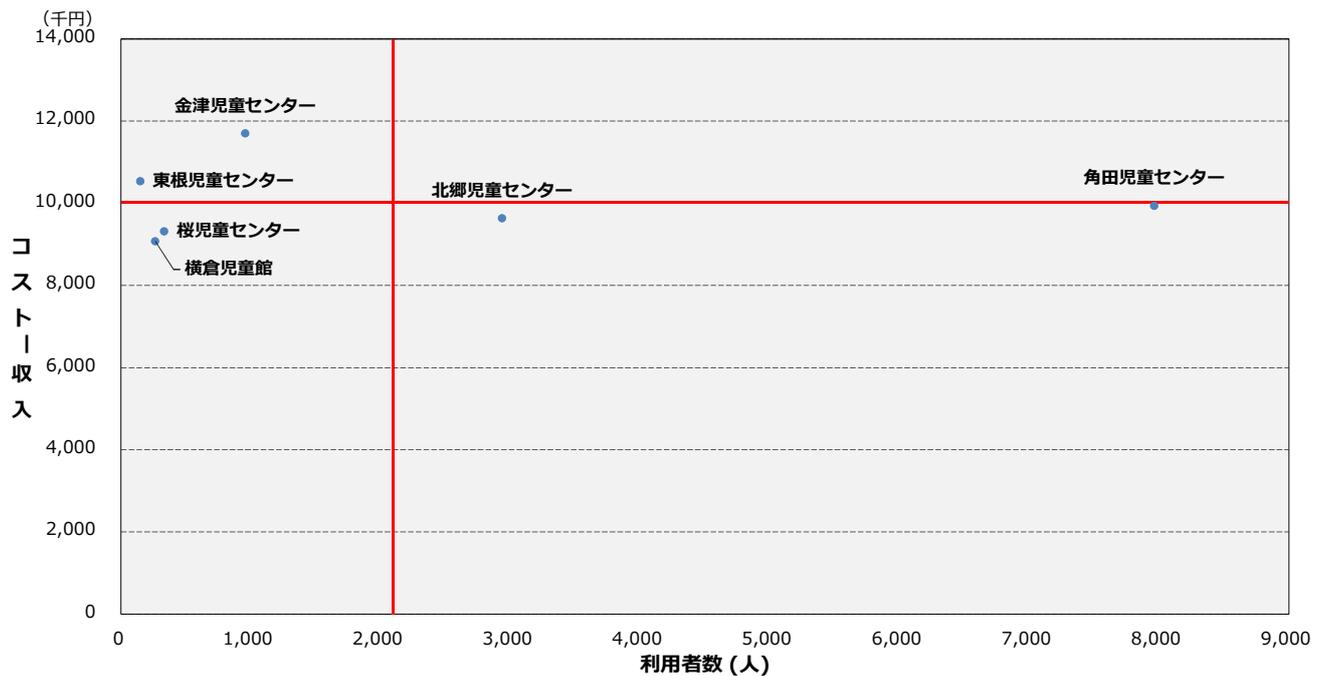


図 39 幼児・児童施設の利用者数とコスト-収入

子育て支援施設は、全ての地区に1箇所以上整備されており、その多くが学校に近接するように整備されている施設です。利用者数とコストの関係をみると、幼稚園と保育所の施設規模の違いが表れていることがわかります。また、金津児童センターは利用者数に対してコストが平均以上であることから、コスト面での運営方法等の見直しが必要なことも考えられます。

(7) 保健・福祉施設の状況

表 15 保健・福祉施設の一覧

中分類	地域	No	施設名称	運営主体	複合施設	延床面積(m ²)	主要建物建築年度	主要建物構造
障害福祉施設	角田	1	障害者就労支援施設のぎく	指定管理者		388	2001	木造
保健施設	角田	1	総合保健福祉センター ウエルパークかくだ	直営		4,131	2001	鉄骨鉄筋コンクリート
その他 社会福祉施設	枝野	1	枝野やすらぎの家	直営		68	1988	木造
	東根	2	東根やすらぎの家	直営		165	1973	鉄筋コンクリート

保健・福祉施設は市内に 4 箇所あり、うち障害福祉施設は 1 箇所（延床面積合計：388 m²）、保健施設は 1 箇所（延床面積合計：4,131 m²）、その他社会福祉施設は 2 箇所（延床面積合計：233 m²）あります。

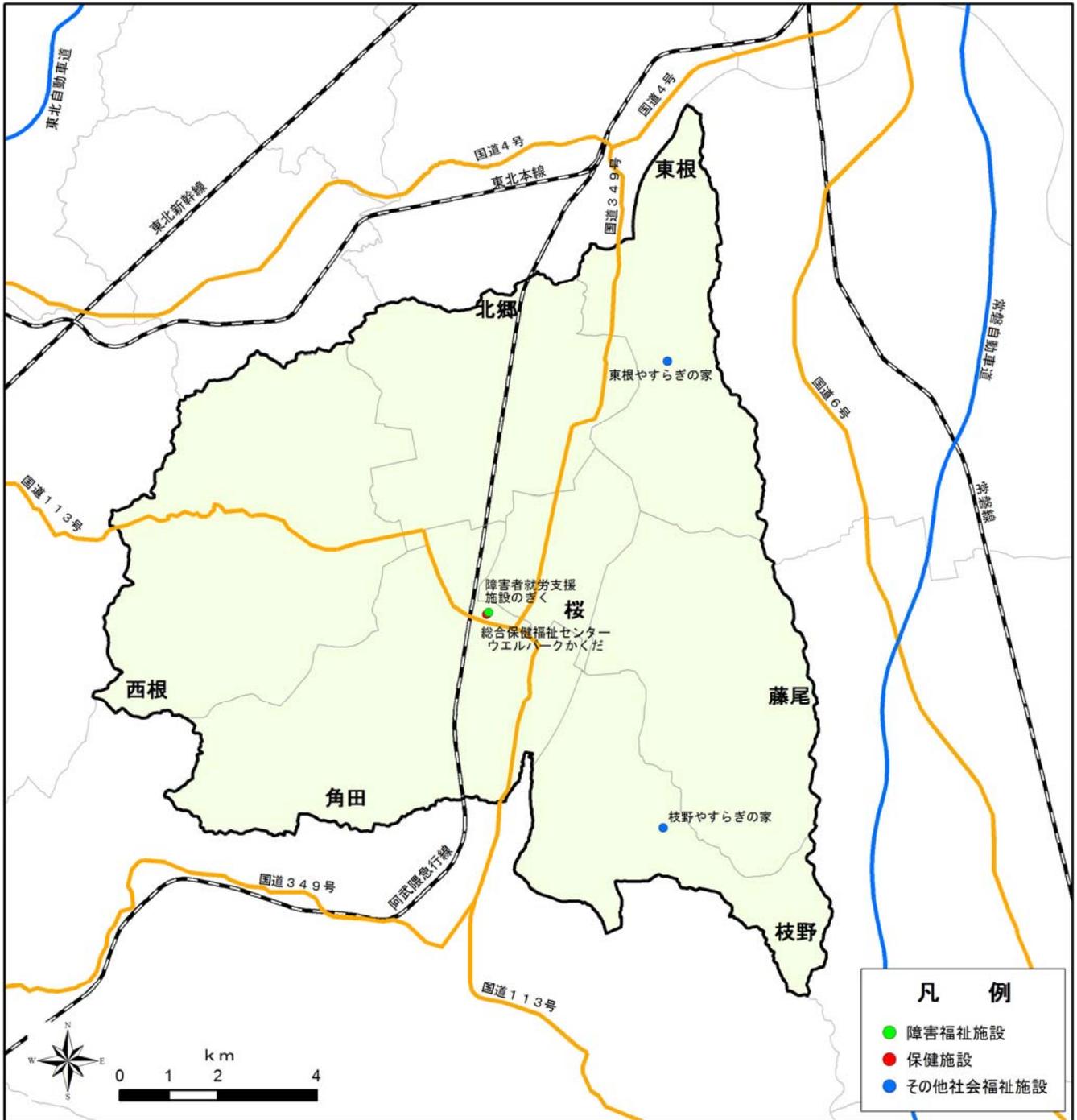


図 40 保健・福祉施設の配置状況

表 16 保健・福祉施設の利用度とコストの一覧

施設名称	維持管理費 (千円)	事業運営費 (千円)	コスト (千円)	利用者数 (人)	利用者 1人当たり のコスト (円/人)	収入 (千円)	コスト-収入 差額 (千円)	指定 管理料 (千円)
障害福祉施設								
障害者就労支援施設のぎく	3,647	21,021	24,669	3,487	7,074	21,791	2,877	2,877
小計	3,647	21,021	24,669	3,487	7,074	21,791	2,877	2,877
保健施設								
総合保健福祉センター ウエルパークかくだ	33,031	4,408	37,439	49,235	760	2,800	34,638	0
小計	33,031	4,408	37,439	49,235	760	2,800	34,638	0
その他社会福祉施設								
枝野やすらぎの家	140	13	154	170	908	0	154	0
東根やすらぎの家	3	5	8	—	—	0	8	0
小計	144	19	163	170	961	0	163	0
合計	36,822	25,448	62,271	52,892	8,795	24,591	37,678	2,877

保健・福祉施設の延利用者数は52,892人です。これら施設にかかるコストは132,331千円、収入は28,951千円、コスト-収入の差額は103,379千円です。

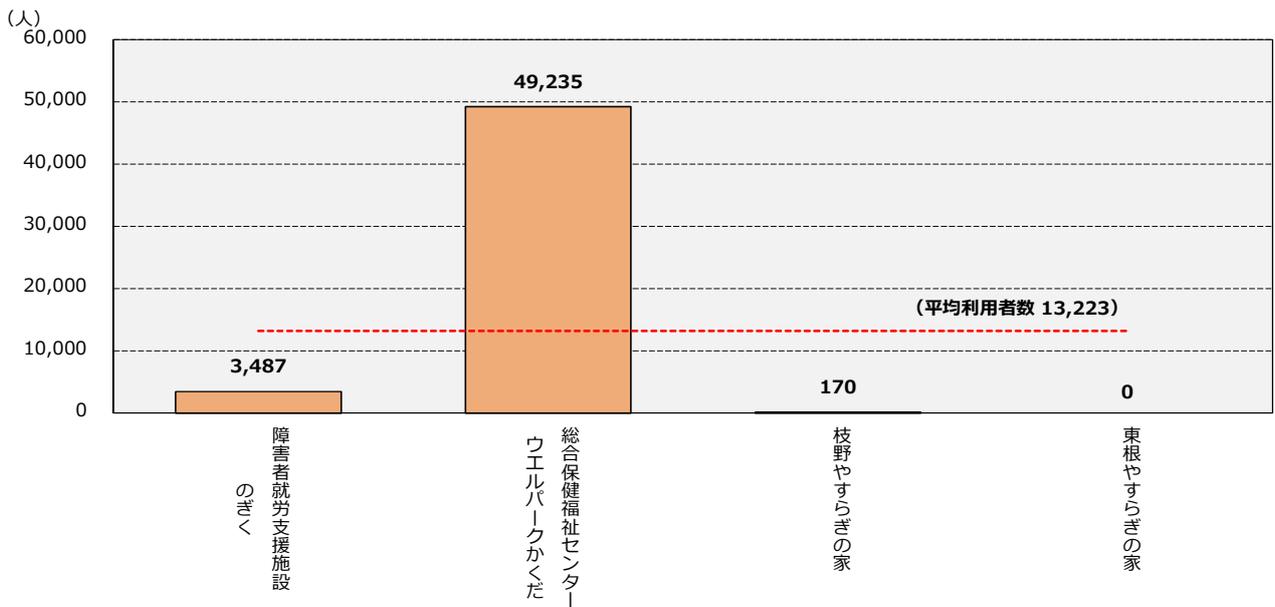


図 41 保健・福祉施設の利用者数

保健・福祉施設のうち、年間の利用者が最も多い施設は、総合保健福祉センター ウエルパークかくだの49,235人です。最も利用者が少ない施設は、枝野やすらぎの家の170人です。

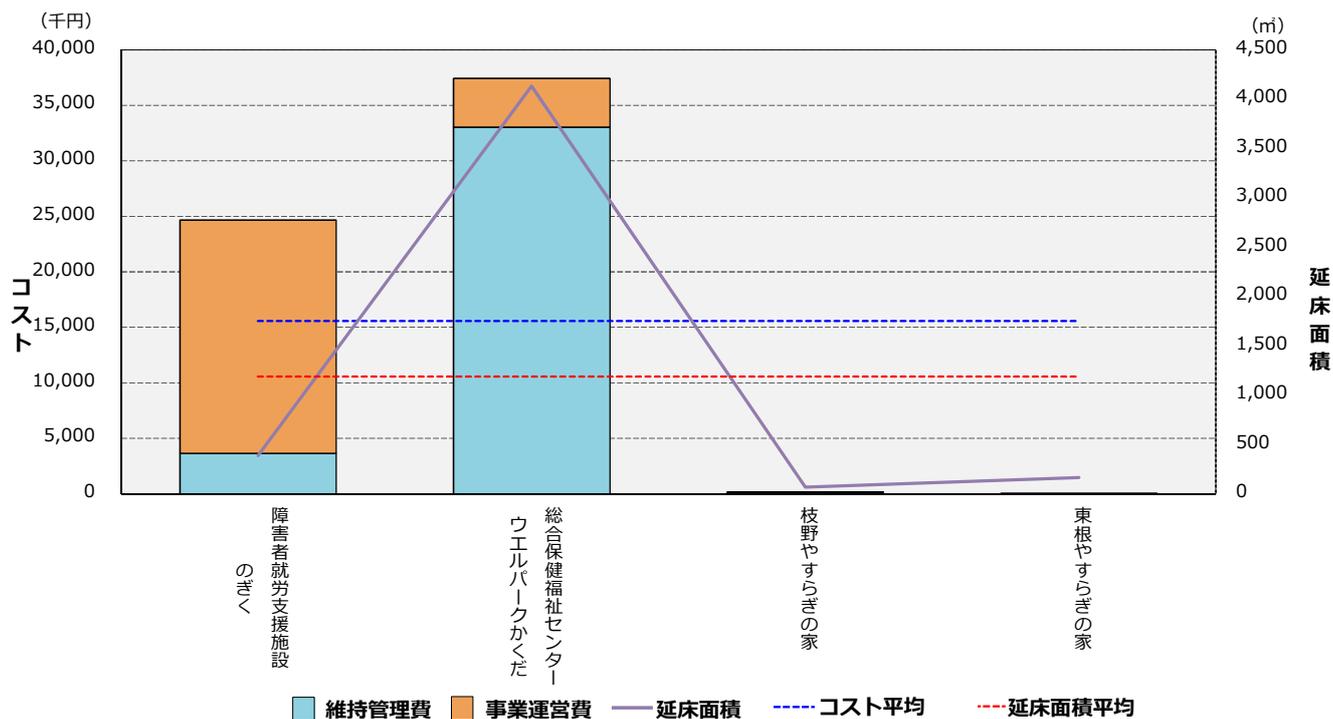


図 42 保健・福祉施設の延床面積とコスト

保健・福祉施設のうち、延床面積が最も広いのは総合保健福祉センター ウエルパークかくたの 4,131㎡です。また、コストが最も高いのも総合保健福祉センター ウエルパークかくたの 37,439 千円です。

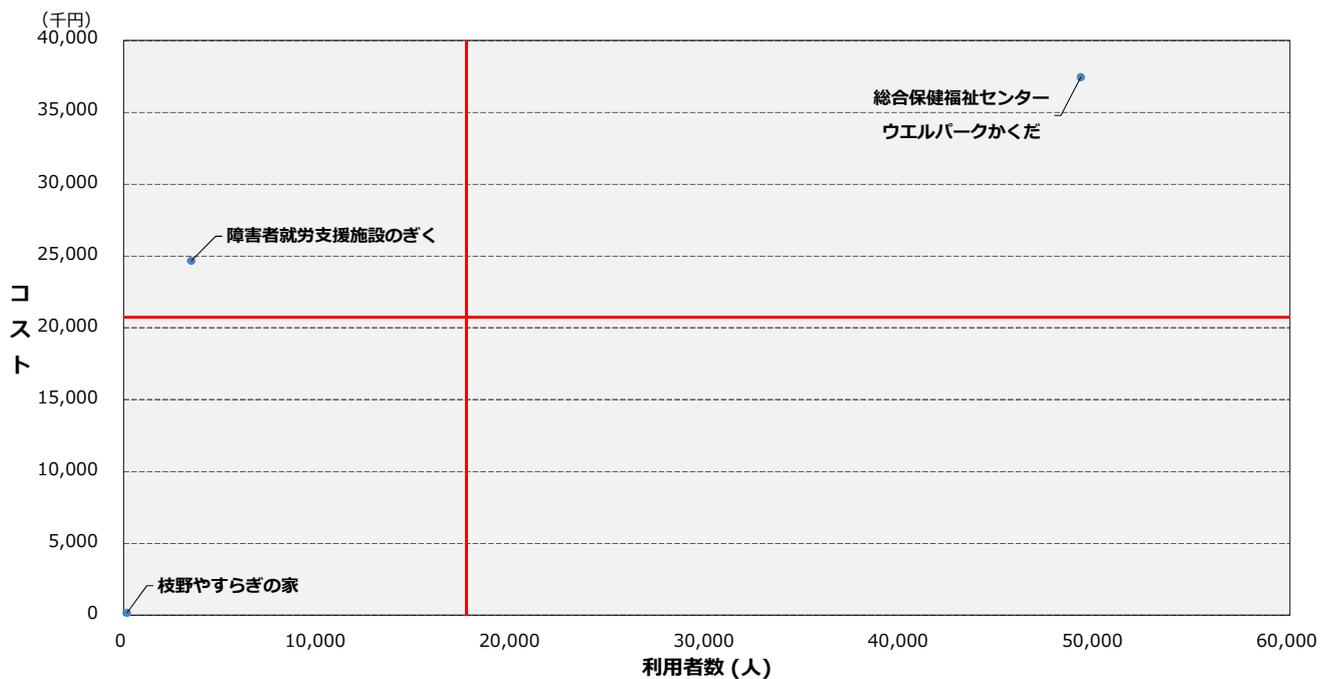


図 43 保健・福祉施設の利用者数とコスト

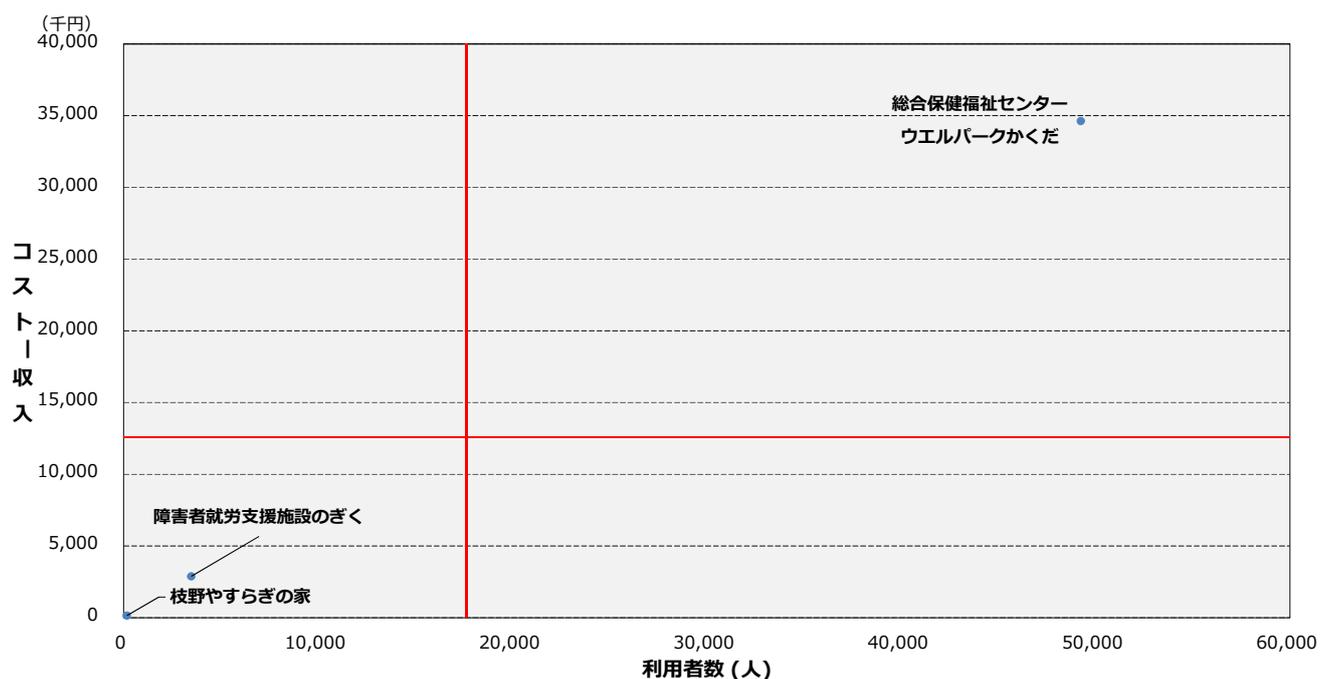


図 44 保健・福祉施設の利用者とコスト-収入

保健・福祉施設は、利用者が比較的多い総合保健福祉センター、障害者就労支援施設のぎくと利用者が極めて少ない枝野やすらぎの家、東根やすらぎの家があります。コストは低いですが利用者が極めて少ない施設は、廃止を含め検討する必要があると考えられます。

(8) 行政系施設の状況

表 17 行政系施設の一覧 (1)

中分類	地域	No	施設名称	運営主体	複合施設	延床面積 (㎡)	主要建物建築年度	主要建物構造
庁舎等	角田	1	市役所庁舎	直営		7,494	1978	鉄筋コンクリート
	角田	2	市役所庁舎(南側事務所)	直営		313	1966	木造
	角田	3	市役所庁舎(錦町庁舎)	直営		373	1976	鉄筋コンクリート
消防施設	角田	1	南町ポンプ置場	直営		17	2010	軽量鉄骨
	角田	2	裏町ポンプ置場	直営		17	1994	木造
	角田	3	野田前ポンプ置場	直営		17	1996	木造
	角田	4	本町ポンプ置場	直営		27	1968	軽量鉄骨
	角田	5	立町自動車ポンプ置場	直営		84	1993	木造
	角田	6	北町ポンプ置場	直営		17	1995	木造
	角田	7	寺前ポンプ置場	直営		17	2009	軽量鉄骨
	角田	8	新丁ポンプ置場	直営		10	1986	コンクリート・ブロック造
	角田	9	東田町ポンプ置場	直営		18	2013	軽量鉄骨
	角田	10	中島上ポンプ置場	直営		17	2007	軽量鉄骨
	角田	11	西田町ポンプ置場	直営		17	1995	木造
	角田	12	世ヶ崎ポンプ置場	直営		18	2000	軽量鉄骨
	角田	13	福田ポンプ置場	直営		18	2003	軽量鉄骨
	角田	14	赤生ポンプ置場	直営		17	1990	木造
	角田	15	北山ノ内ポンプ置場	直営		7	1974	コンクリート・ブロック造
	角田	16	左関ポンプ置場	直営		18	2002	軽量鉄骨
	角田	17	今谷ポンプ置場	直営		17	1992	木造
	角田	18	豊里ポンプ置場	直営		18	2004	軽量鉄骨
	枝野	19	石川口ポンプ置場	直営		18	2005	軽量鉄骨
	枝野	20	三月殿ポンプ置場	直営		17	2004	木造
	枝野	21	島田ポンプ置場	直営		17	1991	木造
	枝野	22	光畑ポンプ置場	直営		17	1990	木造
	枝野	23	加賀ポンプ置場	直営		18	2000	軽量鉄骨
	枝野	24	畑中ポンプ置場	直営		18	2003	軽量鉄骨
	枝野	25	寄井ポンプ置場	直営		17	2008	軽量鉄骨
	枝野	26	長沼ポンプ置場	直営		17	1992	木造
	藤尾	27	大谷ポンプ置場	直営		18	1999	軽量鉄骨
	藤尾	28	荒町ポンプ置場	直営		17	1996	木造
	藤尾	29	荒町自動車ポンプ置場	直営		28	1978	コンクリート・ブロック造
	藤尾	30	横町ポンプ置場	直営		18	2001	軽量鉄骨
	藤尾	31	下山ポンプ置場	直営		10	1985	コンクリート・ブロック造
	藤尾	32	半田ポンプ置場	直営		18	2002	軽量鉄骨
	藤尾	33	源内ポンプ置場	直営		18	2004	軽量鉄骨
	藤尾	34	北根ポンプ置場	直営		17	2009	軽量鉄骨
	藤尾	35	風呂ポンプ置場	直営		17	1993	木造
	藤尾	36	六角ポンプ置場	直営		17	1995	木造

表 18 行政系施設の一覧 (2)

中分類	地域	No	施設名称	運営主体	複合施設	延床面積 (㎡)	主要建物建築年度	主要建物構造
消防施設	東根	37	坂津田上ポンプ置場	直営		18	2003	軽量鉄骨
	東根	38	銀杏下ポンプ置場	直営		10	1988	コンクリート・ブロック造
	東根	39	池田ポンプ置場	直営		18	2000	軽量鉄骨
	東根	40	中ノ内ポンプ置場	直営		17	1991	木造
	東根	41	中丸ポンプ置場	直営		18	2005	軽量鉄骨
	東根	42	平貴上ポンプ置場	直営		18	2005	軽量鉄骨
	東根	43	東小坂ポンプ置場	直営		18	2006	軽量鉄骨
	東根	44	西小坂ポンプ置場	直営		18	1999	軽量鉄骨
	東根	45	鳩原ポンプ置場	直営		17	1993	木造
	桜	46	桜1区ポンプ置場	直営		17	1998	木造
	桜	47	桜3区ポンプ置場	直営		18	2002	軽量鉄骨
	桜	48	桜4区ポンプ置場	直営		18	2005	軽量鉄骨
	桜	49	桜5区ポンプ置場	直営		17	1990	木造
	桜	50	桜6区ポンプ置場	直営		17	2000	軽量鉄骨
	桜	51	桜7区ポンプ置場	直営		18	2006	軽量鉄骨
	桜	52	一本木ポンプ置場	直営		17	1995	木造
	桜	53	島西浦ポンプ置場	直営		18	2001	軽量鉄骨
	北郷	54	内川ポンプ置場	直営		17	1990	木造
	北郷	55	駅前北ポンプ置場	直営		17	1996	木造
	北郷	56	君萱ポンプ置場	直営		18	2006	軽量鉄骨
	北郷	57	名子内ポンプ置場	直営		18	2001	軽量鉄骨
	北郷	58	深町ポンプ置場	直営		18	2004	軽量鉄骨
	北郷	59	梁瀬ポンプ置場	直営		18	1999	軽量鉄骨
	北郷	60	花東ポンプ置場	直営		17	1997	木造
	北郷	61	南江尻ポンプ置場	直営		18	1998	軽量鉄骨
	北郷	62	江東ポンプ置場	直営		18	2003	軽量鉄骨
	北郷	63	神次郎ポンプ置場	直営		17	1994	木造
	西根	64	小原田ポンプ置場	直営		18	2001	軽量鉄骨
	西根	65	新田ポンプ置場	直営		18	2004	軽量鉄骨
	西根	66	高倉ポンプ置場	直営		17	1990	木造
	西根	67	新町ポンプ置場	直営		18	2006	軽量鉄骨
	西根	68	出戸ポンプ置場	直営		18	2005	軽量鉄骨
	西根	69	大橋ポンプ置場	直営		18	1999	軽量鉄骨
	西根	70	稲置ポンプ置場	直営		17	1991	木造
	西根	71	館林ポンプ置場	直営		17	2010	軽量鉄骨
	西根	72	十五町ポンプ置場	直営		17	2011	軽量鉄骨
	西根	73	宮橋ポンプ置場	直営		17	1995	木造
	西根	74	大窪ポンプ置場	直営		17	2007	軽量鉄骨
	西根	75	柳茶屋ポンプ置場	直営		27	2008	軽量鉄骨
	西根	76	山田ポンプ置場	直営		17	1997	木造

行政系施設は市内に 79 箇所あり、うち庁舎等は 3 箇所（延床面積合計：8,180 ㎡）、消防施設は 76 箇所（延床面積合計：1,392 ㎡）あります。

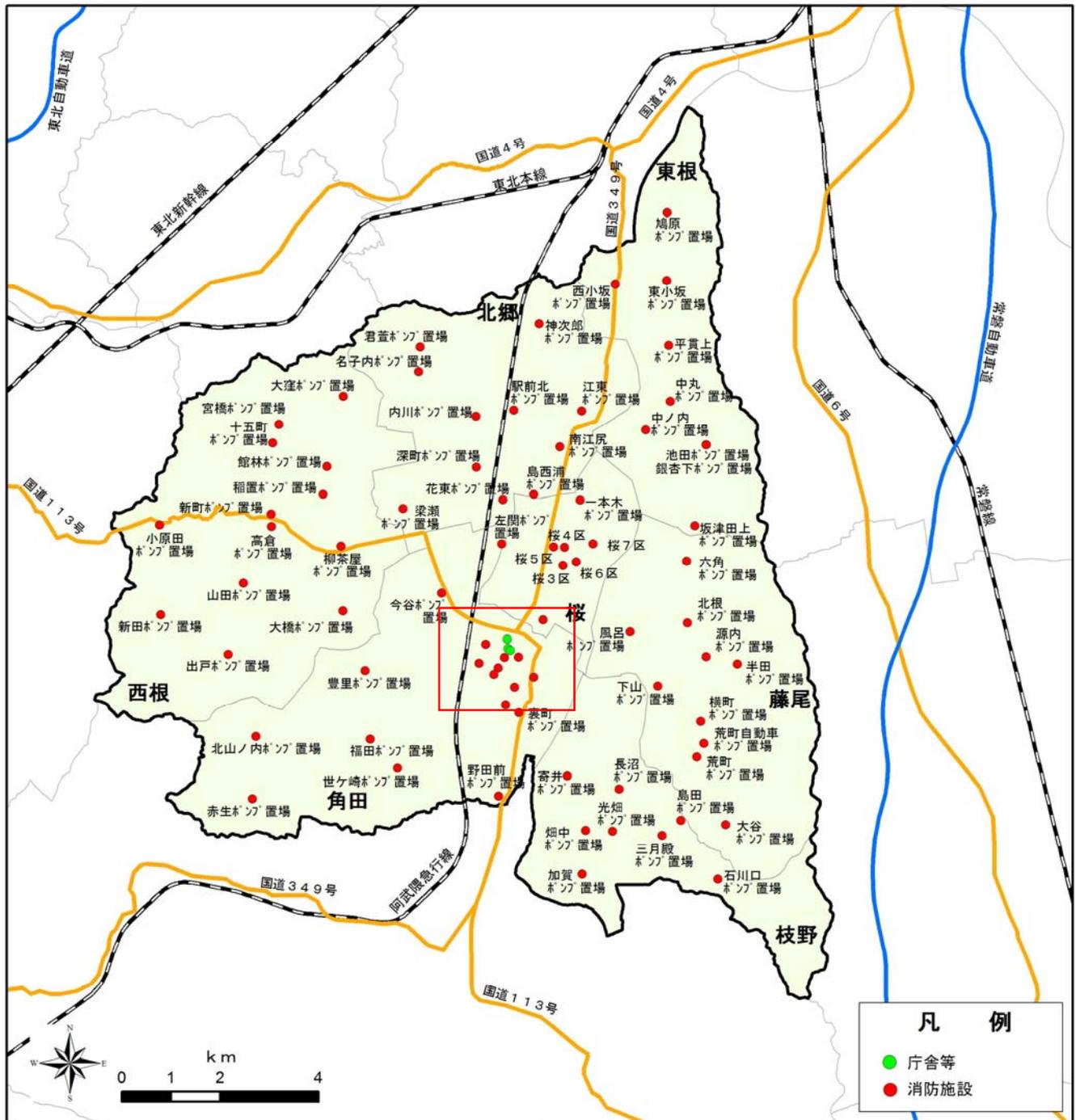


図 45 行政系施設の配置状況

表 19 行政系施設の利用度とコストの一覧 (1)

施設名称	維持 管理費 (千円)	事業 運営費 (千円)	コスト (千円)	利用者数 (人)	利用者 1人当たり のコスト (円/人)	収入 (千円)	コスト-収入 差額 (千円)	指定 管理料 (千円)
庁舎等								
市役所庁舎	32,399	1,122	33,521	—	—	2,111	31,410	0
市役所庁舎(南側事務所)	14,791	419	15,210	—	—	0	15,210	0
市役所庁舎(錦町庁舎)	15,056	419	15,475	—	—	1,100	14,375	0
小計	62,247	1,961	64,208	—	—	3,211	60,996	0
消防施設								
南町ポンプ置場	9	0	9	—	—	0	9	0
裏町ポンプ置場	25	0	25	—	—	0	25	0
野田前ポンプ置場	9	0	9	—	—	0	9	0
本町ポンプ置場	0	0	0	—	—	0	0	0
立町自動車ポンプ置場	51	0	51	—	—	0	51	0
北町ポンプ置場	14	0	14	—	—	0	14	0
寺前ポンプ置場	9	0	9	—	—	0	9	0
新丁ポンプ置場	6	0	6	—	—	0	6	0
東田町ポンプ置場	10	0	10	—	—	0	10	0
中島上ポンプ置場	6	0	6	—	—	0	6	0
西田町ポンプ置場	6	0	6	—	—	0	6	0
世々崎ポンプ置場	11	0	11	—	—	0	11	0
福田ポンプ置場	9	0	9	—	—	0	9	0
赤生ポンプ置場	9	0	9	—	—	0	9	0
北山ノ内ポンプ置場	6	0	6	—	—	0	6	0
左関ポンプ置場	14	0	14	—	—	0	14	0
今谷ポンプ置場	9	0	9	—	—	0	9	0
豊里ポンプ置場	14	0	14	—	—	0	14	0
石川口ポンプ置場	9	0	9	—	—	0	9	0
三月殿ポンプ置場	54	0	54	—	—	0	54	0
島田ポンプ置場	8	0	8	—	—	0	8	0
光畑ポンプ置場	14	0	14	—	—	0	14	0
加賀ポンプ置場	10	0	10	—	—	0	10	0
畑中ポンプ置場	8	0	8	—	—	0	8	0
寄井ポンプ置場	12	0	12	—	—	0	12	0
長沼ポンプ置場	8	0	8	—	—	0	8	0
大谷ポンプ置場	11	0	11	—	—	0	11	0
荒町ポンプ置場	14	0	14	—	—	0	14	0
荒町自動車ポンプ置場	34	0	34	—	—	0	34	0
横町ポンプ置場	17	0	17	—	—	0	17	0
下山ポンプ置場	10	0	10	—	—	0	10	0
半田ポンプ置場	10	0	10	—	—	0	10	0
源内ポンプ置場	6	0	6	—	—	0	6	0
北根ポンプ置場	9	0	9	—	—	0	9	0
風呂ポンプ置場	32	0	32	—	—	0	32	0
六角ポンプ置場	7	0	7	—	—	0	7	0

表 20 行政系施設の利用度とコストの一覧 (2)

施設名称	維持 管理費 (千円)	事業 運営費 (千円)	コスト (千円)	利用者数 (人)	利用者 1人当たり のコスト (円/人)	収入 (千円)	コスト-収入 差額 (千円)	指定 管理料 (千円)
坂津田上ポンプ置場	10	0	10	—	—	0	10	0
銀杏下ポンプ置場	9	0	9	—	—	0	9	0
池田ポンプ置場	13	0	13	—	—	0	13	0
中ノ内ポンプ置場	10	0	10	—	—	0	10	0
中丸ポンプ置場	8	0	8	—	—	0	8	0
平貫上ポンプ置場	12	0	12	—	—	0	12	0
東小坂ポンプ置場	7	0	7	—	—	0	7	0
西小坂ポンプ置場	12	0	12	—	—	0	12	0
鳩原ポンプ置場	10	0	10	—	—	0	10	0
桜1区ポンプ置場	20	0	20	—	—	0	20	0
桜3区ポンプ置場	9	0	9	—	—	0	9	0
桜4区ポンプ置場	19	0	19	—	—	0	19	0
桜5区ポンプ置場	7	0	7	—	—	0	7	0
桜6区ポンプ置場	19	0	19	—	—	0	19	0
桜7区ポンプ置場	8	0	8	—	—	0	8	0
一本木ポンプ置場	7	0	7	—	—	0	7	0
島西浦ポンプ置場	8	0	8	—	—	0	8	0
内川ポンプ置場	3	0	3	—	—	0	3	0
駅前北ポンプ置場	11	0	11	—	—	0	11	0
君萱ポンプ置場	7	0	7	—	—	0	7	0
名子内ポンプ置場	12	0	12	—	—	0	12	0
深町ポンプ置場	19	0	19	—	—	0	19	0
梁瀬ポンプ置場	9	0	9	—	—	0	9	0
花東ポンプ置場	3	0	3	—	—	0	3	0
南江尻ポンプ置場	10	0	10	—	—	0	10	0
江東ポンプ置場	20	0	20	—	—	0	20	0
神次郎ポンプ置場	28	0	28	—	—	0	28	0
小原田ポンプ置場	13	0	13	—	—	0	13	0
新田ポンプ置場	14	0	14	—	—	0	14	0
高倉ポンプ置場	55	0	55	—	—	0	55	0
新町ポンプ置場	6	0	6	—	—	0	6	0
出戸ポンプ置場	16	0	16	—	—	0	16	0
大橋ポンプ置場	28	0	28	—	—	0	28	0
稲置ポンプ置場	19	0	19	—	—	0	19	0
館林ポンプ置場	17	0	17	—	—	0	17	0
十五町ポンプ置場	8	0	8	—	—	0	8	0
宮橋ポンプ置場	13	0	13	—	—	0	13	0
大窪ポンプ置場	15	0	15	—	—	0	15	0
柳茶屋ポンプ置場	8	0	8	—	—	0	8	0
山田ポンプ置場	7	0	7	—	—	0	7	0
小計	1,059	0	1,059	—	—	0	1,059	0
合計	63,306	1,961	65,267	0	0	3,211	62,055	0

行政系施設において利用者を集計している施設はありません。これら施設にかかるコストは 65,267 千円、収入は 3,211 千円、コスト-収入の差額は 62,055 千円です。

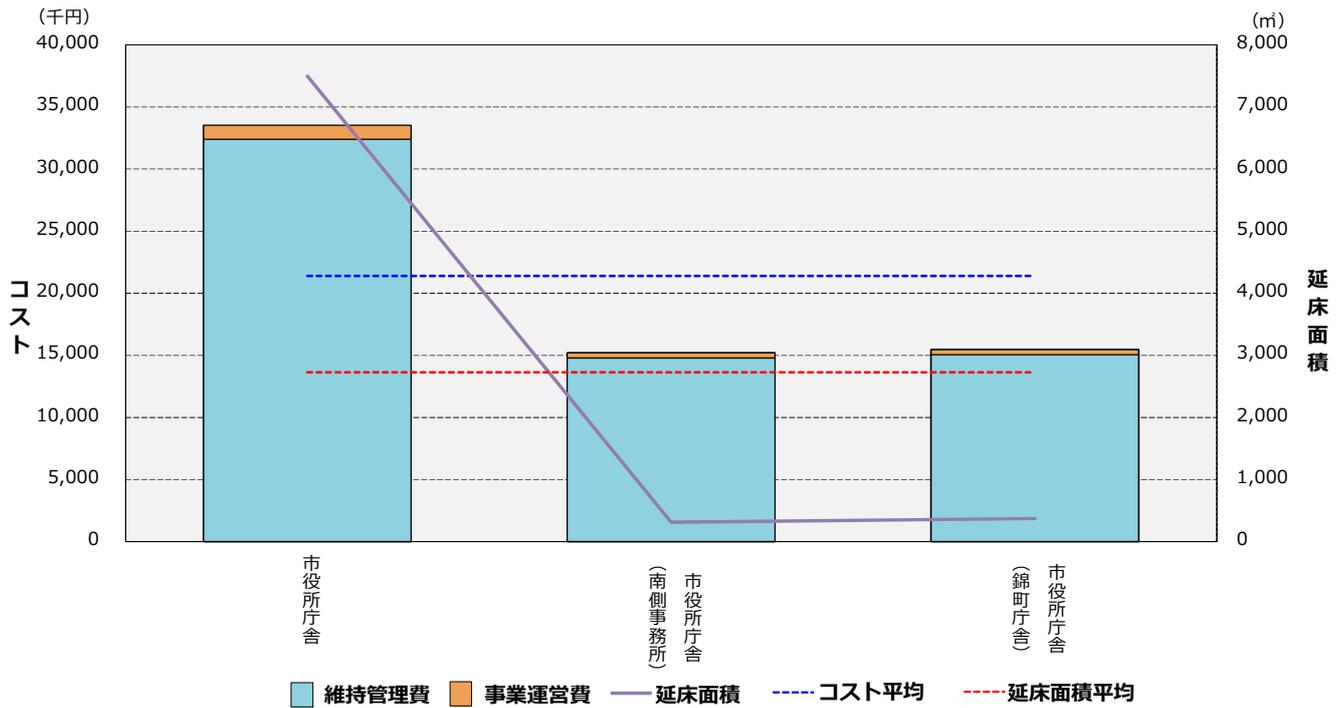


図 46 庁舎等の延床面積とコスト

庁舎等のうち、延床面積が最も広いのは市役所庁舎の 7,494 m²です。また、コストが最も高いのも、市役所庁舎の 33,521 千円です。

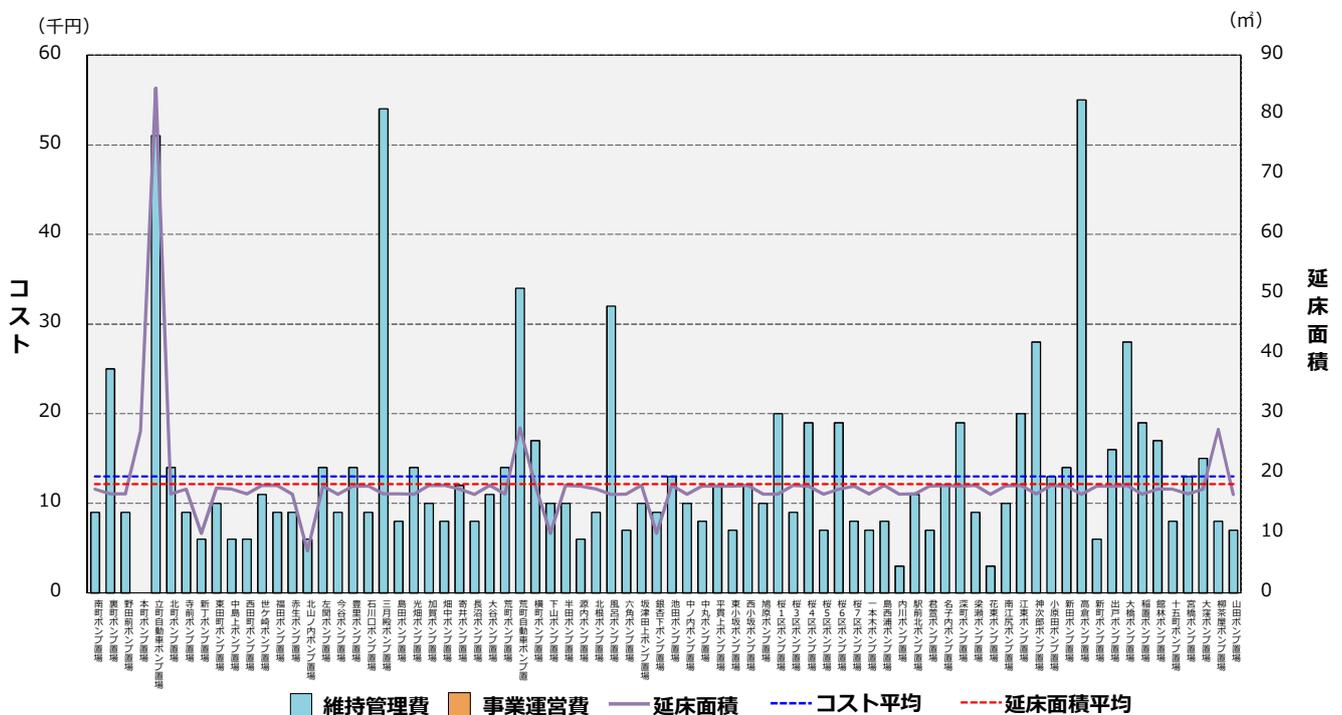


図 47 消防施設の延床面積とコスト

消防施設のうち、延床面積が最も広いのは立町自動車ポンプ置場の 84 m²であり、2 番目は荒町自動車ポンプ置場の 28 m²です。また、コストが最も高いのは、高倉ポンプ置場の 55 千円であり、2 番目は三月殿ポンプ置場の 54 千円です。

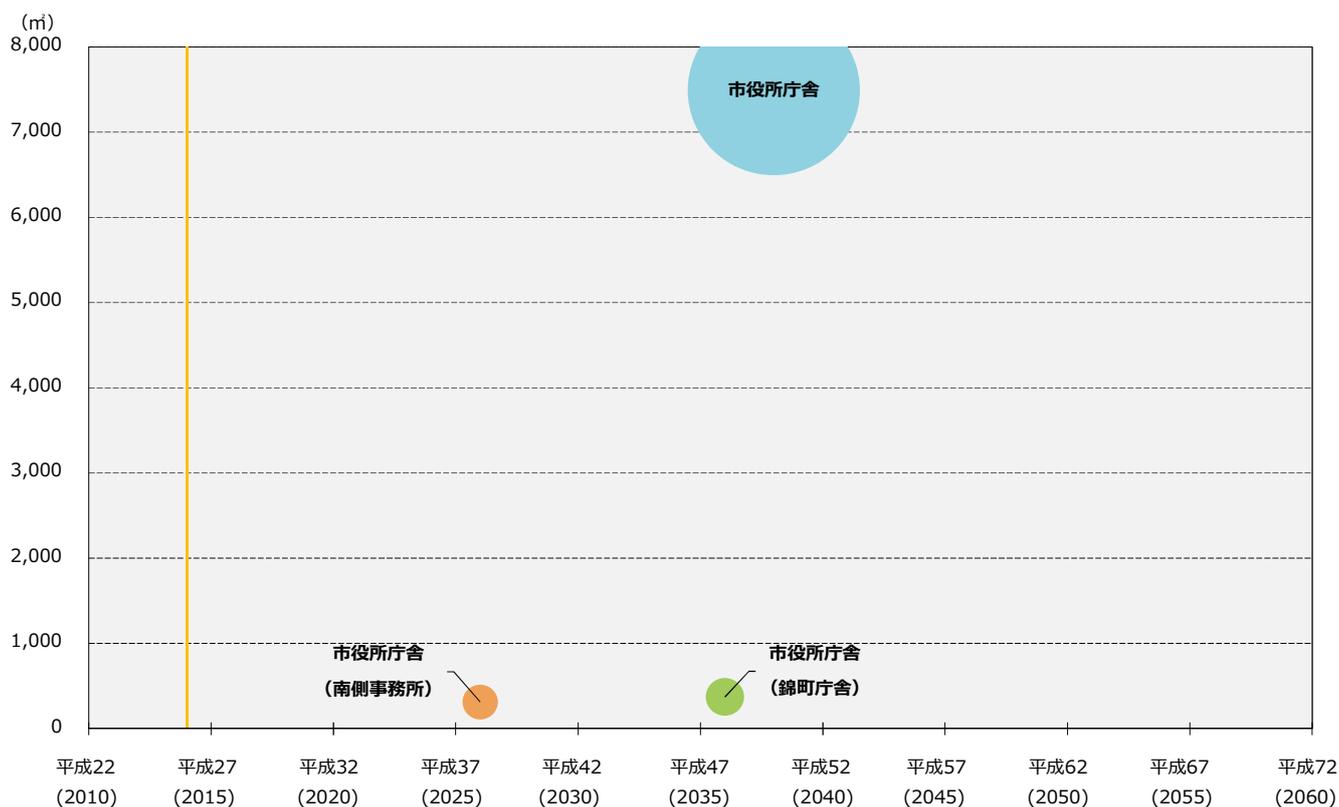


図 48 庁舎等の延床面積と耐用年数到来年度

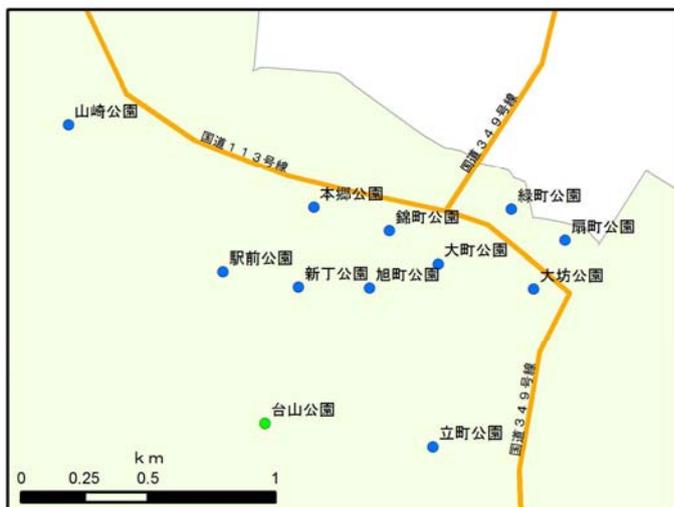
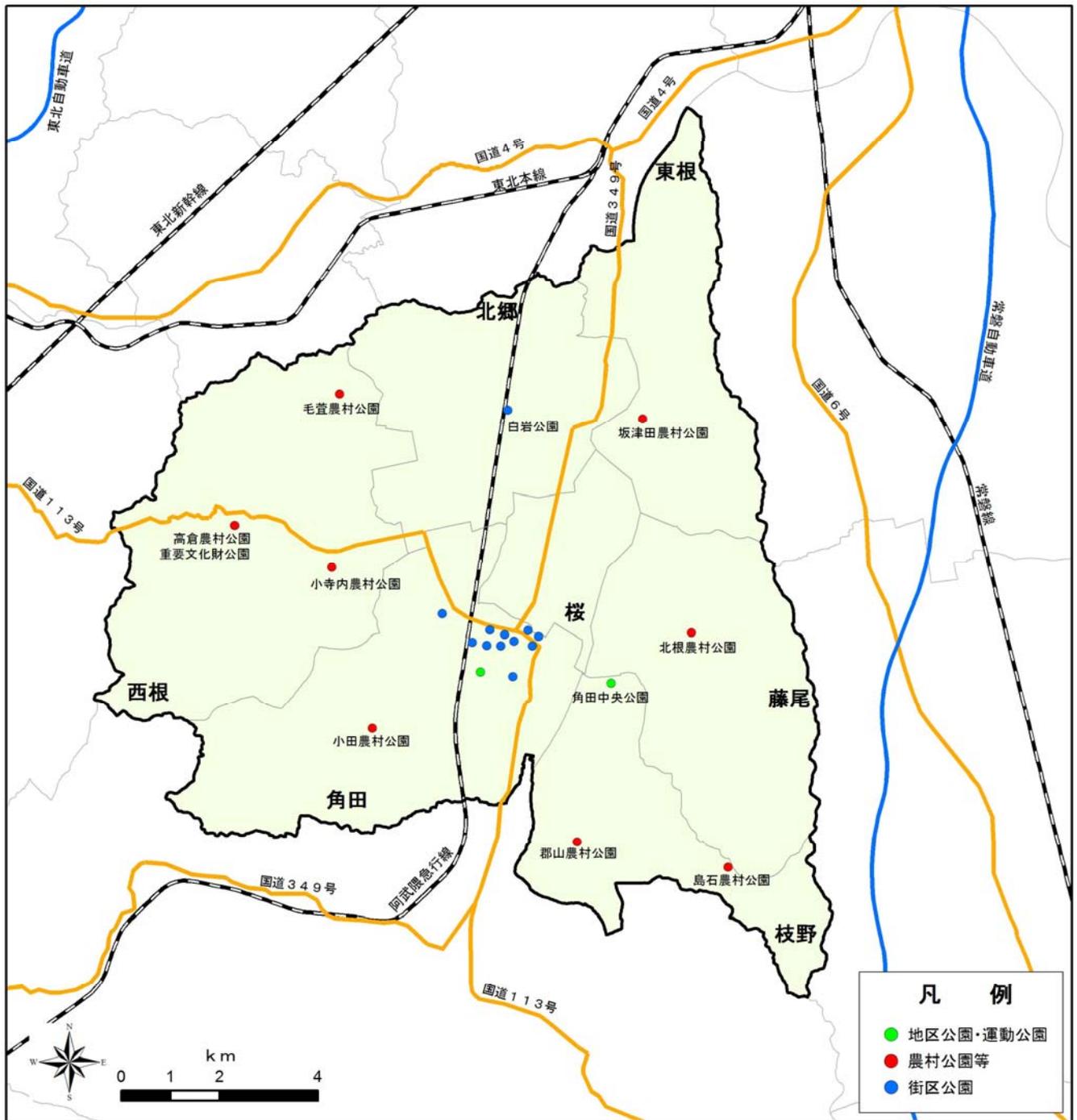
行政系施設は、庁舎等は角田地区、消防施設は全ての地区に偏りがないように整備されています。消防施設は、生活の安全のために無くてはならない施設であり、近年更新されています。市役所庁舎（南側事務所）は、昭和41年（1966年）に建築された施設であり老朽化も進行しています。また、南側事務所と錦町庁舎は耐震基準を満たしていません。

(9) 公園の状況

表 21 公園の一覧

中分類	地域	No	施設名称	運営主体	複合施設	延床面積(m ²)	主要建物建築年度	主要建物構造
公園	角田	1	台山公園	指定管理者		328	1989	木造
	角田	2	駅前公園	直営		15	1994	木造
	角田	3	立町公園	直営		15	1990	鉄筋コンクリート
	角田	4	本郷公園	直営		15	1992	鉄筋コンクリート
	角田	5	新丁公園	直営		12	1993	木造
	角田	6	錦町公園	直営		8	1991	木造
	角田	7	旭町公園	直営		12	1997	木造
	角田	8	大町公園	直営		15	1995	木造
	角田	9	大坊公園	直営		14	1996	木造
	角田	10	扇町公園	直営		7	2001	鉄骨
	角田	11	緑町公園	直営		4	1999	木造
	角田	12	山崎公園	直営		5	2012	木造
	角田	13	小田農村公園	直営		4	1995	木造
	枝野	14	角田中央公園	直営		278	2001	鉄骨
	枝野	15	島石農村公園	直営		3	1993	木造
	枝野	16	郡山農村公園	直営		5	1993	コンクリート・ブロック造
	藤尾	17	北根農村公園	直営		7	1990	鉄骨鉄筋コンクリート
	東根	18	坂津田農村公園	直営		7	1993	木造
	北郷	19	白岩公園	直営		10	2000	木造
	西根	20	重要文化財公園(旧佐藤家住宅)	直営		139	1977	木造
	西根	21	高倉農村公園	直営		16	1989	木造
	西根	22	小寺内農村公園	直営		5	1993	コンクリート・ブロック造
	西根	23	毛萱農村公園	直営		6	2002	木造

公園は市内に 23 箇所（延床面積合計：930 m²）あります。



公園は、桜地区を除く地区に整備されており、角田、北郷地区には街区公園、その他の地区には農村公園が整備されています。また、角田地区には地区公園である台山公園、枝野地区には運動公園である角田中央公園が整備されています。

図 49 公園の配置状況

表 22 公園の利用度とコストの一覧

施設名称	維持 管理費 (千円)	事業 運営費 (千円)	コスト (千円)	利用者数 (人)	利用者 1人当たり のコスト (円/人)	収入 (千円)	コスト-収入 差額 (千円)	指定 管理料 (千円)
公園								
台山公園	8,497	4,792	13,289	27,700	479	286	13,003	5,969
駅前公園	499	571	1,071	0	0	1	1,069	0
立町公園	499	571	1,071	—	—	3	1,067	0
本郷公園	499	571	1,071	—	—	1	1,069	0
新丁公園	499	571	1,071	—	—	1	1,069	0
錦町公園	499	571	1,071	—	—	1	1,069	0
旭町公園	499	571	1,071	—	—	1	1,069	0
大町公園	499	571	1,071	—	—	1	1,069	0
大坊公園	499	571	1,071	—	—	1	1,069	0
扇町公園	499	571	1,071	—	—	1	1,069	0
緑町公園	499	571	1,071	—	—	1	1,069	0
山崎公園	499	571	1,071	—	—	1	1,069	0
小田農村公園	86	54	141	—	—	0	141	0
角田中央公園	8,288	9,246	17,535	15,561	1,126	840	16,694	0
島石農村公園	57	21	79	—	—	0	79	0
郡山農村公園	57	1	59	—	—	0	59	0
北根農村公園	89	62	152	—	—	0	152	0
坂津田農村公園	74	56	130	—	—	0	130	0
白岩公園	499	571	1,071	—	—	4	1,066	0
重要文化財公園(旧佐藤家住宅)	413	147	560	17,000	32	0	560	0
高倉農村公園	1,880	4	1,884	—	—	0	1,884	0
小寺内農村公園	57	2	59	—	—	0	59	0
毛萱農村公園	268	59	327	—	—	0	327	0
小計	25,769	21,304	47,073	60,261	781	1,150	45,922	5,969
合計	78,743	53,587	132,331	60,261	2,195	28,951	103,379	71,378

公園の延利用者数は 60,261 人です。これら施設にかかるコストは 132,331 千円、収入は 28,951 千円、コスト-収入の差額は 103,379 千円です。

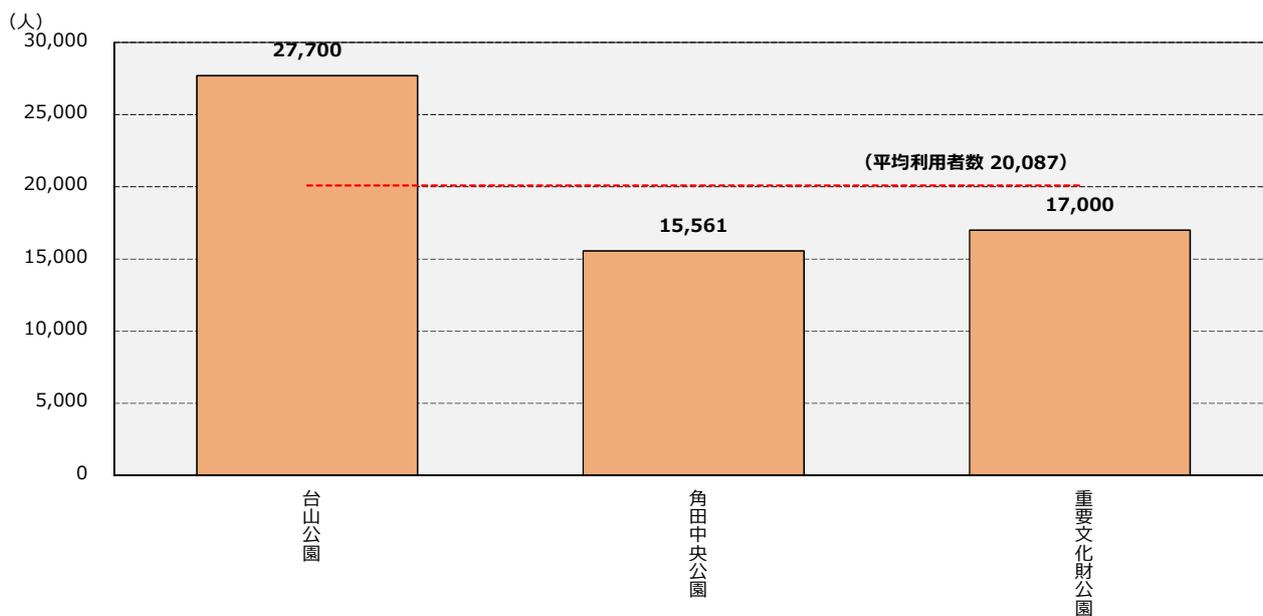


図 50 公園の利用者数

公園のうち、年間の利用者が最も多い施設は、台山公園の 27,700 人です。最も利用者が少ない施設は、角田中央公園の 15,561 人です。なお、角田中央公園の利用者にはスポーツ施設の利用者を含みません。

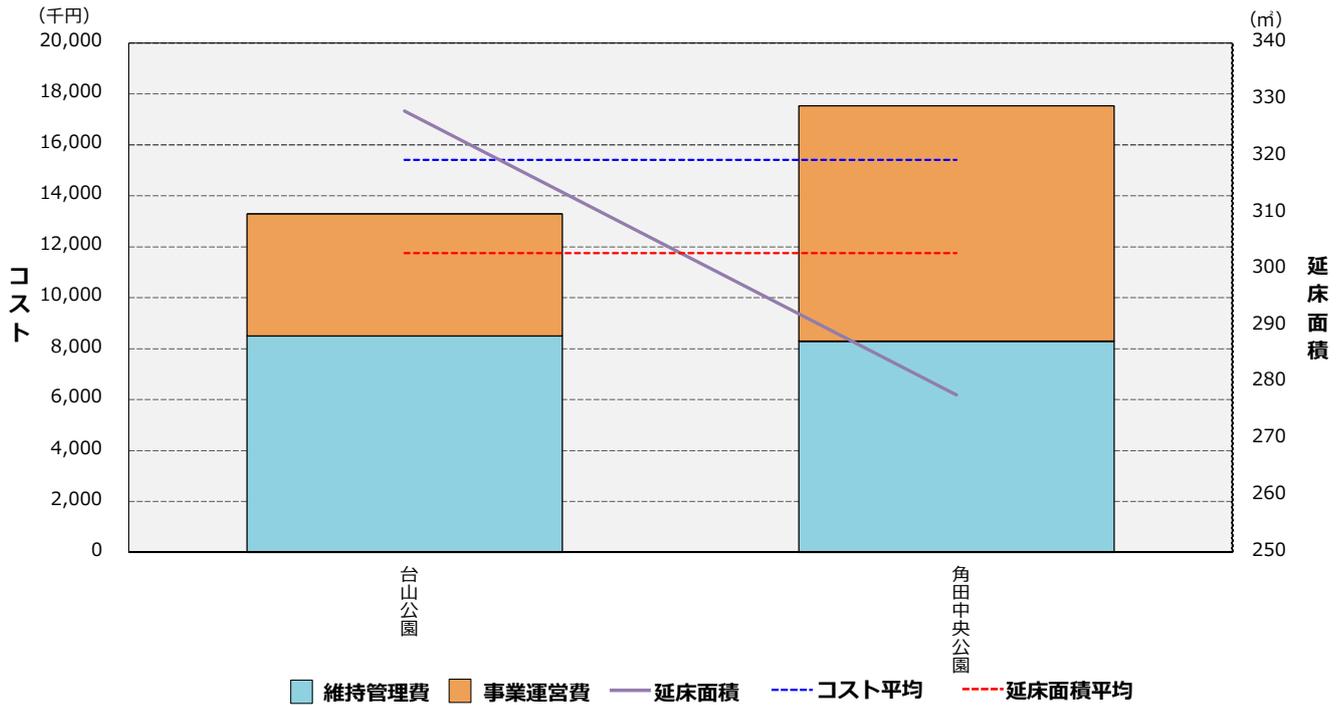


図 51 公園（地区公園・運動公園）の延床面積とコスト

台山公園の延床面積は、328 m²であり、角田中央公園の延床面積は 278 m²です。一方でコストは、角田中央公園が 17,535 千円と高く、台山公園は 13,289 千円となっています。

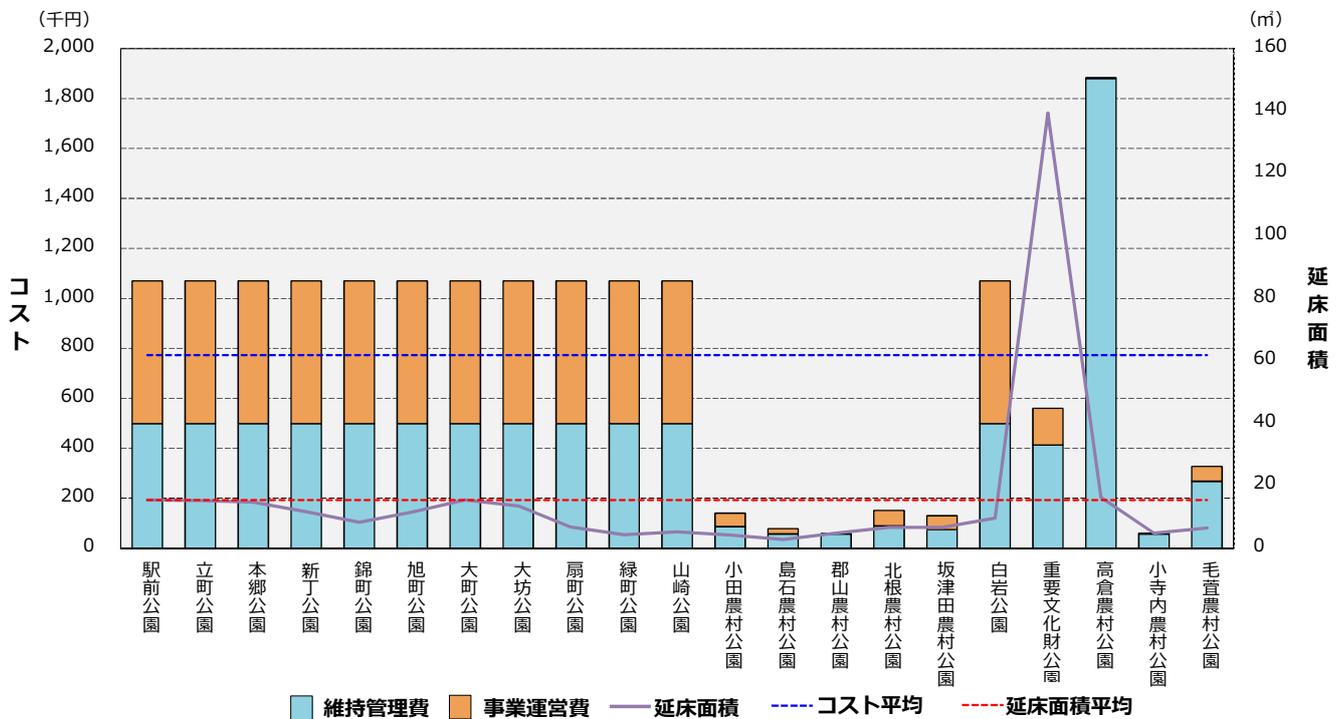


図 52 公園（街区公園・農村公園）の延床面積とコスト

街区公園・農村公園のうち、延床面積が最も広いのは重要文化財公園の 139 m²であり、2 番目は隣接する高倉農村公園の 16 m²です。また、コストが最も高いのは、高倉農村公園の 1,884 千円です。街区公園のコストは、延床面積に係わらず一定の 1,071 千円となっています。

(10) その他施設の状況

表 23 その他施設の一覧

中分類	地域	No	施設名称	運営主体	複合施設	延床面積(m ²)	主要建物建築年度	主要建物構造
その他施設	角田	1	駅前自転車置場及び駐車場	直営		198	1987	鉄骨
	角田	2	裏町排水機場	直営		91	1985	鉄筋コンクリート
	角田	3	中央広場	直営		10	2005	木造
	角田	4	南角田駅前広場	直営		4	1986	コンクリート・ブロック造
	角田	5	町田作業所	直営		211	1993	木造
	角田	6	商営駐車場トイレ・休憩所	直営		18	1994	木造
	角田	7	横倉駅前広場	直営		4	1986	コンクリート・ブロック造
	角田	8	斗蔵山駐車場	直営		10	1998	木造
	角田	9	旧松ヶ枝寮	直営		943	1972	鉄筋コンクリート
	角田	10	臥牛三敬会虹の園貸付地	直営		744	1992	木造
	角田	11	あぶくま川水系角田地区土地改良区	直営		801	1977	鉄筋コンクリート
	角田	12	天神町貸付店舗	直営		117	1972	軽量鉄骨
	角田	13	旧小田小学校	直営		1,588	1980	鉄筋コンクリート
	桜	14	旧桜小学校	直営		278	1954	木造
	北郷	15	岡駅前広場	直営		4	1967	コンクリート・ブロック造
	北郷	16	旧北郷やすらぎの家	直営		265	1978	鉄筋コンクリート
	西根	17	手代木沼駐車場用地	直営		32	2008	木造

その他施設は、市内に 17 箇所（延床面積合計：5,318 m²）あります。

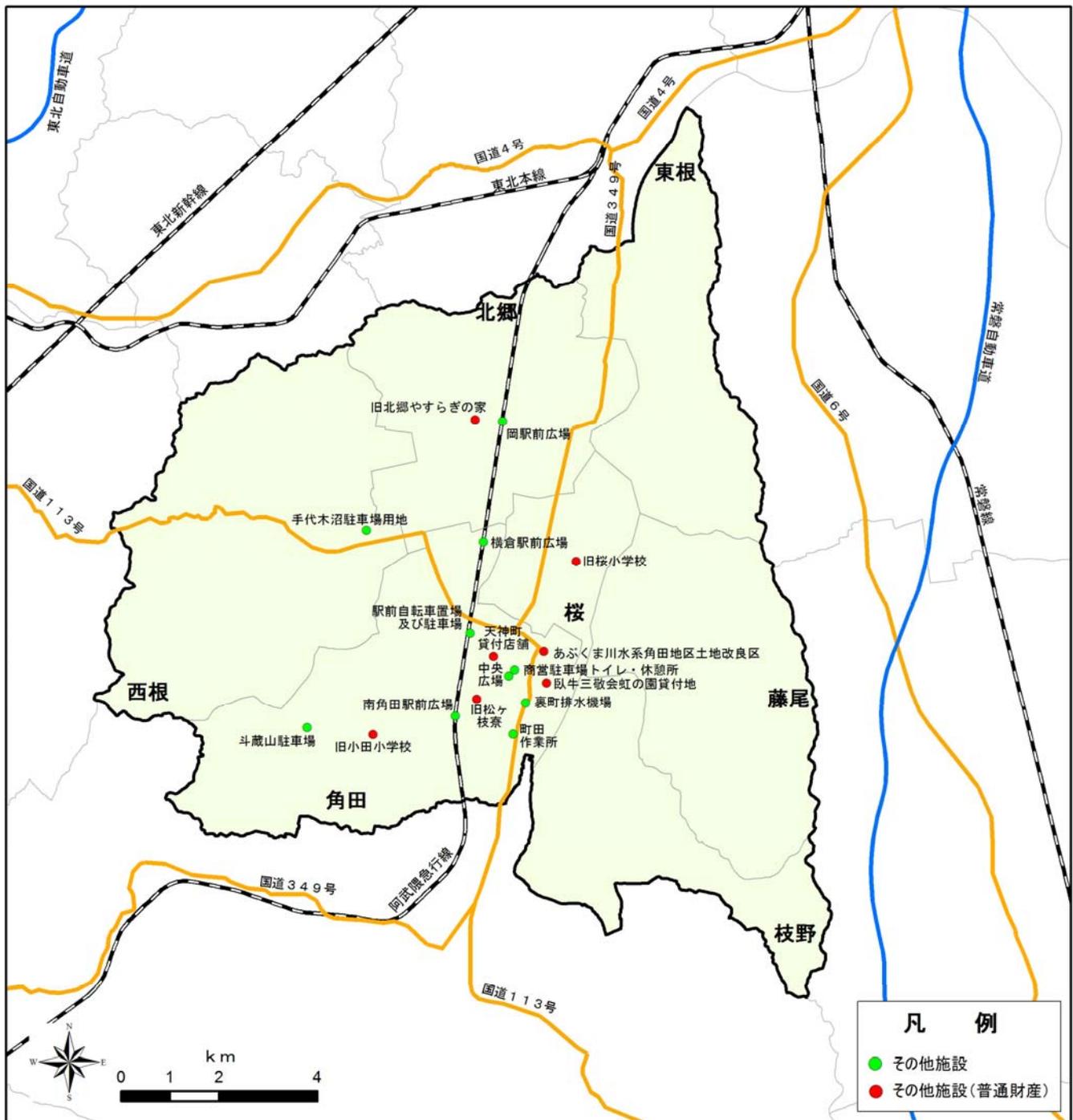


図 53 その他施設の配置状況

その他施設は阿武隈川の左岸側に集中しています。

表 24 その他施設の利用度とコストの一覧

施設名称	維持 管理費 (千円)	事業 運営費 (千円)	コスト (千円)	利用者数 (人)	利用者 1人当たり のコスト (円/人)	収入 (千円)	コスト-収入 差額 (千円)	指定 管理料 (千円)
その他施設								
駅前自転車置場及び駐車場	330	513	844	—	—	0	844	0
裏町排水機場	826	606	1,433	—	—	0	1,433	0
中央広場	1,078	37	1,115	—	—	3	1,112	0
南角田駅前広場	254	513	767	—	—	0	767	0
町田作業所	5	0	5	—	—	0	5	0
商営駐車場トイレ・休憩所	367	7	374	—	—	0	374	0
横倉駅前広場	239	513	753	—	—	0	753	0
斗蔵山駐車場	365	135	500	—	—	0	500	0
旧松ヶ枝寮	9	191	200	—	—	3,840	-3,639	0
臥牛三敬会虹の園貸付地	18	0	18	—	—	600	-581	0
あぶくま川水系角田地区土地改良区	4	0	4	—	—	30	-25	0
天神町貸付店舗	18	0	18	—	—	240	-221	0
旧小田小学校	25	0	25	—	—	0	25	0
旧桜小学校	8	0	8	—	—	0	8	0
岡駅前広場	274	513	788	—	—	0	788	0
旧北郷やすらぎの家	4	0	4	—	—	0	4	0
手代木沼駐車場用地	939	267	1,207	—	—	0	1,207	0
小計	4,773	3,300	8,073	—	—	4,713	3,360	0
合計	4,773	3,300	8,073	—	—	4,713	3,360	0

その他施設において利用者を集計している施設はありません。これら施設にかかるコストは 8,073 千円、収入は 4,713 千円、コスト-収入の差額は 3,360 千円です。

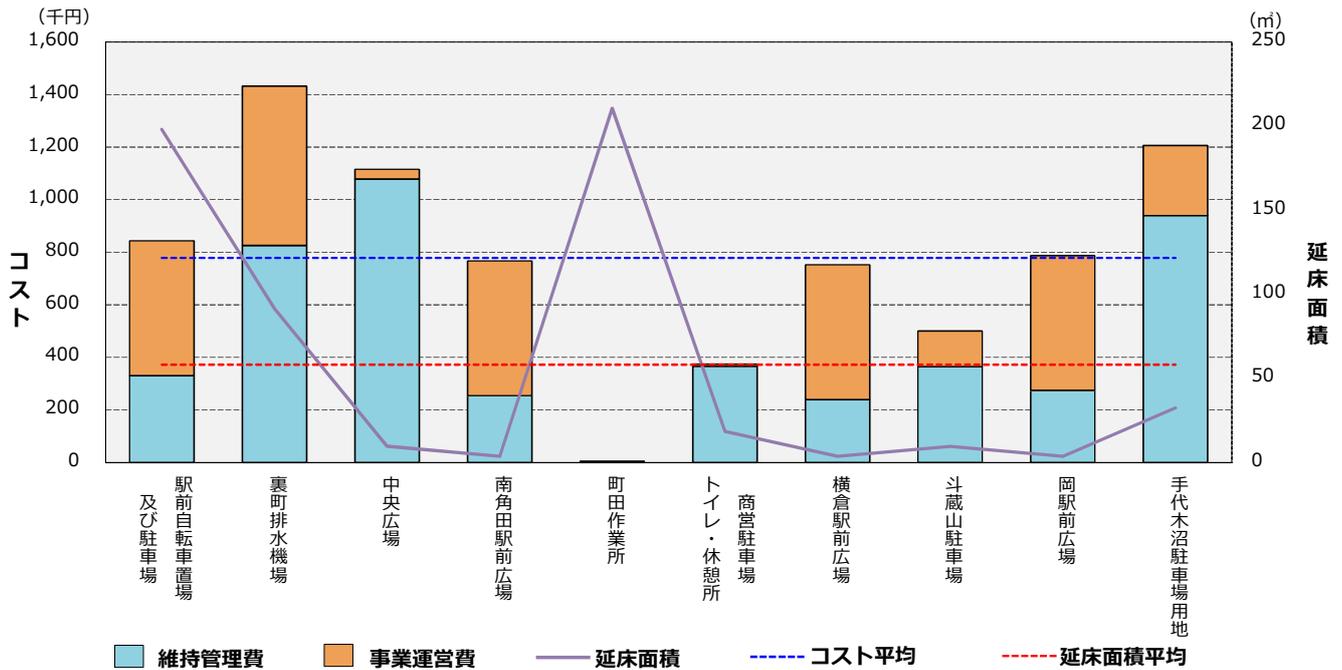


図 54 その他施設（普通財産を除く）の延床面積とコスト

普通財産を除くその他施設のうち、延床面積が最も広いのは町田作業所の 211 ㎡であり、2 番目は駅前自転車置場及び駐車場の 198 ㎡です。また、コストが最も高いのは、裏町排水機場の 1,433 千円であり、2 番目は手代木沼駐車場用地の 1,207 千円です。

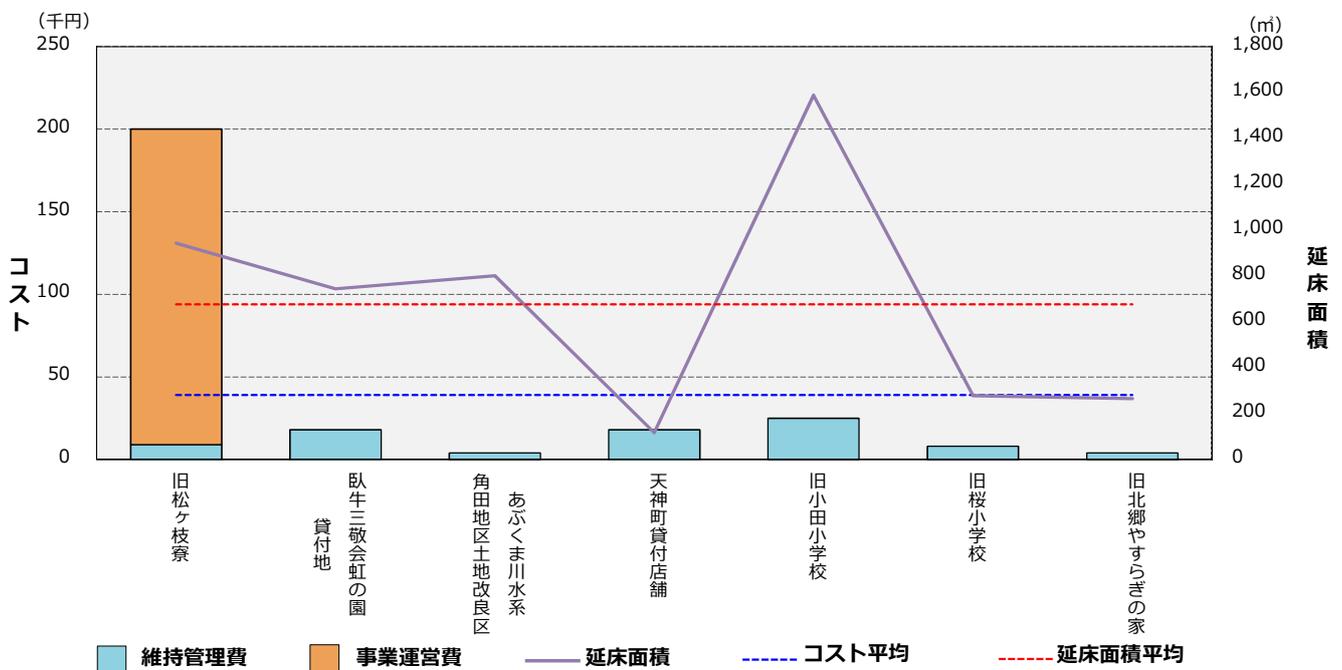


図 55 その他施設（普通財産）の延床面積とコスト

その他の施設に属する普通財産のうち、延床面積が最も広いのは旧小田小学校の 1,588 ㎡であり、2 番目は旧松ヶ枝寮の 943 ㎡です。また、コストが最も高いのは、旧松ヶ枝寮の 200 千円であり、2 番目は旧小田小学校の 25 千円です。

Ⅱ 公共施設等の管理に関する基本的な考え方（検討案）

(1) 点検・診断等の実施方針

- ・ 現状で実施している定期点検を引き続き適切に実施していきます。
- ・ 点検・診断等の実施結果を蓄積することで、以後の点検・診断等に反映していくという「メンテナンスサイクル」を構築します。
- ・ 公共施設等における保全の優先度の判断するにあたっては、劣化診断等を実施することにより、経年による劣化、外的負荷（気候天候、使用特性等）による性能低下状況および管理状況を把握し、予防保全的の観点から検討します。
- ・ 利用者からも公共施設等の状況について情報提供を受ける仕組みを取り入れる等、点検・診断等について、市民との役割分担を見直します。

(2) 維持管理・修繕・更新の実施方針

- ・ 施設の重要度や劣化状況に応じて長期的な視点で優先度をつけて、計画的に改修・更新します。
- ・ 維持管理や修繕に関する情報を蓄積していくことで、維持管理上の課題を適時に把握するとともに、今後の修繕に関する計画立案に役立てます。
- ・ 今後も維持していく公共施設等について、中長期的修繕計画を策定することを検討します。
- ・ 地区に対して公共施設を譲渡し、市民主体の運営・維持管理手法への切り替えを検討します。
- ・ 管理運営にあたって、指定管理者委託や PPP¹/PFI²の積極的な活用を検討します。
- ・ 維持管理を行っていくための財源を確保するため、受益者負担の見直しを検討します。
- ・ 市民ニーズの変化に柔軟に対応していくことを可能とするため、用途変更をしやすい施設設計を行う等の工夫をしていきます。
- ・ 常に新しい技術や考え方を積極的に取り入れ、維持管理・修繕・更新を合理的に進めていきます。

(3) 安全確保の実施方針

- ・ 点検・診断等で劣化・損傷等が認められた公共施設等については、すみやかに修繕・改修を検討します。
- ・ 修繕・改修にあたっては、災害拠点かどうか、多数の市民の利用がある施設であるかどうか等の視点から、対応の優先度を検討します。
- ・ 高度な危険性が認められた公共施設等や、老朽化し今後とも利用の見込みのない公共施設等については、今後維持していくことが難しい施設と判断し、市民の安全確保の観点から、早期に供用廃止することも検討します。
- ・ 廃止した施設は、速やかに施設の撤去を行うこととし、それができない場合は、適切な方法で管理し、第三者の安全確保に十分な配慮を講じます。

¹ Public Private Partnership の略であり、公共サービスの提供に民間が参画する手法を幅広く捉えた概念で、民間資本や民間のノウハウを利用し、効率化や公共サービスの向上を目指すことをいいます。

² Public Finance Initiative の略であり、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用することで、効率化やサービス向上を図る公共事業の手法をいいます。

(4) 耐震化の実施方針

- ・ 公共施設は、平常時の機能のみならず、災害時の拠点施設や物資、人員の輸送施設として重要な機能を併せ持っているため、耐震化が完了していない施設は、災害拠点となりうるか、多数の市民の利用がある施設であるかどうか等の視点から、耐震化の優先順位を検討し、計画的に耐震化の措置を講じていきます。
- ・ 道路・橋梁・上水道・下水道をはじめとするインフラ施設についても、同様に耐震化の検討を進めていきます。

(5) 長寿命化の実施方針

- ・ 公共施設の耐用年数到来年度を把握し、公共施設の更新の対応時期を把握します。
- ・ 点検・診断を定期的実施するとともに、「予防保全」に取り組むことで、建替え等の代替手段よりライフサイクルコストが低く抑えられる場合には、安全性を確保しつつ長寿命化を実施していきます。
- ・ 市民とともに、大切に公共施設を取り扱っていくことで、少しでも長く公共施設を利活用していけるようにしていきます。
- ・ 個別施設のインフラ長寿命化計画に示された対策を進めていきます。

(6) 統合・廃止の推進方針

- ・ 公共施設等の将来の更新費用の試算結果から、そのための財源が不足することが予想されます。長寿命化等の対策による更新費用の縮減を踏まえても、財源が不足する場合は、公共施設等を統廃合することも検討し、更新費用縮減を図ります。
- ・ 少子高齢化や人口減少などの人口動態や社会状況の変化に対応し、市民ニーズを踏まえた統廃合を検討します。
- ・ 当該サービスが、公共施設等を維持しなければ提供不可能なものであるか、民間に代替できないか等、公共施設等とサービスの関係について十分に留意して統廃合を検討します。
- ・ 施設ごとの利用者数や利用率・稼働率を把握し、ハード面・ソフト面の施策の実施とともに、より利用される施設へ、収益を上げられる施設への改善を進めていきます。
- ・ 近接自治体との広域連携を一層進めていき、広域の観点から必要な公共施設等の保有量を検討していきます。
- ・ インフラについても、必要性を十分に精査し、将来コストを見据えた保有量に抑えます。

(7) 総合的かつ計画的な管理を実現するための体制の構築方針

- ・ 公共施設等に関する情報は、「自治体向け財務会計システム」により、財政計画や「公会計管理台帳」、「財産に関する調書」との連携を図り、全庁的に一元管理していきます。
- ・ 職員一人ひとりが、経営的視点を持って全体の最適化を意識した公共施設マネジメントの視点を持つため、公共施設等の最適な維持管理や利活用などについての研修会を実施し積極的に参加します。
- ・ これまでも民間活力の活用を意図した指定管理者制度の積極的な導入を進めてきましたが、更なる導入を検討するとともに、指定管理者に対しても、基本方針を踏まえた維持管理手法の共有化を図ります。